

会 長 挨 拶

第 57 回日本小児神経学会学術集会の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

このたびは、大阪大学医学研究科小児科学講座および保健学専攻が、学術集会の開催を担当させていただくことを、大変光栄に思っております。

大阪での本学術集会の開催は、1973 年に坂本吉正教授、1984 年に藪内百治教授、2000 年に岡田伸太郎教授、2007 年に山野恒一教授が会長の任に就いたのに続き、5 回目となります。

今回の学術集会では「小児神経学の新たな展開をめざして～つながりの中で子どもを育む～」をテーマに設定しました。小児神経学は、様々な分野の新しい知見・技術との連携の中で発展を続けてきました。これからの小児神経学の新たな発展においても、このような連携はますます重要になってくるものと考えております。

様々な課題を持つ子どもたちの健康と発達をめざしていくためには、医療分野に加えて、教育、福祉、工学、その他のさまざまな分野の連携した取り組みが必要です。さらに我が国の小児神経学の取り組みとして、国際的な連携も求められていると考えています。本学術集会ではこれらの連携を「つながり」として、これからの新たな可能性と展望を議論する場にしたいと思っております。

学術集会では招待講演として国外から 4 人の講演者をお招きしました。基調講演には、大阪大学人間科学研究科の中村安秀教授に国際連携のお話を、また基礎工学研究科の石黒浩教授にロボット研究のお話をお願いしました。そのほか多数の皆様のご協力によりまして、興味あるプログラムを作ることができたと自負しております。

帝国ホテル 大阪での学術集会の開催は初めてですが、レベルの高い環境があります。皆様に落ち着いてご参加いただき、ぜひ楽しみにしていただきたいと思います。また大阪は食べ物がおいしいところです。ぜひ大阪を楽しんでいただければと思います。

学術集会事務局一同、充実した学術集会になるように、準備を整えております。活発な学術集会になることを願い、多数の会員の皆様の参加をお待ちしております。

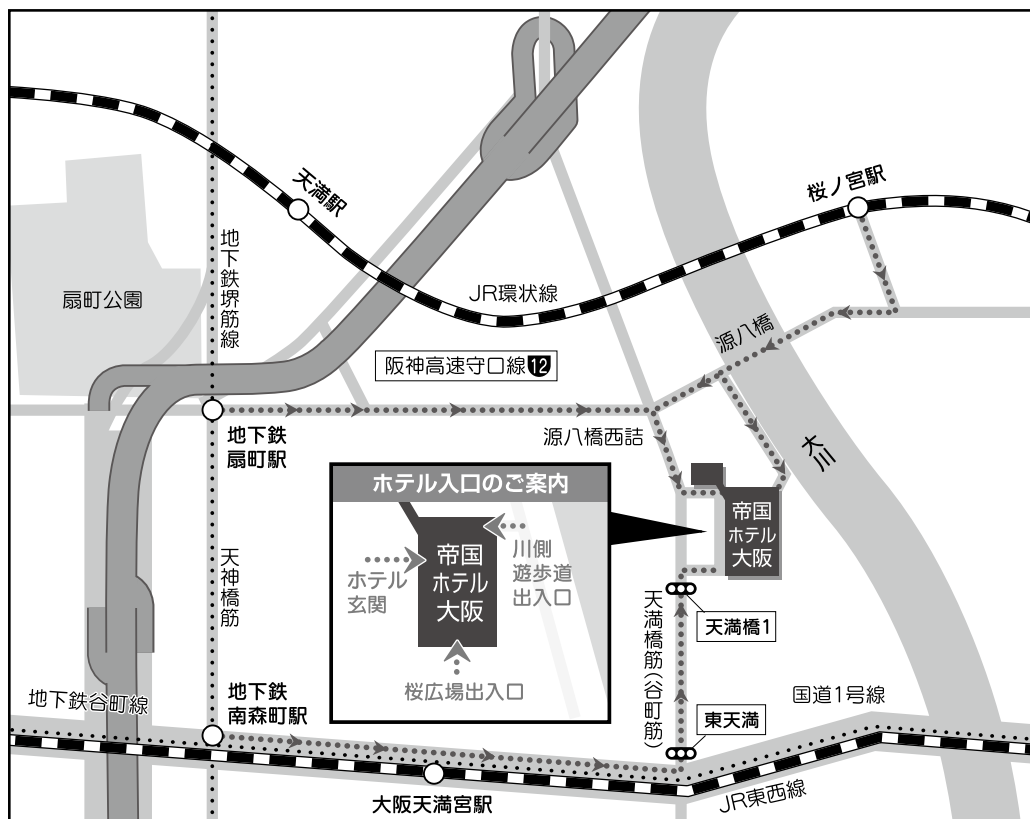
2015 年 5 月

第 57 回日本小児神経学会学術集会
会長 永井 利三郎
プール学院大学、大阪大学名誉教授

■交通案内	S5
■会場案内	S6
■ポスター会場案内	S8
■お知らせとお願い	S11
■プログラム委員・事務局	S17
■役員会・各種委員会・関連プログラム日程	S18
■日程	
プレングレス（5月27日）	S19
第1日目（5月28日）	S20
第2日目（5月29日）	S22
第3日目（5月30日）	S24
ポスターセッション（5月28日・29日）	S26
■プログラム	
特別演題日程	S29
プレングレス（5月27日）	S39
第1日目（5月28日）	S40
第2日目（5月29日）	S69
第3日目（5月30日）	S99
■特別演題抄録	
会長講演	S111
基調講演（1・2）	S112
特別講演（1・2）	S114
招待講演（1～4）	S116
教育講演（1～4）	S120
シンポジウム（1～10）	S124
企画シンポジウム	S154
リフレッシュセミナー（1～3）	S156

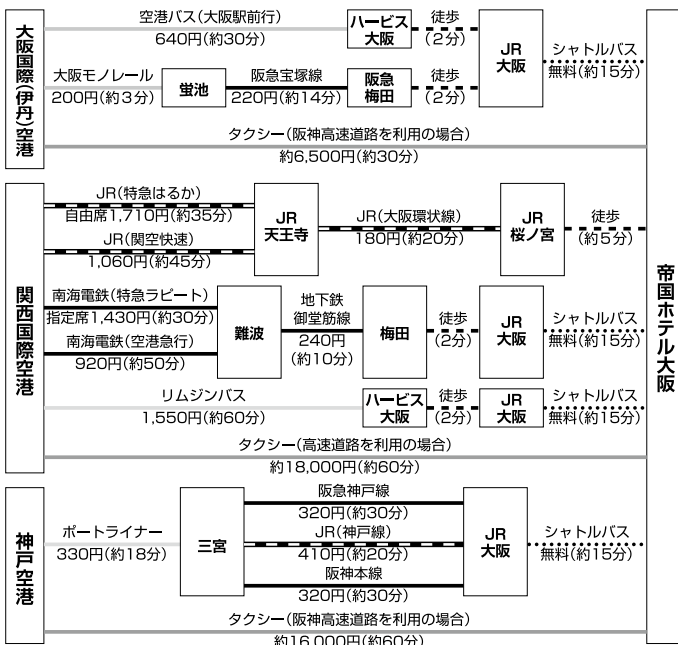
特別企画（1～3）	S158
共同研究支援委員会主催セミナー（第一部・第二部）	S162
産科医療補償制度小委員会主催セミナー	S166
社会活動委員会主催セミナー	S167
医療安全委員会主催セミナー	S169
東日本大震災支援委員会主催セミナー	S171
薬事委員会主催セミナー	S174
実践教育セミナー（1～5）	S176
ランチョンセミナー（1～14）	S186
イブニングセミナー	S196
市民公開講座	S197
■一般演題抄録（English Session）	
第1日目（5月28日）	S205
第2日目（5月29日）	S208
第3日目（5月30日）	S214
■一般演題抄録（口演）	
第1日目（5月28日）	S223
第2日目（5月29日）	S261
第3日目（5月30日）	S294
■一般演題抄録（ポスター）	
第1日目（5月28日）	S313
第2日目（5月29日）	S360
■索引（筆頭講演者名）	S409
■歴代総会／学術集会会長・開催地・会期一覧	S416
■瀬川プログラム招待講演者一覧	S417
■日本小児神経学会優秀論文賞受賞者一覧	S418
■日本製薬団体連合会・共催企業・協賛企業一覧	S420

交通案内



※心斎橋にある「大阪帝国ホテル」とは別施設です。お間違えないようご注意ください。

空港からのアクセス



新幹線をご利用の場合

JR在来線経由で大阪駅へ(約5分)。大阪駅からはシャトルバスまたはJR大阪環状線をご利用ください。

在来線をご利用の場合

地下鉄堺筋線「扇町」駅4番出口より徒歩10分、堺筋線・谷町線「南森町」駅3番出口より徒歩12分、大阪環状線「桜ノ宮駅」西出口より徒歩5分です。

シャトルバスをご利用の場合

JR大阪駅、帝国ホテル間にて運行している無料送迎シャトルバスをご利用いただけます。
運行時間：8:00～21:00
(15分間隔、所要時間約15分)

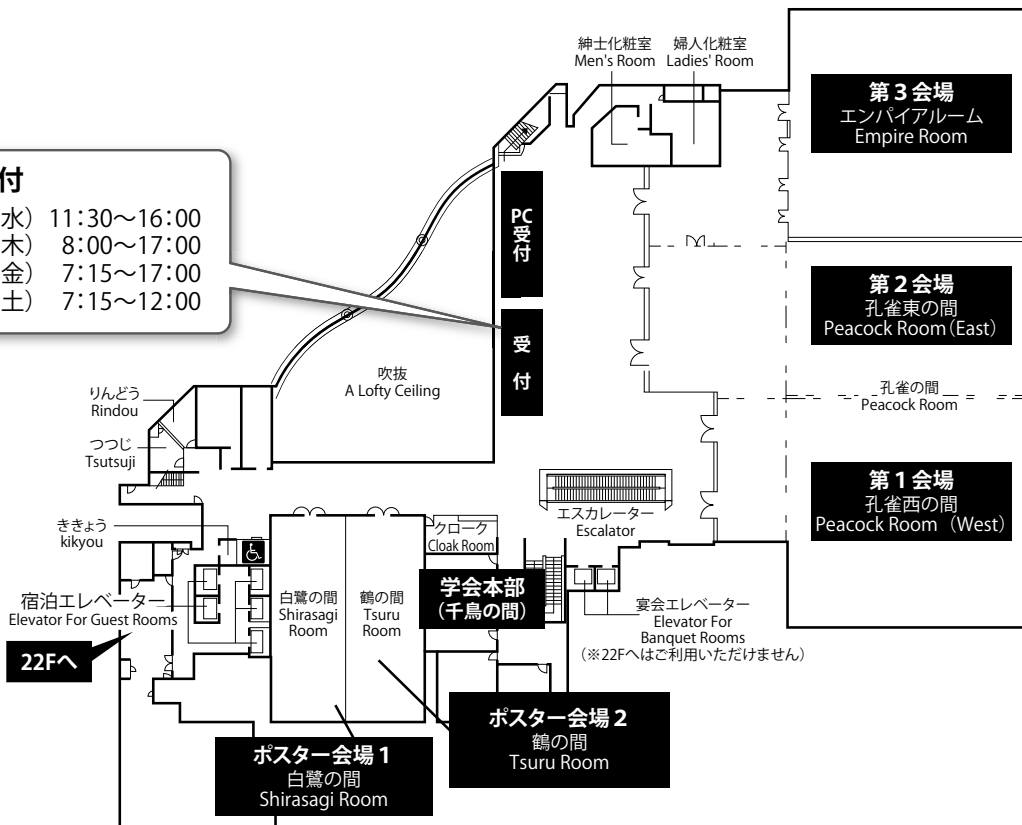


会場案内

3 F

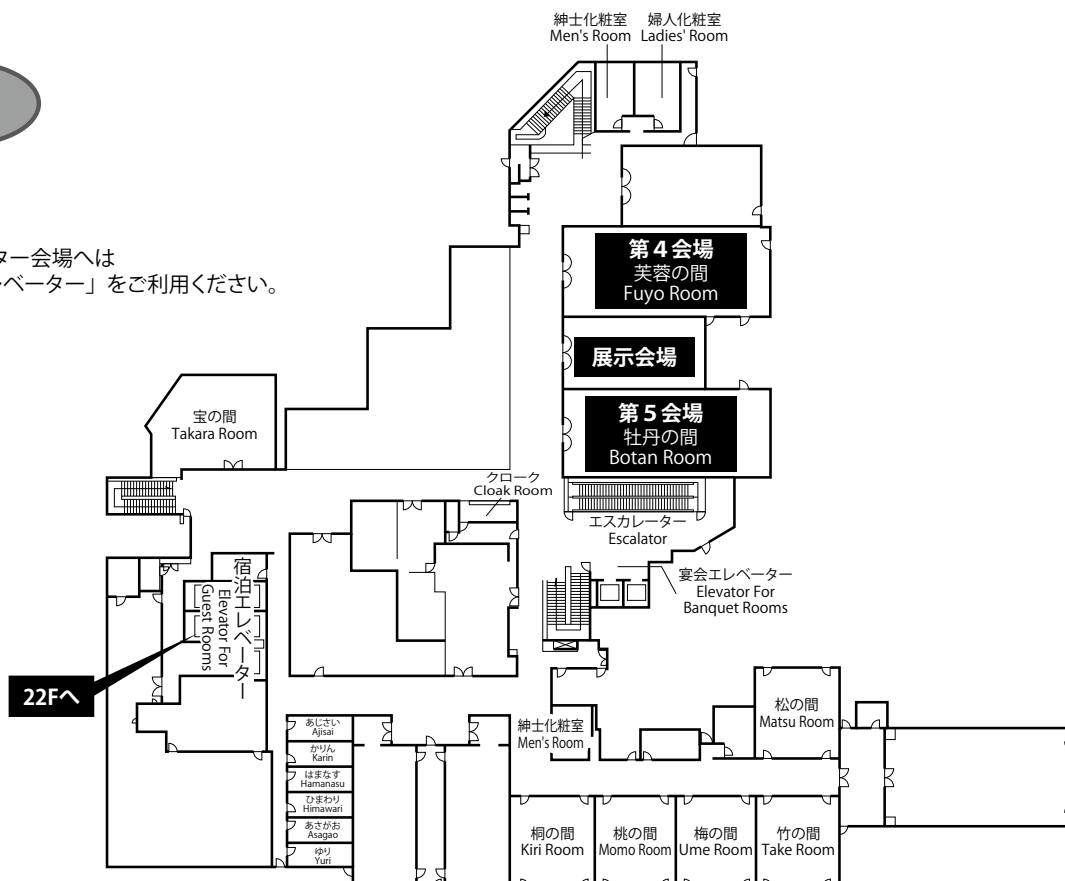
受付

27日(水) 11:30~16:00
28日(木) 8:00~17:00
29日(金) 7:15~17:00
30日(土) 7:15~12:00



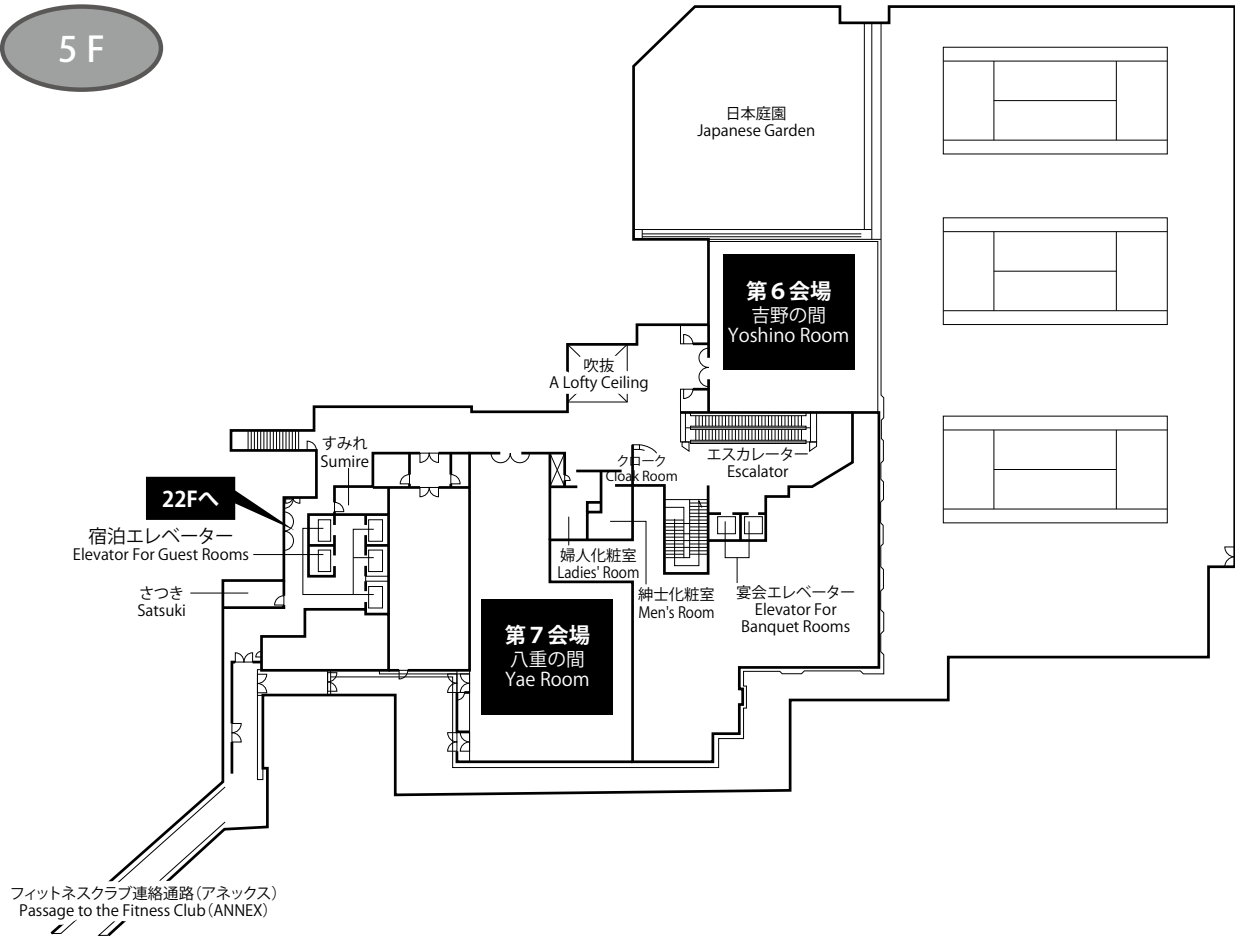
4 F

※22F ポスター会場へは
「宿泊エレベーター」をご利用ください。

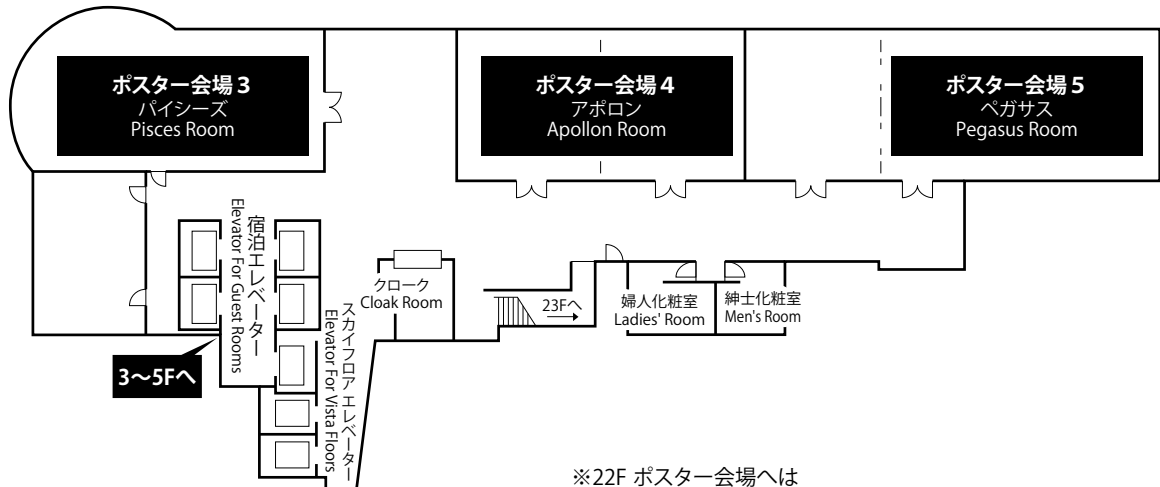


会場案内

5 F



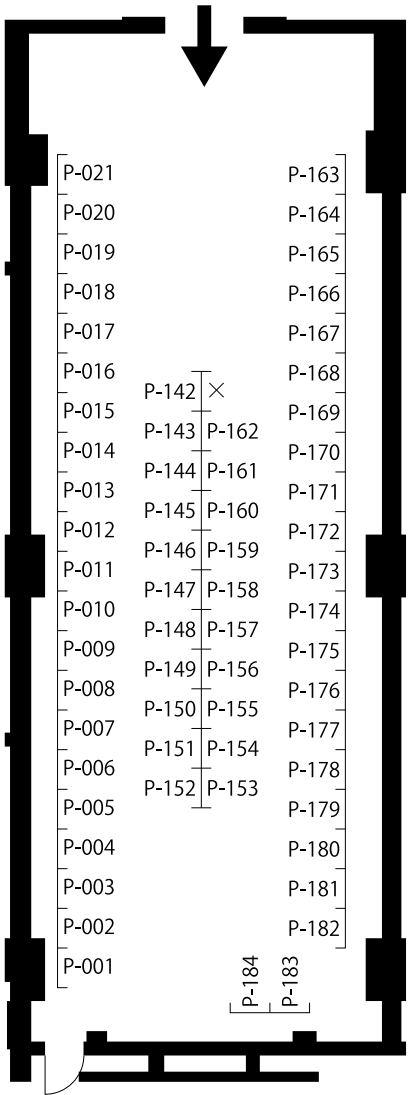
22 F



※22F ポスター会場へは
「宿泊エレベーター」をご利用ください。

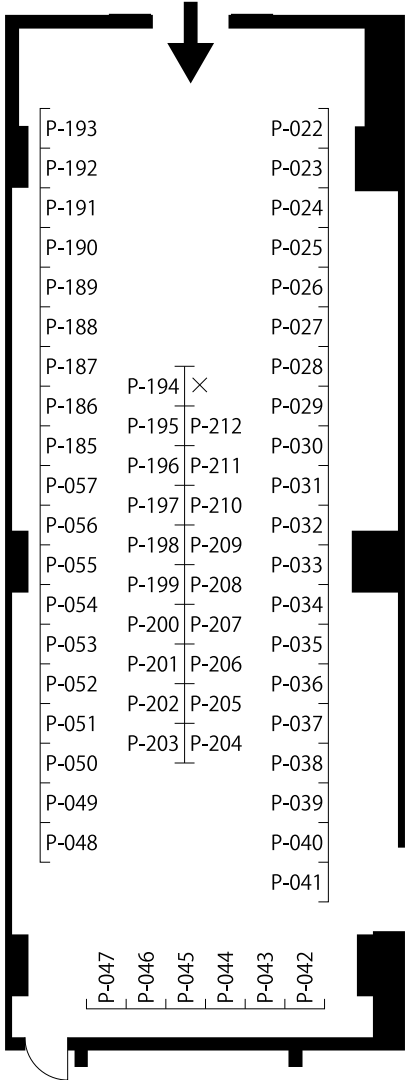
ポスター会場案内

ポスター会場 1 3F 白鷺の間



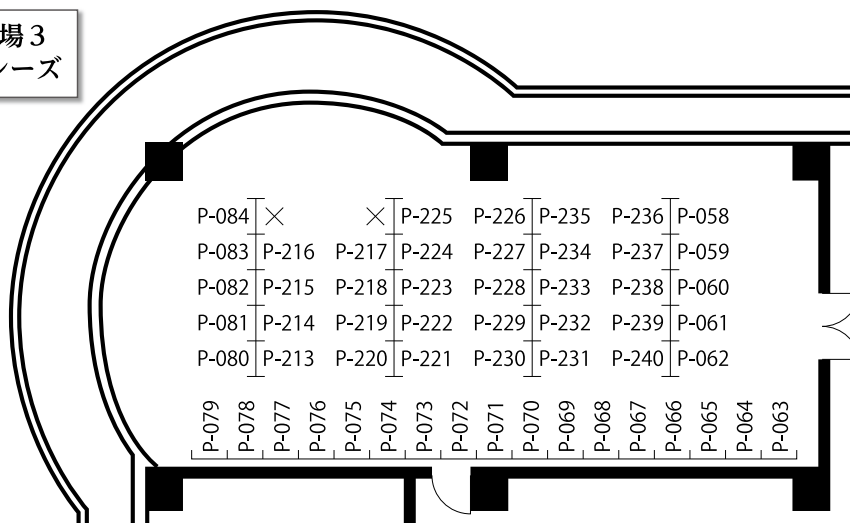
	発表日時	演題番号	セッション名
28日(木)	17:00 ~ 17:30	P-001 ~ P-010	発達障害 1
	17:30 ~ 18:00	P-011 ~ P-021	発達障害 2
29日(金)	17:10 ~ 17:40	P-142 ~ P-152	発達障害 3
	17:40 ~ 18:10	P-153 ~ P-162	学習障害・AD/HD
	18:10 ~ 18:40	P-163 ~ P-172	精神障害・行動障害
	18:10 ~ 18:40	P-173 ~ P-175	新生児
	18:10 ~ 18:40	P-176 ~ P-184	画像・形態・病理

ポスター会場 2 3F 鶴の間

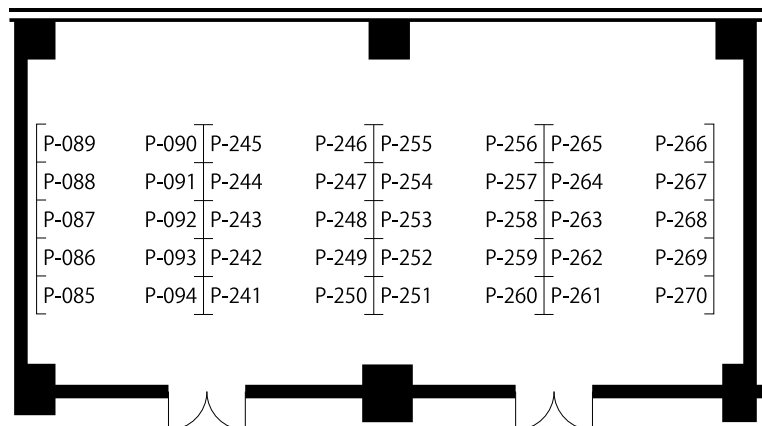


	発表日時	演題番号	セッション名
28日(木)	17:00 ~ 17:30	P-022 ~ P-031	急性脳炎・脳症 1
	17:30 ~ 18:00	P-032 ~ P-041	感染・免疫 1
	18:00 ~ 18:30	P-042 ~ P-047	社会・安全
	18:00 ~ 18:30	P-048 ~ P-057	障害児・者医療 1
29日(金)	17:10 ~ 17:40	P-185 ~ P-193	急性脳炎・脳症 2
	17:40 ~ 18:10	P-194 ~ P-203	感染・免疫 2
	18:10 ~ 18:40	P-204 ~ P-212	障害児・者医療 2

ポスター会場案内

ポスター会場 3
22F パイシーズ


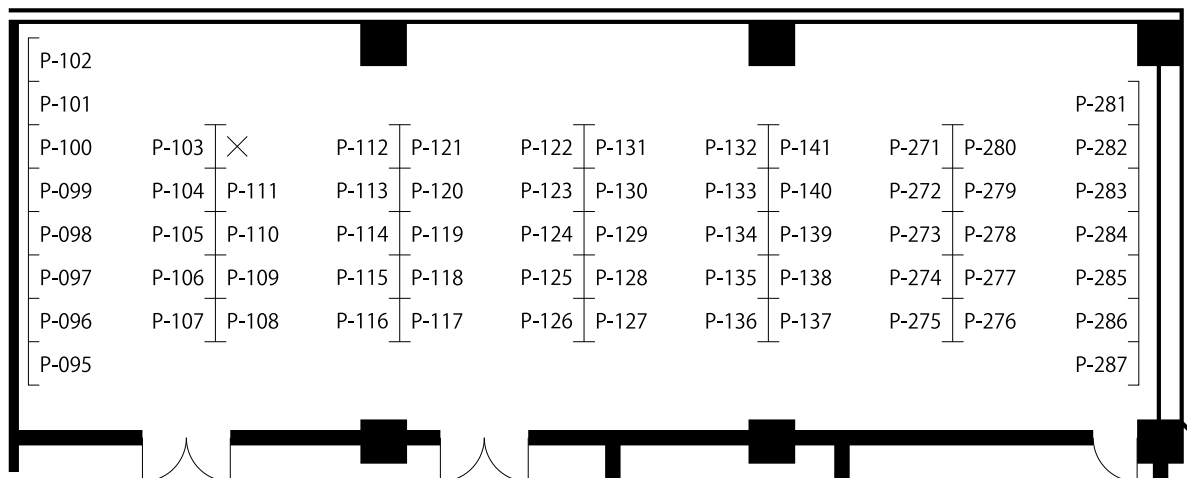
発表日時		演題番号	セッション名
28日(木)	17:00 ~ 17:30	P-058 ~ P-067	先天代謝異常 1
	17:30 ~ 18:00	P-068 ~ P-076	神経変性疾患
	18:00 ~ 18:30	P-077 ~ P-084	染色体・遺伝子 1
29日(金)	17:10 ~ 17:40	P-213 ~ P-220	先天代謝異常 2
	17:40 ~ 18:10	P-221 ~ P-230	染色体・遺伝子 2
	18:10 ~ 18:40	P-231 ~ P-240	染色体・遺伝子 3

ポスター会場 4
22F アポロン


発表日時		演題番号	セッション名
28日(木)	18:00 ~ 18:30	P-085 ~ P-094	脳外科・血管障害
29日(金)	17:10 ~ 17:40	P-241 ~ P-250	てんかん 4
	17:40 ~ 18:10	P-251 ~ P-260	てんかん 5
	18:10 ~ 18:40	P-261 ~ P-270	てんかん 6

ポスター会場案内

ポスター会場 5
22F ペガサス



発表日時		演題番号	セッション名
28日(木)	17:00 ~ 17:30	P-095 ~ P-102	筋 1
	17:30 ~ 18:00	P-103 ~ P-111	筋・末梢神経 1
	17:00 ~ 17:30	P-112 ~ P-121	てんかん 1
	17:30 ~ 18:00	P-122 ~ P-131	てんかん 2
	18:00 ~ 18:30	P-132 ~ P-141	てんかん 3
29日(金)	17:10 ~ 17:40	P-271 ~ P-280	筋・末梢神経 2
	17:40 ~ 18:10	P-281 ~ P-287	不随意運動・頭痛・自律神経

I. 参加者各位へ

- (1) 会場：帝国ホテル 大阪

〒 530-0042 大阪市北区天満橋 1-8-50 TEL：06-6881-1111

※心斎橋にある「大阪帝国ホテル」とは別施設です。お間違えのないようご留意下さい。

- (2) 受付：

月日	時間	場所
学術集会 前日 5 月 27 日 (水)	11：30～16：00	帝国ホテル 大阪 3F ホワイエ
学術集会 第 1 日目 5 月 28 日 (木)	8：00～17：00	
学術集会 第 2 日目 5 月 29 日 (金)	7：15～17：00	
学術集会 第 3 日目 5 月 30 日 (土)	7：15～12：00	

- (3) 登録：参加費を受付にてお支払い下さい。引き換えにネームカード（領収書兼）をお渡ししますので、所属と氏名を記入して下さい。ネームカードのない方は、入場できません。なお、初期研修医、看護師、心理士等、学部生（医学部含む）は、いずれも証明書が必要です。大学生は身分証明書提示、初期研修医はあらかじめ所属施設長より現在初期研修中である証明を取得し、持参して下さい。受付にて所属と氏名を用紙に記入してネームカードを受け取って下さい。

	参加費
医師（日本小児神経学会会員）	15,000 円
医師（非会員）	18,000 円
初期研修医	5,000 円（証明書提示）
看護師、心理士等	5,000 円（証明書提示）
学部生（医学部含む）	2,000 円（証明書提示、大学院生は除く）
会員懇親会	6,000 円（非会員の参加も可能）

- (4) 個人情報に関する注意：個人情報保護の観点から、日本小児神経学会の『患者プライバシー保護に関する指針』を遵守し、本学術集会で発表する内容には患者さんやその他の関係者を特定できるような情報を表示しないようお願いいたしております。特に、発作時ビデオ等、患者さんの表情等を呈示せざるを得ない動画データについては、患者さんの同意が得られているものとします。さらに、今学術集会では会場内において、発表内容を写真およびビデオ等で撮影することは一切禁止させていただきます。参加者の皆様のご協力をお願い申し上げます。
- (5) 抄録集：学術集会当日はプログラム・抄録集をご持参下さい。お持ちでない方は総合受付内の抄録集販売受付にて 1 冊 2,000 円で販売いたしますのでお求め下さい。ただし、数に限りがあります。
- (6) 会員総会：第 57 回総会を学術集会 2 日目（5 月 29 日）13 時 35 分より第 1 会場（帝国ホテル 大阪 3F 孔雀西の間）で行います。会員参加者全員の出席をお願いいたします。
- (7) 日本小児神経学会年会費：平成 27 年度会費（15,000 円）を未納の方は小児神経学会事務局窓口にて納入して下さい。
- (8) B & D 購読料：英文誌（Brain & Development）の購読者で平成 27 年購読料（18,000 円）を未納の方、または新たに購読を希望される方は小児神経学会事務局窓口にて納入して下さい。
- (9) 専門医研修単位：学術集会参加により以下の研修単位が認められます。日本リハビリテーション医

学会認定臨床医 10 単位, 小児神経専門医 8 単位, 小児科専門医 8 単位.

- (10) 会員懇親会：学術集会 1 日目（5 月 28 日）終了後，第 3 会場（帝国ホテル 大阪 3F エンパイアルーム）にて会員懇親会を行います．多数のご参加をお待ちしています．
- (11) 表彰：すべての演題の中から最優秀演題賞と優秀演題賞，English Session の中から English Session 優秀演題賞，筆頭著者が本学会開催（平成 27 年 5 月 28 日）時点で 40 歳以下の方のポスター演題の中から，優秀若手ポスター賞の表彰をし，賞状・副賞を贈呈します．また，英語で抄録を登録した全員に英語抄録奨励賞を贈呈します．
英語抄録奨励賞については，総合受付でお受け取り下さい．その他の賞は，会員懇親会で表彰します．
- (12) 患者会ブース：学術集会 3 日目（5 月 30 日）に患者会ブースを設置いたします．
- (13) 会場での呼び出しは原則としていたしません．
- (14) 駐車場：ホテルの駐車場は有料になります．公共の交通機関を使ってお越し下さい．

II. 口演発表の座長各位へ

- (1) 担当セッション開始 15 分前までに会場の上手前方の次座長席にお越し下さい．
- (2) 口演発表は 1 演題 10 分（発表 7 分・質疑応答 3 分）で進行して下さい．会場進行責任者からもお知らせをしますが，時間になりましたら随時セッションを開始して下さい．
- (3) 口演会場では，発表時間を計時します．演台，ならびに座長席では，発表時間終了 1 分前に黄ランプ，終了時に赤ランプがそれぞれ点灯します．セッションの終了時刻が遅れないようご配慮をお願いいたします．

III. ポスター発表のモデレーター各位へ

- (1) 担当セッション開始 15 分前までに，モデレーター受付（帝国ホテル 大阪 3F および 22F）にお越し下さい．なお，モデレーター受付は 28 日（木），29（金）ともに各フロアに 1 箇所ずつ設置いたします（受付開始 16：30～）．
- (2) ポスター演題の発表は自由討論形式です．発表者は割り当てられた 30 分間，ポスターの前に立ち，参加者の質問に応じて説明・討論を行ってください．各発表時間はポスター会場案内ページをご参照下さい．
- (3) モデレーターの担当演題数は，一人あたり約 10 題です．担当演題の発表者が出席しているか確認をお願いします．討論が少ない演題について，発表者と討論をしたり，興味深いと思われるポスターについては聴衆と発表者の討論をさらに盛り上げたりするなど，担当セッションの区域がより有意義な議論の場となるようにして下さい．各ポスターの議論が円滑かつ活発になるようサポートをお願いいたします．

IV. 演題の採択

- (1) 596 演題の申し込みがありました．プログラム委員会の審議の結果，English Session 46 題，一般演題（口演）261 題，一般演題（ポスター）287 題，（演題取り下げ 2 題）と決定しました．
- (2) 今年度の The JSCN Award for Asia-Oceania Young Investigator の選出はありませんでした．

V. 口演発表者へ

- (1) 発表時間
発表時間に関して，依頼講演（基調講演，特別講演，教育講演，招待講演，特別企画，リフレッシュセミナー，シンポジウム，企画シンポジウム）の演者は座長の指示に従って下さい．
一般演題（English Session）・（口演）の発表時間は 1 演題 10 分（発表 7 分・質疑応答 3 分）です．

各口演会場では、発表時間を計時します。演台、ならびに座長席では、終了 1 分前に黄ランプ、終了時間に赤ランプがそれぞれ点灯しますので発表時間の目安として下さい。

(2) 発表形式

依頼講演、一般演題 (English Session)・(口演)ともに全セッション PC プレゼンテーションのみです。「(4) PC 発表データ作成について」の内容をご参照下さい。なお、English Session にてご発表の先生は、データを英語で作成し、英語でご発表下さい。

(3) データのプレビュー・受付

PC データのプレビュー、データのお預かりは、下記時間帯に PC プレビューセンターにて行います。PC プレビューセンター以外では受付できませんのでご注意下さい。

【PC プレビューセンター】

月日	時間	場所
5 月 28 日 (木)	8:00~17:30	帝国ホテル 大阪 3F ホワイエ
5 月 29 日 (金)	7:00~17:00	
5 月 30 日 (土)	7:00~12:00	

※ 5 月 27 日 (水) 実践教育セミナーの演者の先生は、講演会場前方左側の映像オペレーション卓へ直接データをお持ち込み下さい。

(4) PC 発表データ作成について

◎発表における利益相反 (COI) 開示のお願い

応募演題の筆頭発表者における COI (筆頭発表者自身に対して、当該研究内容に含まれる製品等に関連する営利企業や団体組織からの、兼業などによる給与・研究費・人員の提供など)に関する開示が義務付けられるため、発表にあたっては、これらの情報を開示していただきます。

COI の有無にかかわらず、発表スライドの冒頭あるいは 2 枚目にて、COI の開示をお願いします。

COI 開示フォーマットは下記第 57 回学術集会ホームページでご確認下さい。

【第 57 回学術集会ホームページ：COI 開示要項】

<http://www.c-linkage.co.jp/jscn57/coi.html>

◎データは以下の要領で作成して下さい。

①利用可能なパソコン

- ・ Windows の場合：USB ストレージ、CD-R でのデータ持ち込み、または、ノートパソコン持ち込みによる発表が可能です。なるべくノートパソコンの持ち込みは避け、メディアでのお持ち込みをお願いいたします。
- ・ Macintosh の場合：必ずご自身のノートパソコンを持参して下さい。Macintosh で作成されたデータのメディアによる持ち込みはできません。
- ・ ノートパソコンを持参の場合、PC プレビューセンターにてデータ受付をお済ませの後に、講演会場内前方の映像オペレーション卓へパソコンをお預け下さい。演台上でご自身のパソコンを操作いただくことはできませんので、ご了承下さい。

②動画・音声の利用について

口演会場では、動画・音声出力ができるよう準備します。動画を含む発表用データを持参される方は、Windows Media Player (WMV 形式を推奨いたします) で動作する形式で用意して下さい。動画を使用する場合、リンク切れにご注意下さい。完成したパワーポイントファイルを、USB メモリなどのメディアにコピーした後、作成した PC 以外の PC で動画を再生して、きちんと再生されれば原則的に問題はありません。動画がある場合は念のためにご自身の PC のお持ち込みを推

奨いたします。

③ USB ストレージ, CD-R でのデータ持ち込みの場合 (Windows の場合のみ)

【発表データの作成】

- ・ OS : Windows 7 以降の環境で作成して下さい。
- ・ アプリケーション : Microsoft PowerPoint2007 以降
- ・ 画面のサイズは XGA (1024×768) です。

【データの総量】

- ・ データの総量制限は特に設けませんが、決められた発表時間内に発表が終了するようデータを作成して下さい。

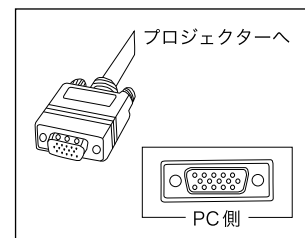
【データの提出方法】

- ・ メディアの形式 : USB ストレージまたは CD-R のみ受け付けます。USB ストレージまたは CD-R に記録しご持参下さい。
- ・ 発表データは、「演題番号+ご自身のお名前」をつけたフォルダの中に保存して下さい。このフォルダの中には、発表に使用する PowerPoint ファイル (動画ファイルがある場合は動画ファイルを含む) 以外のデータは入れないで下さい。
- ・ データの受付および返却 : USB ストレージまたは CD-R でのデータ持ち込みの場合, PC プレビューセンターではデータのみをコピーし, メディアはその場でご返却いたします。
- ・ データの受付時間 : 発表の 1 時間前までに PC プレビューセンターに提出して下さい (早朝の発表者は発表の 30 分前までに受付を済ませて下さい)。
- ・ 発表のために学会場の PC にコピーしたデータは, 会期終了後, 学会事務局ですべて消去します。

④ ノートパソコンをお持ち込みの場合 (Windows, Macintosh とも)

【ノートパソコンの条件】

- ・ 外部出力ができる PC をご持参下さい。
- ・ 会場に用意するケーブルコネクタは mini D-sub 15 ピンです。
- ・ 変換が必要な場合には付属アダプターも各自でご用意下さい。
- ※ HDMI や Mini DisplayPort など D-sub 15 ピン以外の接続はお受けできません。



[mini D-sub 15 pin] コネクタ形状

- ・ 必ず AC アダプター (電源コード) をご持参下さい。
- AC アダプターがない場合, 受付いたしかねる場合もありますのでご了承下さい。

【ノートパソコンの受付・返却】

- ・ 発表の 1 時間前までに PC プレビューセンターで受付をして下さい (早朝の発表者は発表の 30 分前までに受付を済ませて下さい)。
- ・ PC プレビューセンターにて, 試写, 動画・音声の有無を確認後, 各自ご自身のノートパソコンを持って口演会場に移動して下さい。口演会場では, セッション開始時刻 15 分前までに会場内下手前方の PC オペレータ席にノートパソコンをお持ち下さい。
- ・ ノートパソコンを持参の場合, PC プレビューセンターにてデータ受付をお済ませの後に, 講演会場内前方の映像オペレーション卓へパソコンをお預け下さい。演台上でご自身のパソコンを操作いただくことはできませんので, ご了承下さい。
- ・ 発表終了後直ちに PC 発表オペレータ席で, ご自身のパソコンをお引き取り下さい。

(5) 発表方法

- ・ 演台上のマウスとキーボードを操作し, プレゼンテーションを行って下さい。
- ・ スムーズな進行をするために「発表者ツール」の使用はお控え下さい。

VI. ポスター発表者へ

(1) 発表時間

掲示・展示	28 日（木） 9：25～11：00 の間に各自で掲示して下さい.		
発 表	28 日（木）	17：00～17：30	P-001～P-010
			P-022～P-031
			P-058～P-067
			P-095～P-102
			P-112～P-121
		17：30～18：00	P-011～P-021
			P-032～P-041
			P-068～P-076
			P-103～P-111
			P-122～P-131
		18：00～18：30	P-042～P-057
			P-077～P-094
			P-132～P-141
	29 日（金）	17：10～17：40	P-142～P152
			P-185～P193
			P-213～P220
			P-241～P250
			P-271～P280
		17：40～18：10	P-153～P162
			P-194～P203
			P-221～P230
			P-251～P260
			P-281～P287
		18：10～18：40	P-163～P184
			P-204～P212
			P-231～P240
			P-261～P270
撤 去	発表者は終了後，29 日（金）19：30 までに各自でポスターを取り外して下さい.		

※ポスター発表は第 1 日目と第 2 日目に 1 時間半ずつ時間を設けています。発表は、6 つのグループに分かれます。各グループにつき、時間は 30 分です。発表者は割り当てられた 30 分間、ポスターの前に立ち、参加者の質問に応じて説明・討論を行って下さい。

※ポスターは時間内に責任をもって撤去をお願いいたします。撤去時間を過ぎてもお引き取りのないポスターは、学会事務局で撤去し、プログラム終了後に廃棄いたしますのでご了承下さい。

(2) ポスター掲示について

◎ポスター掲示での利益相反 (COI) 開示のお願い
応募演題の筆頭発表者における COI の開示が義務付けられております。

COI の有無にかかわらず、ポスターの最後に必ず COI 開示の掲示をお願いいたします。

COI 開示のフォーマットは下記第 57 回学術集会ホームページよりご確認ください。

【第 57 回学術集会ホームページ：COI 開示要項】

<http://www.c-linkage.co.jp/jscn57/coi.html>

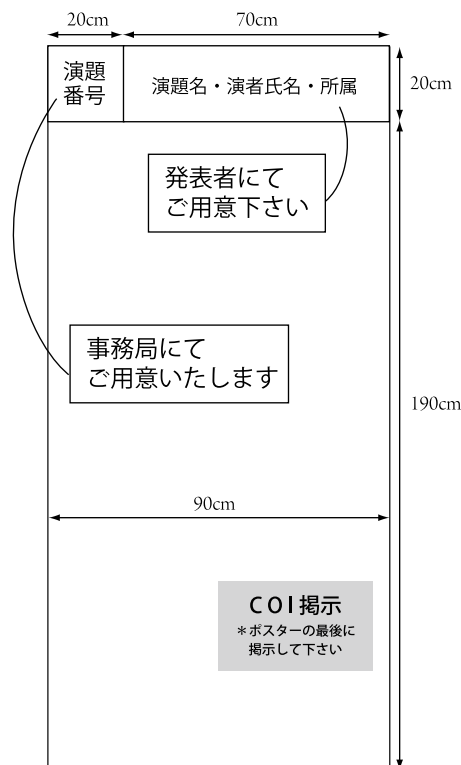
ポスター掲示面の大きさは幅 90 cm、高さ 210 cm です。

(右図参照)

パネルの左肩に 20 cm×20 cm の演題番号が表示されます (演題番号は、学会事務局にて用意します)。

発表者は、指定のパネル上部の演題番号を除く幅 70 cm、高さ 20 cm のスペースに演題名、所属、演者氏名とすべての共同演者氏名を提示して下さい。

本文はその下の 90 cm×190 cm のスペースに掲示して下さい。画鋏は各パネルに用意します。



VII. 共催セミナーについて

(1) 内容

■学会 1 日目 (5 月 28 日)

11 時 40 分よりランチョンセミナー 1~7 を開催します。

■学会 2 日目 (5 月 29 日)

7 時 50 分よりリフレッシュセミナー 2 を、12 時 25 分よりランチョンセミナー 8~13 を、19 時よりイブニングセミナーを開催します。

※上記セミナーはいずれも昼食および軽食を用意いたします。

(2) 共催セミナーの参加整理券の配布

月日	時間	場所
5 月 28 日 (木)	8:00~11:15	帝国ホテル 大阪 3F
5 月 29 日 (金)	7:15~12:00	

共催セミナーの参加には、参加整理券 (無料) が必要です。セミナー開催の当日、配布所にてお受け取り下さい。整理券は、定員になり次第、配布を終了させていただきます。参加整理券をお持ちの方は、各会場前受付にてお弁当・資料をお受け取りの上、ご入場下さい。

VIII. 託児室

会場内の託児施設をご利用いただく予定です。詳細はホームページをご確認下さい。なお、定員になり次第締め切らせていただきます。

プログラム委員会（敬称略，50 音順）

秋山 倫之，荒井 洋，荒木 敦，石川 悠加，植松 貢，大野 耕策，沖永 剛志，奥村 彰久，
小坂 仁，小野 次朗，川脇 壽，熊田 聡子，栗原 まな，小枝 達也，齊藤 利雄，斎藤 義朗，
酒井 規夫，佐久間 啓，島川 修一，下野九理子，塩見 正司，新宅 治夫，鈴木 保宏，田川 哲三，
高田 哲，高梨 潤一，高野 知行，竹島 泰弘，田中総一郎，谷池 雅子，富和 清隆，友田 明美，
永井利三郎，長澤 哲郎，青天目 信，新島 新一，西村 陽，浜野晋一郎，林 雅晴，廣瀬 伸一，
福田冬季子，藤井 克則，藤井 達哉，古莊 純一，前垣 義弘，丸山 幸一，水口 雅，村松 一洋，
山崎 麻美

第 57 回日本小児神経学会学術集会

会 長 永井 利三郎（プール学院大学，大阪大学名誉教授）

副会長 酒井 規夫（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）

事務局 大阪大学大学院医学系研究科小児科学

事務局長 青天目 信

運営事務局

株式会社コンベンションリンクージ内

〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-19-3 PIAS TOWER 11F

TEL：06-6377-2188 FAX：06-6377-2075

E-mail：jscn57@c-linkage.co.jp

第 57 回日本小児神経学会学術集会●役員会・各種委員会・関連プログラム日程

日程	会合名	時間	階	部屋
5 月 27 日 (水) 〈プレコンgress〉				
	理事会	11:30～15:30	4F	松の間
	評議員会 (第 9 回社員総会)	15:45～17:45	5F	第 7 会場 (八重の間)
	実践教育セミナー 1	12:30～15:30	3F	第 2 会場 (孔雀東の間)
	実践教育セミナー 2	13:30～15:30	3F	第 3 会場 (エンバイアルーム)
	実践教育セミナー 3	15:45～17:45	3F	第 2 会場 (孔雀東の間)
	実践教育セミナー 4	15:45～17:45	3F	第 3 会場 (エンバイアルーム)
	実践教育セミナー 5	15:45～17:45	5F	第 6 会場 (吉野の間)
5 月 28 日 (木) 〈学術集会第 1 日目〉				
	倫理委員会・COI 委員会 (合同)	7:30～ 8:30	4F	松の間
	国際化推進委員会	7:30～ 8:30	4F	桐の間
	社会活動・広報委員会	7:30～ 8:30	4F	桃の間
	ホームページ委員会・アーカイブ小委員会 (合同)	7:30～ 8:30	4F	梅の間
	長期計画委員会	7:30～ 8:30	4F	竹の間
	脳と発達編集委員会	11:40～12:40	4F	松の間
	社会保険小委員会	11:40～12:40	4F	梅の間
	共同研究支援委員会	11:40～12:40	4F	竹の間
	会員懇親会	18:50～20:50	3F	第 3 会場 (エンバイアルーム)
5 月 29 日 (金) 〈学術集会第 2 日目〉				
	薬事小委員会	7:50～ 8:50	4F	松の間
	東日本大震災支援小委員会	7:50～ 8:50	4F	竹の間
	アーカイブ小委員会	7:50～ 8:50	4F	桃の間
	用語委員会	7:50～ 8:50	4F	梅の間
	Brain & Development 編集委員会	12:25～13:25	4F	撫子の間
	ガイドライン統括委員会	12:25～13:25	4F	松の間
	医療安全委員会	12:25～13:25	4F	竹の間
	会員総会	13:35～14:20	3F	第 1 会場 (孔雀西の間)
	優秀論文賞授賞式	14:35～14:55	3F	第 1 会場 (孔雀西の間)
	熱性けいれん診療ガイドライン策定 WG	15:00～16:00	4F	松の間
	産科医療補償制度小委員会	15:00～16:00	4F	竹の間
	アドバイサリーカウンスル	15:00～16:00	4F	梅の間
	共同研究支援委員会主催セミナー	8:20～10:00	4F	第 5 会場 (牡丹の間)
	産科医療補償制度小委員会主催セミナー	19:00～21:00	3F	第 1 会場 (孔雀西の間)
	社会活動委員会主催セミナー	19:00～21:00	3F	第 2 会場 (孔雀東の間)
	医療安全委員会主催セミナー	19:00～21:00	3F	第 3 会場 (エンバイアルーム)
	東日本大震災支援委員会主催セミナー	19:00～21:00	4F	第 5 会場 (牡丹の間)
	第 9 回子どもの眠り研究会	19:00～20:00	5F	第 6 会場 (吉野の間)
	薬事委員会主催セミナー	19:00～21:00	5F	第 7 会場 (八重の間)
5 月 30 日 (土) 〈学術集会第 3 日目〉				
	教育委員会	7:50～ 8:50	4F	松の間
	専門医委員会	7:50～ 8:50	4F	竹の間
	小児けいれん重積治療ガイドライン策定 WG	7:50～ 8:50	4F	桃の間
	小児急性脳症診療ガイドライン策定 WG	7:50～ 8:50	4F	梅の間
	第 58 回学術集会プログラム委員会	12:30～13:40	22F	ベガサス
	市民公開講座	13:00～16:00	5F	第 6 会場 (吉野の間)
	第 2 回遺伝学実践教育セミナー	14:00～17:30	4F	桃の間

	第 2 会場 3 階 孔雀東の間	第 3 会場 3 階 エンパイアルーム	第 6 会場 5 階 吉野の間	第 7 会場 5 階 八重の間	委員会会場 4 階 松の間
11:00					
12:00					
13:00					
14:00	実践教育セミナー 1 12:30 ~ 15:30 小児科医のための 神経画像 2015 演者：高梨潤一 大場 洋 森 壱 加藤光広 夫 律子 座長：高梨潤一 大場 洋	実践教育セミナー 2 13:30 ~ 15:30 発達障害診療のコツ 演者：杉山登志郎 座長：友田明美			理事会 11:30 ~ 15:30
15:00	S176	S180			
16:00					
17:00	実践教育セミナー 3 15:45 ~ 17:45 小児神経領域の 先天異常症候群 演者：二宮伸介 岡本伸彦 水野誠司 座長：岡本伸彦 水野誠司	実践教育セミナー 4 15:45 ~ 17:45 知能検査の読み方 演者：北 洋輔 座長：富和清隆	実践教育セミナー 5 15:45 ~ 17:45 脳性麻痺の診断と分類 演者：横地健治 荒井 洋 座長：横地健治 荒井 洋	評議員会 15:45 ~ 17:45	
18:00	S181	S183	S184		

	第 1 会場 3 階 孔雀西の間	第 2 会場 3 階 孔雀東の間	第 3 会場 3 階 エンバイアルーム
8 : 00			
9 : 00	開会式 8 : 40 ~ 8 : 45 会長講演 8 : 45 ~ 9 : 15 小児神経学の新たな展開をめざして ～つながりの中で子どもを育む～ 演者：永井利三郎 座長：高田 哲 S111		
10 : 00	特別講演 1 9 : 30 ~ 10 : 00 小児神経学の展望と 学術集団としてのリーダーシップ 演者：高橋孝雄 座長：大野耕策 S114	シンポジウム 1 9 : 25 ~ 11 : 25 医療的ケアを要する重症心身障害児(者) のトランジションをどうする？ 演者：水口 雅 松葉佐正 鈴木保宏 半田浩美 中村雄作 座長：吉永治美 鈴木保宏 S124	脳炎・脳症 1 9 : 25 ~ 10 : 25 O-007 ~ O-012 座長：吉良龍太郎 温井めぐみ S225
11 : 00	招待講演 1 10 : 25 ~ 11 : 25 Stand up for epilepsy, together with one voice 演者：Solomon L. Moshé 座長：山本 仁 S116		脳炎・脳症 2 10 : 25 ~ 11 : 25 O-013 ~ O-018 座長：高柳 勝 山内秀雄 S227
12 : 00	ランチョンセミナー 1 11 : 40 ~ 12 : 40 結節性硬化症 最新治療アップデート 演者：山内秀雄 柳原恵子 座長：高橋孝雄 S186	ランチョンセミナー 2 11 : 40 ~ 12 : 40 小児難治てんかんの診断と治療 演者：本田涼子 奥村彰久 座長：大澤真木子 S187	ランチョンセミナー 3 11 : 40 ~ 12 : 40 神経型ゴーシェ病の診断と治療戦略 演者：井田博幸 成田 綾 座長：酒井規夫 S188
13 : 00	特別講演 2 13 : 00 ~ 14 : 00 小児神経学と成人神経学に架かる橋 演者：平山恵造 座長：川井 充 S115	招待講演 2 13 : 00 ~ 14 : 00 Evidence based interventions for children with Cerebral Palsy : what should the therapy be ? 演者：Roslyn N. Boyd 座長：萩野谷和裕 S117	
14 : 00		招待講演 3 (共催 ユーシービージャパン/大塚製薬) 14 : 00 ~ 15 : 00 Precision medicine in epilepsy : how genetics informs clinical practice 演者：Ingrid E. Scheffer 座長：廣瀬伸一 S118	脳炎・脳症 3 13 : 50 ~ 15 : 00 O-019 ~ O-025 座長：今高城治 舘上達夫 S229
15 : 00			感染・免疫 15 : 00 ~ 15 : 50 O-026 ~ O-030 座長：瀬戸俊之 細矢光亮 S231
16 : 00	基調講演 1 15 : 50 ~ 16 : 50 ロボットが支える未来社会 ーロボットによる生活支援・学習支援ー 演者：石黒 浩 座長：高橋孝雄 S112	学習障害 15 : 50 ~ 16 : 50 O-001 ~ O-006 座長：高田 哲 安原昭博 S223	不随意運動, 基底核 15 : 50 ~ 16 : 50 O-031 ~ O-036 座長：久保田雅也 新宅治夫 S233
17 : 00			
18 : 00			
19 : 00			
20 : 00			会員懇親会 18 : 50 ~ 20 : 50
21 : 00			

	第 4 会場	第 5 会場	第 6 会場	第 7 会場
	4 階	4 階	5 階	5 階
	芙蓉の間	牡丹の間	吉野の間	八重の間
8 : 00				
9 : 00				
10 : 00	English Session 1 9 : 25 ~ 10 : 25 E-001 ~ E-006 座長 : 小篠史郎 西村 陽 S205	脳性麻痺・療育 1 9 : 25 ~ 10 : 25 O-053 ~ O-058 座長 : 下泉秀夫 江添隆範 S240	てんかん 1 9 : 25 ~ 10 : 25 O-077 ~ O-082 座長 : 廣瀬伸一 倉橋宏和 S248	シンポジウム 2 9 : 25 ~ 11 : 25 Dystrophinopathyの中中枢神経障害 演者 : 齊藤利雄 井村 修 関口正幸 諏訪園秀吾 白石一浩 座長 : 松村 剛 小牧宏文 S127
11 : 00	脳外科・血管障害 10 : 25 ~ 11 : 25 O-037 ~ O-042 座長 : 竹本 理 貴島晴彦 S235	脳性麻痺・療育 2 10 : 25 ~ 11 : 25 O-059 ~ O-064 座長 : 沢石由記夫 奈良隆寛 S242	発達障害 1 10 : 25 ~ 11 : 25 O-083 ~ O-088 座長 : 石崎朝世 瀬島 斉 S250	
12 : 00	ランチョンセミナー 4 11 : 40 ~ 12 : 40 新規抗てんかん薬には 血中濃度測定は必要ない？ ～TDMIに基づいた 治療戦略のすすめ～ 演者 : 岩崎俊之 座長 : 山本 仁 S189	ランチョンセミナー 5 11 : 40 ~ 12 : 40 筋緊張亢進状態の小児に対する バクロフェン持続髄注療法の実際 演者 : 松尾宗明 座長 : 前垣義弘 S189	ランチョンセミナー 6 11 : 40 ~ 12 : 40 低身長症とSGA性低身長症 演者 : 高谷竜三 座長 : 児玉浩子 S190	ランチョンセミナー 7 11 : 40 ~ 12 : 40 新生児救急医療から 小児てんかん重症状態まで ～治療戦略を考える～ 演者 : 田村正徳 廣間武彦 須貝研司 座長 : 田村正徳 S190
13 : 00				
14 : 00	先天代謝異常 1 13 : 50 ~ 14 : 40 O-043 ~ O-047 座長 : 田中あけみ 福田冬季子 S237	筋 1 13 : 50 ~ 14 : 50 O-065 ~ O-070 座長 : 石垣景子 富永康仁 S244	発達障害 2 13 : 50 ~ 14 : 40 O-089 ~ O-093 座長 : 家島 厚 若宮英司 S252	シンポジウム 3 13 : 10 ~ 15 : 10 小児頭部外傷の急性期治療・ リハビリテーション・予防 演者 : 荒木 尚 栗原まな 吉橋 学 出口貴美子 栗野正浩 高宮智昭 座長 : 栗原まな 荒木 尚 S130
15 : 00	先天代謝異常 2 14 : 40 ~ 15 : 30 O-048 ~ O-052 座長 : 呉 繁夫 松尾宗明 S238	筋 2 14 : 50 ~ 15 : 50 O-071 ~ O-076 座長 : 斎藤加代子 西尾久英 S246	てんかん 2 14 : 40 ~ 15 : 40 O-094 ~ O-099 座長 : 夏目 淳 前垣 義弘 S254	精神障害・行動障害 15 : 10 ~ 16 : 00 O-106 ~ O-110 座長 : 稲垣真澄 古莊純一 S258
16 : 00	English Session 2 15 : 50 ~ 16 : 40 E-007 ~ E-011 座長 : 栗屋智就 村上良子 S207	特別企画 1 15 : 50 ~ 16 : 50 海外への研究留学： 経験者に教えてもらおう！ 演者 : 菅原祐之 三牧正和 岡西 徹 座長 : 村松一洋 城所博之 S158	てんかん 3 15 : 40 ~ 16 : 40 O-100 ~ O-105 座長 : 石川暢恒 浜野晋一郎 S256	社会・安全 16 : 00 ~ 16 : 40 O-111 ~ O-114 座長 : 竹内義博 S259
17 : 00				
18 : 00				
19 : 00				
20 : 00				
21 : 00				

	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場
	3 階	3 階	3 階
	孔雀西の間	孔雀東の間	エンバイアルーム
7 : 30			
8 : 00		リフレッシュセミナー 1 7 : 50 ~ 8 : 50 小児神経科医に必要な遺伝学的検査の解釈 演者：齋藤伸治 座長：酒井規夫 S156	リフレッシュセミナー 2 (共催 ヤンセンファーマ) 7 : 50 ~ 8 : 50 ベアレントトレーニングの 基本プラットフォームについて 演者：岩坂英巳 座長：玉井 浩 S156
9 : 00	招待講演 4 (瀬川プログラム) 9 : 00 ~ 10 : 00 Progress in Understanding the Brain in Autism 演者：Robert T. Schultz 座長：小枝達也 S119	教育講演 2 9 : 00 ~ 10 : 00 オートファジーによる細胞内分解の意義 演者：水島 昇 座長：伏木信次 S121	脳炎・脳症 4 9 : 00 ~ 10 : 00 O-127 ~ O-132 座長：九鬼一郎 高橋幸利 S265
10 : 00			
11 : 00	シンポジウム 4 10 : 10 ~ 12 : 10 発達障害の先端的研究ー 子どものこころのセンターの取り組み 演者：菊知 充 鈴木勝昭 齋藤大輔 下野九理子 中里道子 座長：谷池雅子 友田明美 S133	シンポジウム 5 10 : 10 ~ 12 : 10 オートファジーと小児神経疾患 演者：村松一洋 林 雅晴 西野一三 足立弘明 座長：青天目信 水島 昇 S136	脳炎・脳症 5 10 : 10 ~ 11 : 00 O-133 ~ O-137 座長：南 弘一 森内 浩幸 S267
12 : 00			脳性麻痺・療育 3 11 : 00 ~ 12 : 10 O-138 ~ O-144 座長：米山 明 常石秀市 S268
13 : 00	ランチョンセミナー 8 12 : 25 ~ 13 : 25 臨床に役立つライゾーム病の診断と治療 演者：濱田悠介, 小牧宏文 座長：竹島泰弘, 酒井規夫 S192	ランチョンセミナー 9 12 : 25 ~ 13 : 25 てんかん治療の選択 薬かケトンか手術か ー小児神経科医の判断ー 演者：榎日出夫 座長：新島新一 S193	ランチョンセミナー 10 12 : 25 ~ 13 : 25 てんかん診療の最新動向 ーてんかんネットワークと 薬物治療についてー 演者：白石秀明 座長：小国弘量 S193
14 : 00	会員総会 13 : 35 ~ 14 : 20		
	福山幸夫先生メモリアル追悼講演 14 : 20 ~ 14 : 35		
	日本小児神経学会優秀論文賞授賞式・ミニ講演 14 : 35 ~ 14 : 55		
15 : 00			
16 : 00	教育講演 1 15 : 00 ~ 16 : 00 ブレイン・マシン・インター フェイス(BMI)が開く新しい神経科学 演者：吉峰俊樹 座長：坂本博昭 S120	発達障害 3 15 : 00 ~ 16 : 00 O-115 ~ O-120 座長：荒木 就 関あゆみ S261	シンポジウム 6 15 : 00 ~ 17 : 00 急性脳炎・急性脳症の理解を深めるために 演者：田中恵子 飯塚高浩 木村 宏 佐久間啓 九鬼一郎 座長：塩見正司 佐久間啓 S139
17 : 00	基調講演 2 16 : 00 ~ 17 : 00 障がいのある子どもを育む国際協力： 小児神経学のグローバルな連携をめざして 演者：中村安秀 座長：永井利三郎 S113	発達障害 4 16 : 00 ~ 17 : 00 O-121 ~ O-126 座長：杉田克生 鈴木周平 S263	
18 : 00			
19 : 00			
20 : 00	産科医療補償制度小委員会主催セミナー 19 : 00 ~ 21 : 00 産科医療補償制度の現状と 2015年制度改定 S166	社会活動委員会主催セミナー 19 : 00 ~ 21 : 00 発達障害のある子どもの 移行支援 S167	医療安全委員会主催セミナー 19 : 00 ~ 21 : 00 「MRI検査時の鎮静に関する 共同提言」からの発展と課題 S169
21 : 00			

	第 4 会場 4 階 芙蓉の間	第 5 会場 4 階 牡丹の間	第 6 会場 5 階 吉野の間	第 7 会場 5 階 八重の間
7:30				
8:00				
9:00	染色体・遺伝子 1 9:00～10:00 O-145～O-150 座長：下澤伸行 新井田要 S271	共同研究支援 委員会主催セミナー 8:20～10:00 第一部：申請課題発表 「日本小児神経学会が 支援する共同研究」 第二部：エキスパートに聞く 「小児重症筋無力症の治療」 S162	てんかん 4 9:00～10:00 O-179～O-184 座長：川脇 壽 須貝研司 S282	シンポジウム 7 9:00～11:00 脳形成障害の臨床、画像、 病理、遺伝子の最新の知見 演者：山崎麻美 夫 律子 宇都宮英綱 伊東恭子 加藤光広 座長：齋藤伸治 小崎健次郎 S142
10:00				
11:00	染色体・遺伝子 2 10:10～11:10 O-151～O-156 座長：小崎里華 福與なおみ S273	筋・末梢神経 1 10:10～11:10 O-157～O-162 座長：大谷宜伸 西本幸弘 S275	てんかん 5 10:10～11:10 O-185～O-190 座長：島川修一 若井周治 S284	
12:00	English Session 3 11:10～12:10 E-012～E-017 座長：岡本伸彦 田中あけみ S208	筋・末梢神経 2 11:10～12:10 O-163～O-168 座長：下野昌幸 永光信一郎 S277	てんかん 6 11:10～12:10 O-191～O-196 座長：柏木 充 藤本礼尚 S286	新生児 11:10～12:10 O-209～O-214 座長：岡 明 久保田哲夫 S292
13:00	ランチョンセミナー 11 12:25～13:25 ニーマン・ピック病 C 型 早期診断のポイント 主要な症状と スクリーニング検査のすすめー 演者：衛藤義勝 座長：大野耕策 S194		ランチョンセミナー 12 12:25～13:25 神経発達症群(NDD)の 子どもたちの専門職連携を 通した包括的支援の在り方 演者：小野次朗 座長：宮本信也 S194	ランチョンセミナー 13 12:25～13:25 小児けいれん重積治療に おけるミダゾラムの臨床と薬理 演者：皆川公夫 座長：大塚頌子 S195
14:00				
15:00	English Session 4 15:00～16:00 E-018～E-023 座長：軍司敦子 高梨潤一 S210	神経変性疾患 15:00～15:40 O-169～O-172 座長：小坂 仁 S279	てんかん 7 15:00～16:00 O-197～O-202 座長：榎日出夫 久保田英幹 S288	シンポジウム 8 15:00～17:00 From the Bench to Bedside を見据 えた脳発達基礎医学の新展開 演者：黒田公美 仲嶋一範 高橋琢哉 佐藤 真 座長：佐藤 真 黒田公美 S145
16:00	English Session 5 16:00～17:00 E-024～E-029 座長：佐々木征行 新島新一 S212	染色体・遺伝子 3 15:40～16:40 O-173～O-178 座長：遠山 潤 和田敬仁 S280	てんかん 8 16:00～17:00 O-203～O-208 座長：小国弘量 白石秀明 S290	
17:00				
18:00				
19:00	イブニングセミナー 19:00～20:00 小児・思春期の特発性 てんかんの治療 演者：金村英秋 加藤竹雄 座長：大澤真木子 S196	東日本大震災支援 委員会主催セミナー 19:00～21:00 震災後の子どもの 状況とこれからの課題 S171	第9回子どもの眠り研究会 19:00～20:00	薬事委員会主催セミナー 19:00～21:00 小児神経疾患における 活性型ビタミンB6の意義 S174
20:00				
21:00				

	第 1 会場 3 階 孔雀西の間	第 2 会場 3 階 孔雀東の間	第 3 会場 3 階 エンパイアルーム	第 4 会場 4 階 芙蓉の間
7:30				
8:00			リフレッシュセミナー 3 7:50～8:50 気づきにくい・気づかれにくい 子どもたちへの対応 ～知的発達が境界域を示す場合～ 演者：小野次朗 座長：石崎朝世 S157	
9:00	シンポジウム 9 9:00～11:00 脳性麻痺の病態と治療 —update— 演者：横地健治 高草木薫 荒井 洋 柴田 徹 座長：萩野谷和裕 丸山幸一 S148	特別企画 2 9:00～10:00 末梢神経障害の臨床と電気生理： GBS/CIDPを中心に 演者：桑原 聡 座長：熊田聡子 S160	発達障害 5 9:00～10:00 O-215～O-220 座長：杉江陽子 林 隆 S294	English Session 6 9:00～9:50 E-030～E-034 座長：小林勝弘 佐久間啓 S214
10:00		企画シンポジウム 10:00～12:00 皆で学ぼう難病・ 小児慢性特定疾病の新制度 演者：前田彰久 小倉加恵子 小林信秋 座長：林 雅晴 小倉加恵子 S154	てんかん 9 10:00～11:00 O-221～O-226 座長：沖永剛志 奥村彰久 S296	English Session 7 9:50～11:00 E-035～E-041 座長：大坪 宏 加藤光広 S216
11:00	教育講演 3 11:00～12:00 神経回路機能の発達再編 演者：鍋倉淳一 座長：水口 雅 S122		脳炎・脳症 6 11:00～12:00 O-227～O-232 座長：高梨潤一 藤井克則 S298	English Session 8 11:00～12:00 E-042～E-047 座長：小林正久 濱崎考史 S218
12:00	閉会式 12:00～12:10			
13:00				
14:00				
15:00				第10回小児重症筋無力症研究会 13:00～17:00
16:00				
17:00				

	第 5 会場 4 階 牡丹の間	第 6 会場 5 階 吉野の間	第 7 会場 5 階 八重の間	患者会ブース 4 階 ロビー
7:30				
8:00		特別企画 3 7:50～8:50 先天性 GPI 欠損症： てんかん・知的障害を 主症状とする新しい疾患 演者：村上良子 座長：藤井達哉 S161		
9:00	第 7 回 小児免疫性脳炎研究会 8:00～10:00	筋 3 9:00～10:00 O-245～O-250 座長：石川幸辰 木村重美 S304	シンポジウム 10 9:00～11:00 代謝疾患の新規治療－ 神経症状をターゲットに した治療法 演者：松尾宗明 成田 綾 酒井規夫 古賀靖敏 座長：大野耕策 酒井規夫 S151	患者会ブース 9:00～12:00
10:00	画像・形態 10:00～11:00 O-233～O-238 座長：大場 洋 早川克己 S300	筋 4 10:00～11:00 O-251～O-256 座長：竹下絵里 石川悠加 S306		
11:00	睡眠，自律神経，他 11:00～12:00 O-239～O-244 座長：神山 潤 玉井 浩 S302	教育講演 4 11:00～12:00 Duchenne 型筋ジストロフィー に対する新たな治療法の開発 演者：竹島泰弘 座長：齋藤加代子 S123	結節性硬化症 11:00～12:00 O-257～O-262 座長：小林 悟 泉 達郎 S308	
12:00				
13:00				
14:00		市民公開講座 13:00～16:00 医療的ケアを受けながら地域で 生きる子どもを支えるには 演者：船戸正久 春本常雄 下釜聡子 丹羽 登 三浦清邦 竹本由子 高田 哲 座長：船戸正久 高田 哲 S197		
15:00				
16:00				
17:00				

ポスターセッション 第 1 日目（5 月 28 日）

	ポスター会場 1	ポスター会場 2	ポスター会場 3	ポスター会場 4	ポスター会場 5
9 : 25	3 階 白鷺の間	3 階 鶴の間	22 階 バイサイズ	22 階 アポロン	22 階 ベガサス
	ポスター貼付け 9 : 25 ~ 11 : 00				
11 : 00	ポスター閲覧 11 : 00 ~ 17 : 00				
17 : 00					
17 : 30	発達障害 1 P-001 ~ P-010 《モデレーター》 宮本晶恵 S313	急性脳炎・脳症 1 P-022 ~ P-031 《モデレーター》 後藤知英 S320	先天代謝異常 1 P-058 ~ P-067 《モデレーター》 成田 綾 S332	筋 1 P-095 ~ P-102 《モデレーター》 石山昭彦 S344	てんかん 1 P-112 ~ P-121 《モデレーター》 伊藤 進 S350
18 : 00	発達障害 2 P-011 ~ P-021 《モデレーター》 小倉加恵子 S316	感染・免疫 1 P-032 ~ P-041 《モデレーター》 椎原 隆 S323	神経変性疾患 P-068 ~ P-076 《モデレーター》 小林博司 S335	筋・末梢神経 1 P-103 ~ P-111 《モデレーター》 作田亮一 S347	てんかん 2 P-122 ~ P-131 《モデレーター》 本田涼子 S353
18 : 30		社会・安全 P-042 ~ P-047 《モデレーター》 是松聖悟 S326	障害児・者医療 1 P-048 ~ P-057 《モデレーター》 鈴木由香 S328	染色体・遺伝子 1 P-077 ~ P-084 《モデレーター》 中村和幸 S338	脳外科・血管障害 P-085 ~ P-094 《モデレーター》 原田敦子 S341
	てんかん 3 P-132 ~ P-141 《モデレーター》 森本昌史 S356				
	ポスター閲覧				

ポスターセッション 第 2 日目（5 月 29 日）

	ポスター会場 1		ポスター会場 2		ポスター会場 3	ポスター会場 4	ポスター会場 5	
8 : 00	3 階 白鷺の間		3 階 鶴の間		22 階 バイサイズ	22 階 アポロン	22 階 ベガサス	
	ポスター閲覧 8 : 00 ~ 17 : 10							
17 : 10								
17 : 40	発達障害 3 P-142 ~ P-152 《モデレーター》 毛利育子 S360		急性脳炎・脳症 2 P-185 ~ P-193 《モデレーター》 荒木 敦 S374		先天代謝異常 2 P-213 ~ P-220 《モデレーター》 安藤直樹 S383	てんかん 4 P-241 ~ P-250 《モデレーター》 高橋 悟 S393	筋・末梢神経 2 P-271 ~ P-280 《モデレーター》 安元佐和 S403	
18 : 00	学習障害・AD/HD P-153 ~ P-162 《モデレーター》 鈴木周平 S363		感染・免疫 2 P-194 ~ P-203 《モデレーター》 岡崎 伸 S377		染色体・遺伝子 2 P-221 ~ P-230 《モデレーター》 菊池健二郎 S386	てんかん 5 P-251 ~ P-260 《モデレーター》 岡西 徹 S396	不随意運動・ 頭痛・自律神経 P-281 ~ P-287 《モデレーター》 斎藤義朗 S406	
18 : 10	精神障害・ 行動障害 P-163 ~ P-172 《モデレーター》 大戸達之 S367	新生児 P-173 ~ P-175 《モデレーター》 早川文雄 S370	画像・形態・ 病理 P-176 ~ P-184 《モデレーター》 宮田理英 S371	障害児・者医療 2 P-204 ~ P-212 《モデレーター》 鳥邊泰久 S380	染色体・遺伝子 3 P-231 ~ P-240 《モデレーター》 清水教一 S389	てんかん 6 P-261 ~ P-270 《モデレーター》 最上友紀子 S399		
18 : 40	ポスター撤去 18 : 40 ~ 19 : 30							
19 : 30								



特別演題日程

S29 ~ S38

プログラム

S39 ~ S108

会長講演

- 5 月 28 日 (木) 8:45~9:15 第 1 会場
 座長 高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科地域保健学講座)
 小児神経学の新たな展開をめざして~つながりの中で子どもを育む~
 永井利三郎 (プール学院大学, 大阪大学名誉教授)

基調講演 1

- 5 月 28 日 (木) 15:50~16:50 第 1 会場
 座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)
 ロボットが支える未来社会 - ロボットによる生活支援・学習支援 -
 石黒 浩 (大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻知能ロボット学研究室, ATR 石黒浩特別研究所)

基調講演 2

- 5 月 29 日 (金) 16:00~17:00 第 1 会場
 座長 永井利三郎 (プール学院大学, 大阪大学名誉教授)
 障がいのある子どもを育む国際協力: 小児神経学のグローバルな連繋をめざして
 中村安秀 (大阪大学大学院人間科学研究科)

特別講演 1

- 5 月 28 日 (木) 9:30~10:00 第 1 会場
 座長 大野耕策 (独立行政法人労働者健康福祉機構山陰労災病院)
 小児神経学の展望と学術集団としてのリーダーシップ
 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)

特別講演 2

- 5 月 28 日 (木) 13:00~14:00 第 1 会場
 座長 川井 充 (国立病院機構東埼玉病院)
 小児神経学と成人神経学に架かる橋
 平山恵造 (千葉大学名誉教授)

招待講演 1

- 5 月 28 日 (木) 10:25~11:25 第 1 会場
 座長 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)
Stand up for epilepsy, together with one voice
 Solomon L. Moshé (Saul R. Korey Department of Neurology, Dominick P. Purpura Department of Neuroscience and Department of Pediatrics Laboratory of Developmental Epilepsy, Montefiore/Einstein Epilepsy Management Center, Albert Einstein College of Medicine and Montefiore Medical Center)

招待講演 2

- 5 月 28 日 (木) 13:00~14:00 第 2 会場
 座長 萩野谷和裕 (宮城県拓桃医療療育センター小児科)
Evidence based interventions for children with Cerebral Palsy: what should the therapy be?
 Roslyn N. Boyd (Queensland Cerebral Palsy Research centre, The University of Queensland, Brisbane, Australia)

招待講演 3 (共催 ユーシービージャパン株式会社/大塚製薬株式会社)

- 5 月 28 日 (木) 14:00~15:00 第 2 会場
 座長 廣瀬伸一 (福岡大学医学部小児科)
Precision medicine in epilepsy: how genetics informs clinical practice
 Ingrid E. Scheffer (Florey Institute of Neuroscience and Mental Health, The University of Melbourne, Departments of Medicine and Paediatrics, The University of Melbourne, Austin Health and Royal Children's Hospital, Melbourne, Australia)

招待講演 4 (瀬川プログラム)

- 5 月 29 日 (金) 9:00~10:00 第 1 会場
 座長 小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科)
Progress in Understanding the Brain in Autism
 Robert T. Schultz (Psychology & Cognitive Neuroscience Departments of Pediatrics & Psychiatry, University of Pennsylvania Center for Autism Research Children's Hospital of Philadelphia, Pennsylvania, USA)

教育講演 1

- 5 月 29 日 (金) 15:00~16:00 第 1 会場
 座長 坂本博昭 (大阪市立総合医療センター小児脳神経外科)
 プレイン・マシン・インターフェイス (BMI) が開く新しい神経科学
 吉峰俊樹 (大阪大学医学部脳神経外科)

教育講演 2

- 5 月 29 日 (金) 9:00~10:00 第 2 会場
 座長 伏木信次 (京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学)
 オートファジーによる細胞内分解の意義
 水島 昇 (東京大学医学系研究科分子生物学)

教育講演 3

- 5 月 30 日 (土) 11:00~12:00 第 1 会場
 座長 水口 雅 (東京大学医学部発達医科学)
 神経回路機能の発達再編
 鍋倉淳一 (自然科学研究機構生理学研究所, 総合研究大学院大学)

教育講演 4

- 5 月 30 日 (土) 11:00~12:00 第 6 会場
 座長 齋藤加代子 (東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)
 Duchenne 型筋ジストロフィーに対する新たな治療法の開発
 竹島泰弘 (兵庫医科大学小児科)

シンポジウム 1: 医療的ケアを要する重症心身障害児 (者) のトランジションをどうする?

- 5 月 28 日 (木) 9:25~11:25 第 2 会場
 座長 吉永治美 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学)
 鈴木保宏 (大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科)
 1) 小児慢性疾患患者の移行支援:「移行期医療に関する提言」など小児科学会の活動の紹介
 水口 雅 (東京大学医学部発達医科学)
 2) 重症心身障害児 (者) 医療の課題としての移行期医療
 松葉佐正 (熊本大学医学部附属病院重症心身障がい学寄附講座)
 3) 医療的ケアを要する重症心身障害者の成人医療機関への移行—小児病院の立場から
 鈴木保宏 (大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科)
 4) 重症心身障害児者のトランジションにおける多職種連携—岡山大学病院での小児看護外来の取り組み—
 半田浩美¹, 吉永治美^{2,3}, 小林勝弘²
 (岡山大学病院看護部¹, 岡山大学病院小児神経科², 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学小児神経科³)
 5) 神経内科医の立場から—ALS などの重症在宅難病患者診療の現況
 中村雄作 (近畿大学医学部堺病院神経内科)

シンポジウム 2: Dystrophinopathy の中枢神経障害

- 5 月 28 日 (木) 9:25~11:25 第 7 会場
 座長 松村 剛 (国立病院機構刀根山病院神経内科)
 小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
 1) Dystrophinopathy の中枢神経障害オーバービュー
 齊藤利雄 (国立病院機構刀根山病院神経内科・小児神経内科)
 2) 筋ジストロフィーにおける発達障害についての心理学的検討
 井村 修 (大阪大学人間科学研究科)
 3) Duchenne 型筋ジストロフィーモデルマウスの中核異常
 関口正幸 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第四部)
 4) Dystrophinopathy の臨床神経生理学的検討
 諏訪園秀吾 (独立行政法人国立病院機構沖縄病院神経内科)
 5) DMD と自閉症の合併症例の実際
 白石一浩 (宇多野病院小児科)

シンポジウム 3：小児頭部外傷の急性期治療・リハビリテーション・予防

5月28日(木) 13:10~15:10 第7会場

座長 栗原まな(神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科)

荒木 尚(日本医科大学付属病院救命救急科)

- 1) 脳神経機能予後を見据えた小児頭部外傷の急性期対応
荒木 尚(日本医科大学付属病院救命救急科)
- 2) 小児頭部外傷の急性期治療・リハビリテーション・予防：後遺症の実態
栗原まな(神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科)
- 3) 小児脳外傷のリハビリテーション
吉橋 学(神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科)
- 4) 地域で行なっている科学的なこどもの傷害予防
出口貴美子^{1,3}, 大野美喜子², 北村光司², 西田佳史²
(出口小児科医院¹, 産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究センター², NPO 法人 Love & Safety
おおむら³)
- 5) 自動車開発における安全対策
栗野正浩, 高宮智昭
(一般社団法人日本自動車工業会, 三菱自動車工業株式会社開発本部安全技術部)

シンポジウム 4：発達障害の先端的研究—子どものこころのセンターの取り組み

5月29日(金) 10:10~12:10 第1会場

座長 谷池雅子(大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科小児発達学専攻)

友田明美(大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科小児発達学専攻, 福井大学子どものこころの発達研究センター)

- 1) 自閉症スペクトラム障害児の脳磁図研究
菊知 充¹, 三邊義雄^{1,2}(金沢大学子どものこころの発達研究センター¹, 金沢大学大学院脳情報病態学²)
- 2) 自閉症スペクトラム障害の分子イメージング—PET による研究—
鈴木勝昭(浜松医科大学精神医学講座)
- 3) 定型発達児の脳発達に関する画像研究
齋藤大輔(福井大学子どものこころの発達研究センター, 福井大学高エネルギー医学研究センター)
- 4) 自閉症スペクトラム障害児の感覚特異性
下野九理子(大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科)
- 5) 自閉スペクトラム症を対象とした認知機能改善療法の効果：パイロット研究
中里道子¹, 奥田朋子²
(千葉大学大学院医学研究センター子どものこころの発達研究センター¹, 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科²)

シンポジウム 5：オートファジーと小児神経疾患

5月29日(金) 10:10~12:10 第2会場

座長 青天目信(大阪大学大学院医学系研究科小児科, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター)

水島 昇(東京大学大学院医学系研究科分子生物学分野)

- 1) WDR45 遺伝子変異によるオートファジー関連神経変性症 SENDA
村松一洋(群馬大学大学院医学系研究科小児科)
- 2) Vici 症候群, mucopolysaccharidosis type IV, 難治てんかんとオートファジー
林 雅晴(東京都医学総合研究所脳発達・神経再生)
- 3) 自己貪食空胞性ミオパチー
西野一三(国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部)
- 4) 蛋白質分解システムの強化による球脊髄性筋萎縮症の病態の改善
足立弘明(産業医科大学医学部神経内科)

シンポジウム 6：急性脳炎・急性脳症の理解を深めるために

5月29日(金) 15:00~17:00 第3会場

座長 塩見正司((社)石井記念愛染園附属愛染橋病院小児科)

佐久間啓(公益財団法人東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野)

- 1) 急性脳炎・脳症の診断に役立つ抗体検査
田中恵子(金沢医科大学総合医学研究所生命科学研究領域, 金沢医科大学神経内科)
- 2) 抗 NMDA 受容体脳炎における診断と治療上の留意点
飯塚高浩(北里大学医学部神経内科)
- 3) ヘルペスウイルスによる脳炎
木村 宏(名古屋大学大学院医学系研究科ウイルス学)

- 4) 急性脳炎・脳症とサイトカイン
佐久間啓（公益財団法人東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野）
- 5) 持続脳波・脳圧モニタリングと脳画像所見からみた急性脳炎・急性脳症
九鬼一郎¹，塩見正司²，岡崎 伸¹，川脇 壽¹，富和清隆¹，天羽清子³，外川正生³
（大阪市立総合医療センター小児神経内科¹，愛染橋病院小児科²，大阪市立総合医療センター小児救急科³）

シンポジウム 7：脳形成障害の臨床，画像，病理，遺伝子の最新の知見

5 月 29 日（金）9:00～11:00 第 7 会場

座長 齋藤伸治（名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野）
小崎健次郎（慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター）

- 1) 胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成
山崎麻美（愛仁会高槻病院小児脳神経外科，国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター）
- 2) 胎児脳形成障害症の胎児エコー診断
夫 律子（クリフム夫律子マタニティクリニック臨床胎児医学研究所）
- 3) 胎児期中枢神経奇形の MRI 診断
宇都宮英綱（国際医療福祉大学大学院放射線情報科学分野，ももち浜福岡山王病院放射線診断科）
- 4) 脳形成障害の病理と発生病態解明
伊東恭子（京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学）
- 5) 脳形成障害の分子診断
加藤光広（山形大学医学部小児科）

シンポジウム 8：From the Bench：Bedside を見据えた脳発達基礎医科学の新展開

5 月 29 日（金）15:00～17:00 第 7 会場

座長 佐藤 真（大阪大学大学院医学系研究科解剖学講座（神経機能形態学），大阪大学大学院連合小児発達学研究科こころの発達神経科学講座，福井大学子どものこころの発達研究センター）

黒田公美（理化学研究所脳科学総合研究センター親和性社会行動研究チーム）

- 1) 赤ちゃんは抱っこして歩くとなぜ泣き止むのか：哺乳類「輸送反応」の意義と神経機構
黒田公美，吉田さちね，ジャンルカエスボジト
（理化学研究所脳科学総合研究センター親和性社会行動研究チーム）
- 2) 環境因子が脳の発達や機能に与える影響とその保護
仲嶋一範（慶應義塾大学医学部解剖学）
- 3) シナプス可塑性：基礎研究から臨床応用へ
高橋琢哉（公立大学法人横浜市立大学大学院医学研究科生理学）
- 4) 発達障害の病態解明に向けた新たなアプローチについて
佐藤 真
（大阪大学大学院医学系研究科解剖学講座（神経機能形態学），大阪大学大学院連合小児発達学研究科こころの発達神経科学講座，福井大学子どものこころの発達研究センター）

シンポジウム 9：脳性麻痺の病態と治療—update—

5 月 30 日（土）9:00～11:00 第 1 会場

座長 萩野谷和裕（宮城県拓桃医療療育センター小児科）
丸山幸一（愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科）

- 1) 脳性麻痺神経症候学
横地健治（聖隷三方原病院小児神経科）
- 2) 運動制御の神経生理学
高草木薫（旭川医大医学部脳機能医工学研究センター）
- 3) 脳性麻痺の病態別治療とエビデンス
荒井 洋（森之宮病院小児神経科）
- 4) 脳性麻痺の整形外科的治療とエビデンス
柴田 徹（森之宮病院小児整形外科）

シンポジウム 10：代謝疾患の新規治療—神経症状をターゲットにした治療法

5 月 30 日（土）9:00～11:00 第 7 会場

座長 大野耕策（独立行政法人労働者健康福祉機構山陰労災病院）
酒井規夫（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）

- 1) ニーマンピック病 C 型の新規治療法
松尾宗明¹，石塚洋一²，持永早希子³，前田美由紀³，和田幸樹⁴，有馬英俊²，入江徹美²
（佐賀大学医学部小児科¹，熊本大学大学院生命科学研究部²，佐賀大学医学部薬剤部³，日本食品化工研究所⁴）

- 2) ゴーシェ病に対するシャペロン療法の開発
成田 綾¹, 前垣義弘¹, 鈴木義之³, 大野耕策^{1,2}
(鳥取大学医学部脳神経小児科¹, 山陰労災病院², 東京都臨床医学総合研究所³)
- 3) 髄注による酵素補充療法の開発
酒井規夫 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)
- 4) MELAS に対する L-アルギニン療法
古賀靖敏 (久留米大学医学部小児科)

企画シンポジウム：皆で学ぼう難病・小児慢性特定疾病の新制度

- 5 月 30 日 (土) 10:00~12:00 第 2 会場
座長 林 雅晴 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生)
小倉加恵子 (社会医療法人大道会森之宮病院小児神経科)
- 1) 難病法成立に伴う、指定難病 (医療費助成対象疾病) の見直し等について
前田彰久 (厚生労働省健康局疾病対策課)
 - 2) 法改正後の小児慢性特定疾病治療研究事業について
小倉加恵子 (社会医療法人大道会森之宮病院小児神経科)
 - 3) 新しい小児慢性特定疾病制度の課題と期待
小林信秋 (認定 NPO 法人難病のこども支援全国ネットワーク)

リフレッシュセミナー 1

- 5 月 29 日 (金) 7:50~8:50 第 2 会場
座長 酒井規夫 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)
小児神経科医に必要な遺伝学的検査の解釈
齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

リフレッシュセミナー 2：共催 ヤンセンファーマ株式会社

- 5 月 29 日 (金) 7:50~8:50 第 3 会場
座長 玉井 浩 (大阪医科大学小児科学教室)
ペアレントトレーニングの基本プラットフォームについて
岩坂英巳 (奈良教育大学特別支援教育研究センター)

リフレッシュセミナー 3

- 5 月 30 日 (土) 7:50~8:50 第 3 会場
座長 石嶋朝世 (公益社団法人発達協会王子クリニック)
気づきにくい・気づかれにくい子どもたちへの対応 ～知的発達が境界域を示す場合～
小野次朗 (和歌山大学教育学部特別支援教育学教室)

特別企画 1：海外への研究留学：経験者に教えてもらおう！

- 5 月 28 日 (木) 15:50~16:50 第 5 会場
座長 村松一洋 (群馬大学大学院医学系研究科小児科)
城所博之 (名古屋大学医学部附属病院小児科)
- 1) イタリア臨床留学の経験
菅原祐之 (東京医科歯科大学医学部小児科)
 - 2) メルボルンでの研究留学体験
三牧正和 (帝京大学小児科)
 - 3) もうひとつの人生、トロント留学
岡西 徹 (聖隷浜松病院小児神経科)

特別企画 2：末梢神経障害の臨床と電気生理：GBS/CIDP を中心に

- 5 月 30 日 (土) 9:00~10:00 第 2 会場
座長 熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)
末梢神経障害の臨床と電気生理：GBS/CIDP を中心に
桑原 聡 (千葉大学医学部神経内科)

特別企画 3：先天性 GPI 欠損症：てんかん・知的障害を主症状とする新しい疾患

- 5 月 30 日 (土) 7:50~8:50 第 6 会場
座長 藤井達哉 (滋賀県立小児保健医療センター)
先天性 GPI 欠損症：てんかん・知的障害を主症状とする新しい疾患
村上良子 (大阪大学微生物病研究所免疫不全疾患研究分野, 大阪大学免疫学フロンティア研究センター糖鎖免疫学)

共同研究支援委員会主催セミナー

5月29日(金) 8:20~10:00 第5会場

座長 森本昌史 (京都府立医科大学小児科)

萩野谷和裕 (宮城県拓桃医療療育センター小児科)

第一部 申請課題発表「日本小児神経学会が支援する共同研究」

- 1) 小児 Guillain-Barré 症候群, Miller-Fisher 症候群, Bickerstaff 型脳幹脳炎の診断・治療・疫学に関する包括的研究

藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

- 2) 先天性中枢性低換気症候群 (CCHS) の臨床像・発達予後についての疫学調査

緒方朋実¹, 村松一洋¹, 苛原 香³, 小沢 浩², 荒川浩一¹

(群馬大学大学院医学系研究科小児科¹, 島田療育センターはちおうじ神経小児科², 大阪大学大学院医学系研究科小児科³)

- 3) 小児期発症脊髄性筋萎縮症に対するバルプロ酸ナトリウム多施設共同医師主導治験

斎藤加代子¹, 荒川玲子¹, 齊藤利雄², 西尾久英³

(東京女子医科大学附属遺伝子医療センター¹, 国立病院機構刀根山病院², 神戸大学大学院医学研究科地域社会医学・健康科学講座疫学分野³)

第二部 エキスパートに聞く「小児重症筋無力症の治療」

- 1) 小児重症筋無力症

野村芳子 (野村芳子小児神経学コンサルティング)

- 2) 小児重症筋無力症の治療——眼筋型と全身型の病態及び治療

林 正俊 (市立宇和島病院小児科)

- 3) 小児期発症重症筋無力症の治療各論

石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)

産科医療補償制度小委員会主催セミナー：産科医療補償制度の現状と 2015 年制度改定

5月29日(金) 19:00~21:00 第1会場

座長 根津敦夫 (横浜療育医療センター神経小児科)

鈴木保宏 (大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科)

- 1) 産科医療補償制度の現状について

鈴木英明 (公益財団法人日本医療機能評価機構)

- 2) 平成 27 年 1 月制度改定後の補償対象となる脳性麻痺の基準について

岡 明 (東京大学医学部附属病院小児科)

- 3) スムーズな診断書作成への留意点—多職種連携の重要性—

御牧信義 (倉敷成人病センター小児科)

社会活動委員会主催セミナー：発達障害のある子どもの移行支援

5月29日(金) 19:00~21:00 第2会場

座長 小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科)

高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科地域保健学講座)

- 1) 移行期の支援—重症心身障害と発達障害に共通する視点

高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科地域保健学講座)

- 2) 発達障害をもつ子どもの移行支援—小児神経科医の立場より

石崎朝世 (公益社団法人発達協会王子クリニック)

- 3) 発達障害のある子どもの移行支援—児童精神科医の視点から—

田中 究 (兵庫県立光風病院精神神経科)

- 4) 発達障害のある人の就労支援

柴田珠理 (社会福祉法人横浜やまびこの里横浜日吉就労支援センター)

- 5) フリーディスカッション

- 6) 今後の課題と展望

小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科)

医療安全委員会主催セミナー：「MRI 検査時の鎮静に関する共同提言」からの発展と課題

5 月 29 日（金）19:00～21:00 第 3 会場

座長 山内秀雄（埼玉医科大学医学部小児科学）

是松聖悟（大分大学医学部小児科学）

1) MRI 検査のための鎮静に関する実態調査

三牧正和^{1,2}，山中 岳^{2,3}，是松聖悟^{2,4}，山内秀雄^{2,5}

（帝京大学小児科¹，日本小児神経学会医療安全委員会²，東京医科大学小児科³，大分大学医学部地域医療・小児科学分野⁴，埼玉医科大学小児科⁵）

2) MRI 共同提言の実現に向けて－Sedation Essence in Children Under Regulated Environment コース－

山中 岳^{1,2,3}，井上信明^{2,4}，久我修二^{2,5}，草川 功^{2,6}，阪井裕一^{2,7}，山内秀雄^{3,8}

（東京医科大学小児科¹，日本小児科学会医療安全委員会²，日本小児神経学会医療安全委員会³，東京都立小児総合医療センター⁴，慈恵会西田病院⁵，聖路加国際病院⁶，国立成育医療研究センター⁷，埼玉医科大学小児科⁸）

3) 「生理検査時の鎮静に関する指針」提案にむけての事前アンケート調査

宮本雄策¹，村松一洋²（川崎市立多摩病院小児科¹，群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野²）

4) 法曹界の立場からみた小児の鎮静でやってはいけないこと

中下裕子（コスモス法律事務所，弁護士）

東日本大震災支援委員会主催セミナー：震災後の子どもの状況とこれからの課題

5 月 29 日（金）19:00～21:00 第 5 会場

座長 田中総一郎（東北大学医学部小児科）

亀井 淳（岩手医科大学医学部小児科学講座）

1) 被災地での医療活動の経過と課題

村岡正朗（村岡外科クリニック）

2) 被災 3 県の小児医療の被災と復興

田中総一郎，呉 繁夫（東北大学医学部小児科）

3) 療育の場から見る福島県の子どもの状況

森田浩之（福島県総合療育センター小児科）

4) 福島県での発達支援の取り組みの経験

榊屋二郎¹，生島 浩¹，内山登紀夫¹，黒田美保¹，中村志寿佳¹，野村昂樹¹，辻井正次²
（福島大学子どものメンタルヘルス支援事業推進室¹，浜松医科大学²）

薬事委員会主催セミナー：小児神経疾患における活性型ビタミン B6 の意義

5 月 29 日（金）19:00～21:00 第 7 会場

座長 小国弘量（東京女子医科大学小児科）

吉永治美（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学）

1) 補酵素型ビタミン B6 製剤「アデロキザール散 7.8%」製造販売中止のお願い

佐藤壮紀（ゾンネボード製薬株式会社）

2) 小児てんかんにおけるビタミン B6 の有用性

花岡義行，吉永治美（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学）

3) ビタミン B6 反応性ホモシチン尿症～B6 大量療法の安全性

大浦敏博（仙台市立病院小児科）

4) 追加発言

小国弘量（東京女子医科大学小児科学）

実践教育セミナー 1：小児科医のための神経画像 2015

5 月 27 日（水）12:30～15:30 第 2 会場

座長 高梨潤一（東京女子医科大学八千代医療センター小児科）

大場 洋（帝京大学医学部放射線科）

1) 臨床から迫る白質変性症

高梨潤一（東京女子医科大学八千代医療センター小児科）

2) 診断に有用な画像サイン

大場 洋（帝京大学医学部放射線科）

3) 神経皮膚症候群と脳血管障害

森 壱（東京大学大学院医学系研究科生体物理医学専攻放射線医学講座）

4) 中枢神経系の発生異常の見分け方

加藤光広（山形大学医学部小児科）

5) 胎児脳の画像診断 —Neuro-sonoembryology と Neurosonology—

夫 律子（クリフム夫律子マタニティクリニック臨床胎児医学研究所）

実践教育セミナー 2：発達障害診療のコツ

5月27日（水）13:30～15:30 第3会場
 座長 友田明美（福井大学子どものこころの発達研究センター）
 発達障害診療のコツ
 杉山登志郎（浜松医科大学医学部児童青年期精神医学科）

実践教育セミナー 3：小児神経領域の先天異常症候群

5月27日（水）15:45～17:45 第2会場
 座長 岡本伸彦（大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科）
 水野誠司（愛知県心身障害者コロニー中央病院小児内科）
 1) Dysmorphology の基本的見方
 二宮伸介（倉敷中央病院遺伝診療部）
 2) 新しい先天異常症候群
 岡本伸彦（大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科）
 3) 先天異常症候群の特徴的行動
 水野誠司（愛知県心身障害者コロニー中央病院小児内科）

実践教育セミナー 4：知能検査の読み方

5月27日（水）15:45～17:45 第3会場
 座長 富和清隆（東大寺福祉療育病院）
 知能検査の読み方
 北 洋輔（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部）

実践教育セミナー 5：脳性麻痺の診断と分類

5月27日（水）15:45～17:45 第6会場
 座長 横地健治（聖隷三方原病院小児神経科）
 荒井 洋（森之宮病院小児神経科）
 1) 脳性麻痺の診断と分類
 横地健治（聖隷三方原病院小児神経科）
 2) 類型別の発達特徴
 荒井 洋（森之宮病院小児神経科）

ランチョンセミナー 1：主催 ノバルティス ファーマ株式会社

5月28日（木）11:40～12:40 第1会場
 結節性硬化症 最新治療アップデート
 座長 高橋孝雄（慶應義塾大学医学部小児科）
 1) 結節性硬化症の治療：これまでとこれから
 山内秀雄（埼玉医科大学小児科）
 2) 結節性硬化症におけるエベロリムス治療の実際
 柳原恵子（大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科）

ランチョンセミナー 2：主催 日本光電工業株式会社

5月28日（木）11:40～12:40 第2会場
 小児難治てんかんの診断と治療
 座長 大澤真木子（東京女子医科大学）
 1) 外科適応とタイミング：自験例を通じて
 本田涼子（国立病院機構長崎医療センター小児科）
 2) 外科的治療のインパクト
 奥村彰久（愛知医科大学小児科）

ランチョンセミナー 3：主催 シャイアー・ジャパン株式会社

5月28日（木）11:40～12:40 第3会場
 神経型ゴーシェ病の診断と治療戦略
 座長 酒井規夫（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻）
 1) 神経型ゴーシェ病の診断と治療
 井田博幸（東京慈恵会医科大学小児科）
 2) ゴーシェ病の神経症状とその治療戦略
 成田 綾（鳥取大学医学部脳神経小児科）

ランチョンセミナー 4：主催 エーザイ株式会社

5月28日(木) 11:40～12:40 第4会場

座長 山本 仁(聖マリアンナ医科大学小児科)

新規抗てんかん薬には血中濃度測定は必要ない? ～TDMに基づいた治療戦略のすすめ～

講演 岩崎俊之(北里大学医学部小児科)

ランチョンセミナー 5：主催 第一三共株式会社

5月28日(木) 11:40～12:40 第5会場

座長 前垣義弘(鳥取大学医学部脳神経小児科)

筋緊張亢進状態の小児に対するバクロフェン持続髄注療法の実際

松尾宗明¹, 田島大輔¹, 下川尚子², 高口素史², 井上浩平²

(佐賀大学医学部小児科¹, 佐賀大学医学部脳神経外科²)

ランチョンセミナー 6：主催 JCR ファーマ株式会社

5月28日(木) 11:40～12:40 第6会場

座長 児玉浩子(帝京平成大学健康栄養学科)

低身長症とSGA性低身長症

講演 高谷竜三(大阪医科大学小児科)

ランチョンセミナー 7：主催 ノーベルファーマ株式会社

5月28日(木) 11:40～12:40 第7会場

新生児救急医療から小児てんかん重積状態まで一治療戦略を考えるー

座長 田村正徳(埼玉医科大学総合医療センター小児科)

1) NICUにおける痛みのケアガイドライン紹介

田村正徳(埼玉医科大学総合医療センター小児科)

2) 新生児搬送と新生児仮死治療

廣間武彦(長野県立こども病院総合周産期母子医療センター新生児科)

3) 小児てんかん重積状態の治療戦略

須貝研司(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

ランチョンセミナー 8：主催 ジェンザイム・ジャパン株式会社

5月29日(金) 12:25～13:25 第1会場

臨床に役立つライソゾーム病の診断と治療

座長 竹島泰弘(兵庫医科大学小児科学教室)

酒井規夫(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

1) ゴーシェ病の最新知見ー診断と治療

濱田悠介(大阪大学大学院医学系研究科小児科学)

2) 神経筋疾患の診断と治療ー小児型ボンベ病などの症例呈示を中心にー

小牧宏文(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経診療部臨床研究推進部)

ランチョンセミナー 9：主催 ユーシービー・ジャパン株式会社／大塚製薬株式会社

5月29日(金) 12:25～13:25 第2会場

座長 新島新一(順天堂大学医学部附属練馬病院小児科)

てんかん治療の選択 薬かケトンか手術かー小児神経科医の判断ー

講演 榎 日出夫(聖隷浜松病院てんかんセンター)

ランチョンセミナー 10：主催 グラクソ・スミスクライン株式会社

5月29日(金) 12:25～13:25 第3会場

座長 小国弘量(東京女子医科大学小児科)

てんかん診療の最新動向ーてんかんネットワークと薬物治療についてー

講演 白石秀明(北海道大学病院小児科)

ランチョンセミナー 11：主催 アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン 株式会社

5月29日(金) 12:25～13:25 第4会場

座長 大野耕策(独立行政法人労働者健康福祉機構山陰労災病院)

ニーマン・ピック病C型 早期診断のポイントー主要な症状とスクリーニング検査のすすめー

講演 衛藤義勝(財団法人脳神経疾患研究所先端医療研究センター/遺伝病治療研究所, 東京慈恵会医科大学)

ランチョンセミナー 12：主催 日本イーライリリー株式会社

5 月 29 日（金）12:25～13:25 第 6 会場

座長 宮本信也（筑波大学医学医療系）

神経発達症群（NDD）の子どもたちの専門職連携を通じた包括的支援の在り方

講演 小野次朗（和歌山大学教育学部特別支援教育学教室）

ランチョンセミナー 13：主催 アルフレッサ ファーマ株式会社

5 月 29 日（金）12:25～13:25 第 7 会場

座長 大塚頌子（旭川荘療育・医療センター）

小児けいれん重積治療におけるミダゾラムの臨床と薬理

講演 皆川公夫（社会福祉法人札幌緑花会緑ヶ丘療育園小児科）

イブニングセミナー：主催 協和発酵キリン株式会社

5 月 29 日（金）19：00～20：00 第 4 会場

座長 大澤真木子（東京女子医科大学）

小児・思春期の特発性てんかんの治療

1) 特発性部分てんかんの治療

金村英秋（山梨大学医学部小児科）

2) 特発性全般性てんかんの治療

加藤竹雄（京都大学大学院医学研究科発達小児科学教室）

市民公開講座：医療的ケアを受けながら地域で生きる子どもを支えるには

5 月 30 日（土）13:00～16:00 第 6 会場

座長 船戸正久（大阪発達総合療育センター）

高田 哲（神戸大学大学院保健学研究科地域保健学講座）

Opening Remarks：どうして在宅高度医療児が増加したか？

船戸正久（大阪発達総合療育センター）

1) 地域かかりつけ医の活動と課題

春本常雄（東大阪生協病院小児科）

2) 小児訪問看護の現状と訪問看護の一事例

下釜聡子（石井記念愛染園訪問看護ステーション，大阪府訪問看護ステーション協会）

3) 学校における医療的ケアの現状と今後の課題

丹羽 登（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課）

4) 障害者医療にかかわる医療者の育成の課題

三浦清邦（名古屋大学大学院医学系研究科障害児（者）医療学寄附講座）

5) 親の立場から望むこと

竹本由子（児童発達支援放課後等デイサービスはつかぜ）

Closing Remarks：会を終えるにあたって

高田 哲（神戸大学大学院保健学研究科地域保健学講座）

プレコンgres 第 2 会場

12:30～15:30 実践教育セミナー 1 (S176)

小児科医のための神経画像 2015

座長 高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)

- 1) 臨床から迫る白質変性症
高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
- 2) 診断に有用な画像サイン
大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)
- 3) 神経皮膚症候群と脳血管障害
森 壱 (東京大学大学院医学系研究科生体物理医学専攻放射線医学講座)
- 4) 中枢神経系の発生異常の見分け方
加藤光広 (山形大学医学部小児科)
- 5) 胎児脳の画像診断 —Neuro-sonoembryology と Neurosonology—
夫 律子 (クリフム夫律子マタニティクリニック臨床胎児医学研究所)

15:45～17:45 実践教育セミナー 3 (S181)

小児神経領域の先天異常症候群

座長 岡本伸彦 (大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科)
水野誠司 (愛知県心身障害者コロニー中央病院小児内科)

- 1) Dysmorphology の基本的見方
二宮伸介 (倉敷中央病院遺伝診療部)
- 2) 新しい先天異常症候群
岡本伸彦 (大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科)
- 3) 先天異常症候群の特徴的行動
水野誠司 (愛知県心身障害者コロニー中央病院小児内科)

プレコンgres 第 3 会場

13:30～15:30 実践教育セミナー 2 (S180)

発達障害診療のコツ

座長 友田明美 (福井大学子どものこころの発達研究センター)
講演 杉山登志郎 (浜松医科大学医学部児童青年期精神医学科)

15:45～17:45 実践教育セミナー 4 (S183)

知能検査の読み方

座長 富和清隆 (東大寺福祉療育病院)
講演 北 洋輔 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部)

プレコンgres 第 6 会場

15:45～17:45 実践教育セミナー 5 (S184)

脳性麻痺の診断と分類

座長 横地健治 (聖隷三方原病院小児神経科)
荒井 洋 (森之宮病院小児神経科)

- 1) 脳性麻痺の診断と分類
横地健治 (聖隷三方原病院小児神経科)
- 2) 類型別の発達特徴
荒井 洋 (森之宮病院小児神経科)

第 1 日目 第 1 会場

- 8:40~8:45 開会式
- 8:45~9:15 会長講演 (S111)
 小児神経学の新たな展開をめざして~つながりの中で子どもを育む~
 座長 高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科地域保健学講座)
 講演 永井利三郎 (プール学院大学, 大阪大学名誉教授)
- 9:30~10:00 特別講演 1 (S114)
 小児神経学の展望と学術集団としてのリーダーシップ
 座長 大野耕策 (独立行政法人労働者健康福祉機構山陰労災病院)
 講演 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)
- 10:25~11:25 招待講演 1 (S116)
 Stand up for epilepsy, together with one voice
 座長 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)
 講演 Solomon L. Moshé
 (Saul R. Korey Department of Neurology, Dominick P. Purpura Department of Neuroscience and Department of Pediatrics Laboratory of Developmental Epilepsy, Montefiore/Einstein Epilepsy Management Center, Albert Einstein College of Medicine and Montefiore Medical Center)
- 11:40~12:40 ランチョンセミナー 1 : 共催 ノバルティス ファーマ株式会社 (S186)
 結節性硬化症 最新治療アップデート
 座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)
 1) 結節性硬化症の治療: これまでとこれから
 山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)
 2) 結節性硬化症におけるエベロリムス治療の実際
 柳原恵子 (大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科)
- 13:00~14:00 特別講演 2 (S115)
 小児神経学と成人神経学に架かる橋
 座長 川井 充 (国立病院機構東埼玉病院)
 講演 平山恵造 (千葉大学名誉教授)
- 15:50~16:50 基調講演 1 (S112)
 ロボットが支える未来社会 -ロボットによる生活支援・学習支援-
 座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学医学部小児科)
 講演 石黒 浩 (大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻知能ロボット学研究室, ATR 石黒浩特別研究所)

第 1 日目 第 2 会場

- 9:25~11:25 シンポジウム 1 (S124)
 医療的ケアを要する重症心身障害児 (者) のトランジションをどうする?
 座長 吉永治美 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学)
 鈴木保宏 (大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科)
 1) 小児慢性疾患患者の移行支援: 「移行期医療に関する提言」など小児科学会の活動の紹介
 水口 雅 (東京大学医学部発達医科学)
 2) 重症心身障害児 (者) 医療の課題としての移行期医療
 松葉佐正 (熊本大学医学部附属病院重症心身障がい学寄附講座)
 3) 医療的ケアを要する重症心身障害者の成人医療機関への移行-小児病院の立場から
 鈴木保宏 (大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科)

- 4) 重症心身障害児者のトランジションにおける多職種連携—岡山大学病院での小児看護外来の取り組み—
半田浩美¹, 吉永治美^{2,3}, 小林勝弘²
(岡山大学病院看護部¹, 岡山大学病院小児神経科², 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学小児神経科³)
- 5) 神経内科医の立場から—ALS などの重症在宅難病患者診療の現況
中村雄作 (近畿大学医学部堺病院神経内科)

11:40～12:40 ランチョンセミナー 2：共催 日本光電工業株式会社…………… (S187)
小児難治てんかんの診断と治療

座長 大澤真木子 (東京女子医科大学)

- 1) 外科適応とタイミング：自験例を通じて
本田涼子 (国立病院機構長崎医療センター小児科)
- 2) 外科的治療のインパクト
奥村彰久 (愛知医科大学小児科)

13:00～14:00 招待講演 2…………… (S117)
Evidence based interventions for children with Cerebral Palsy : what should the therapy be?

座長 萩野谷和裕 (宮城県拓桃医療療育センター小児科)

講演 Roslyn N. Boyd (Queensland Cerebral Palsy Research centre, The University of Queensland, Brisbane, Australia)

14:00～15:00 招待講演 3：共催 ユーシービージャパン株式会社／大塚製薬株式会社…………… (S118)
Precision medicine in epilepsy : how genetics informs clinical practice

座長 廣瀬伸一 (福岡大学医学部小児科)

講演 Ingrid E. Scheffer (Florey Institute of Neuroscience and Mental Health, The University of Melbourne, Departments of Medicine and Paediatrics, The University of Melbourne, Austin Health and Royal Children's Hospital, Melbourne, Australia)

15:50～16:50 一般演題 (口演)…………… (S223)
学習障害

座長 高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科地域保健学講座)
安原昭博 (安原こどもクリニック)

O-001 静岡市発達障害者支援センター相談例の LD 実態調査

○前田卿子^{1,3}, 末田慶太郎², 森岡景子², 早川幸代², 原 泉²

静岡市発達障害者支援センター¹, 静岡医療福祉センター小児神経科², 静岡済生会総合病院小児科³

O-002 バーチャルリアリティ装置を用いた視覚関連機能障害者の地誌的見当識の検討

○若宮英司¹, 奥村智人², 渡邊 洋³, 玉井 浩^{2,4}

藍野大学医療保健学部基盤教育センター¹, 大阪医科大学 LD センター², 産業技術総合研究所健康工学研究部門³, 大阪医科大学小児科⁴

O-003 読み書きに困難をもつ児童のデコーディングと読解力の検討

—包括的領域別読み能力検査 (CARD) を用いて—

○水田めぐみ¹, 奥村智人¹, 中西 誠^{1,2}, 三浦朋子^{1,3}, 栗本奈緒子¹, 竹下 盛¹, 川崎聡大⁴, 若宮英司^{1,5}, 玉井 浩^{1,6}

大阪医科大学 LD センター¹, 関西大学大学院心理学研究科², パームこどもクリニック³, 富山大学人間発達科学部⁴, 藍野大学医療保健学部基盤教育センター⁵, 大阪医科大学小児科学教室⁶

O-004 RTI により抽出された音読困難児の基底病態に関する研究

○小枝達也^{1,3}, 関あゆみ^{2,3}, 谷中久和^{2,3}, 内山仁志⁴

鳥取大学地域学部地域教育学科¹, 鳥取大学地域学部附属子どもの発達・学習研究センター², 国立病院機構鳥取医療センター³, 国際医療福祉大学保健医療学部⁴

O-005 発達性読字障害と特異的言語障害 (文法障害) を示した女児例

○柳生一自¹, 橋本竜作², 岩田みちる³, 下條暁司⁴, 室橋春光³

北海道大学大学院医学研究科児童思春期精神医学講座¹, 北海道医療大学心理学部², 北海道大学大学院教育学研究院³, 北海道大学大学院情報科学研究科⁴

O-006 母乳のダイオキシン類汚染による中学生の学業成績への影響

○宮田世羽¹, 島崎真希子¹, 中村由紀子^{1,2}, 楊 國昌¹, 岡 明^{1,3}
杏林大学医学部小児科¹, 東京通信病院², 東京大学医学部小児科³

第 1 日目 第 3 会場

9:25~10:25 一般演題 (口演) (S225)

脳炎・脳症 1

座長 吉良龍太郎 (福岡市立こども病院小児神経科)

温井めぐみ (大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科)

O-007 Clinical features and long term outcome of Japanese children with seropositivity to MOG antibodies (本邦における抗 MOG 抗体陽性小児炎症性中枢神経系疾患の臨床像と長期的予後)

○Naomi Fukuyo¹, Kazuhiro Haginoya¹, Ichiro Nakashima², Douglas Kazutoshi Sato²,
Toshiyuki Takahashi², Tatsuro Misu², Kazuo Fujihara², Mieko Hirose¹, Yosuke Kakisaka¹,
Mitsugu Uematsu¹, Tomoko Kobayashi¹, Shigeo Kure¹
The Department of Pediatrics, School of Medicine, Tohoku University, Japan¹, Department of Neurology,
Tohoku University of School of Medicine, Sendai, Japan²

O-008 視神経脊髄炎と視神経炎の治療経験

○三宅美由, 下野昌幸, 松田夢子, 福田智文, 石井雅宏, 千手絢子, 高野志保, 楠原浩一
産業医科大学小児科

O-009 血漿交換を要した myelin oligodendrocyte glycoprotein 抗体陽性の視神経脊髄炎の一例

○野村瑠花¹, 起塚 庸¹, 橋村裕也¹, 北原 光¹, 原田敦子², 山中 巧², 島川修一³, 福井美保³,
宇都宮英綱⁴, 高橋利幸⁵, 林 振作¹, 山崎麻美², 南 宏尚¹
高槻病院小児科¹, 高槻病院小児脳神経外科², 大阪医科大学小児科³, 国際医療福祉大学放射線情
報科学分野⁴, 東北大学医学部神経内科⁵

O-010 幼児期に発症した多発性硬化症の 4 例

○西山将広^{1,2}, 永瀬裕朗², 田中 司², 丸山あずさ², 豊嶋大作¹, 中川 卓¹, 森貞直哉¹, 親里嘉展³,
佐伯啓介⁴, 高田 哲⁵, 飯島一誠¹
神戸大学大学院医学研究科小児科¹, 兵庫県立こども病院脳神経内科², 加古川西市民病院小児科³,
西脇市立西脇病院小児科⁴, 神戸大学大学院保健学研究科⁵

O-011 画像病変が残存した急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) および clinical isolated syndrome (CIS) 症例における高次脳機能障害の検討

○温井めぐみ, 川脇 壽, 金 聖泰, 福岡正隆, 服部有香, 辻ひとみ, 堀野朝子, 九鬼一郎, 岡崎 伸,
岡田真子, 富和清隆
大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科

O-012 脳腫瘍との鑑別を要した中枢性炎症性脱髄性疾患の画像的検討

○服部有香¹, 川脇 壽¹, 温井めぐみ¹, 金 聖泰¹, 福岡正隆¹, 辻ひとみ¹, 堀野朝子¹, 九鬼一郎¹,
岡崎 伸¹, 富和清隆¹, 松坂康弘², 坂本博昭²
大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター脳神経セ
ンター小児脳神経外科²

10:25~11:25 一般演題 (口演) (S227)

脳炎・脳症 2

座長 高柳 勝 (仙台市立病院小児科)

山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)

O-013 初回けいれん重積後早期に集中治療管理を行ったけいれん重積型急性脳症の臨床的検討

○福岡正隆¹, 川脇 壽¹, 九鬼一郎¹, 服部有香¹, 辻ひとみ¹, 堀野朝子¹, 温井めぐみ¹, 岡崎 伸¹,
石川順一², 天羽清子², 外川正生², 林下浩士³, 富和清隆^{1,4}, 塩見正司⁵
大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 大阪市立総合医療センター小児救急科², 大阪市立総合
医療センター救命救急センター³, 東大寺福祉療育病院小児科⁴, 愛染橋病院小児科⁵

O-014 熱性けいれん重積と急性脳症の鑑別における経時的脳波周波数解析の有効性の検討

○李 守永, 酒井康成, 實藤雅文, 石崎義人, 鳥尾倫子, 鳥巢浩幸, 原 寿郎
九州大学大学院医学研究院成長発達分野

O-015 片側けいれん・片麻痺・てんかん症候群の臨床経過は基礎疾患により異なるか？

○菊池健二郎², 浜野晋一郎^{1,3}, 平田佑子^{1,2}, 熊谷勇治¹, 大場温子¹, 鈴木ことこ², 松浦隆樹²,
小一原玲子³, 田中 学³, 南谷幹之¹
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科学講座², 埼玉県立小児医療セン
ター保健発達部³

O-016 ケトン食療法が有効であった難治頻回部分発作重積型急性脳炎の 1 例

○岡井 佑, 夏目 淳, 小川千香子, 伊藤裕史, 城所博之, 石原尚子, 東 慶輝, 竹内智哉, 横井摂理,
山本啓之, 三浦清邦, 根来民子, 渡邊一功
名古屋大学医学部小児科

O-017 The case of clinico-electrical dissociation of encephalopathy

(意識障害は改善したが脳波異常が遷延した脳症の 1 例)

○Soichiro Toda¹, Jun-ichi Takanashi², Hiroshi Sakuma³
Kameda Medical Center, Pediatrics, Chiba, Japan Tokyo¹, Womens Medical University Yachiyo Medical
Center, Pediatrics, Tokyo, Japan², Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Tokyo, Japan³

O-018 MERS (可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳症) の脳波

○大府正治, 福里勇人, 比屋根真彦, 松岡剛司
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科

11:40~12:40 ランチョンセミナー 3: 共催 シャイアー・ジャパン株式会社 (S188)**神経型ゴーシェ病の診断と治療戦略**

座長 酒井規夫 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

- 1) 神経型ゴーシェ病の診断と治療
井田博幸 (東京慈恵会医科大学小児科)
- 2) ゴーシェ病の神経症状とその治療戦略
成田 綾 (鳥取大学医学部脳神経小児科)

13:50~15:00 一般演題 (口演) (S229)**脳炎・脳症 3**

座長 今高城治 (獨協医科大学医学部小児科学)

淵上達夫 (日本大学医学部小児科学系小児科学分野)

O-019 小児急性脳症の脳低温療法を施行した 8 例の後方視的検討

○颯佐かおり, 南川優輝, 阿部裕一, 山内秀雄
埼玉医科大学小児科

O-020 脳低体温療法施行中に間接熱量測定を施行した 2 症例

○渡辺好宏, 藤原 祐, 本井宏尚, 武下草生子
横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター

O-021 デキサメサゾン静脈投与が有用と考えられたヒトパレコウイルス 3 型脳炎

○金 聖泰, 川脇 壽, 九鬼一郎, 福岡正隆, 服部有香, 辻ひとみ, 堀野朝子, 温井めぐみ, 岡崎 伸
大阪市立総合医療センター小児神経内科

O-022 急性脳症を反復した Sotos 症候群の 2 症例

○桑島真理, 長嶋雅子, 中野祐子, 門田行史, 小坂 仁, 山形崇倫
自治医科大学小児科

O-023 ロタウイルス脳症の 11 例

○大場千鶴¹, 柏木 充¹, 田邊卓也², 吉川聡介³, 宮本良平⁴, 福井美保⁵, 島川修一⁵, 東川幸嗣⁶,
若宮英司⁷, 玉井 浩⁵
市立ひらかた病院小児科¹, 田辺こどもクリニック小児神経内科², 大阪労災病院小児科³, 茨城済
生会病院小児科⁴, 大阪医科大学小児科⁵, 清恵会病院小児科⁶, 藍野大学医療保健学部看護学科⁷

O-024 両側大脳基底核を病変の主座とする急性脳症の 3 例

○堀いくみ¹, 伊藤裕史², 根岸 豊¹, 服部文子¹, 辻 健史³, 安藤直樹¹, 久保田哲夫⁴, 佐久間啓⁵,
奥村彰久⁶, 夏目 淳², 齋藤伸治¹
名古屋市立大学大学院医学研究科小児科¹, 名古屋大学医学部小児科², 岡崎市民病院小児科³, 安
城更生病院小児科⁴, 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生⁵, 愛知医科大学医学部小児科⁶

O-025 複視を主訴に発症した急性小脳炎の 1 例

○小杉陽祐, 高山留美子, 渡邊年秀
北海道立子ども総合医療・療育センター神経内科

15:00~15:50 一般演題 (口演) (S231)

感染・免疫

座長 瀬戸俊之 (大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学)
細矢光亮 (福島県立医科大学小児科)

O-026 ヒトパピローマウイルスワクチン接種後に中枢神経症状が出現した 4 症例の臨床経過についての検討

○高山留美子¹, 渡邊年秀¹, 高橋幸利²北海道立子ども総合医療・療育センター¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター²

O-027 重症心身障害児・者に対するインフルエンザワクチンの接種回数と抗体価の推移

○市山高志, 石川尚子, 松藤博紀, 伊住浩史, 杉尾嘉嗣

鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科

O-028 亜急性硬化性全脳炎におけるキヌレニン経路活性化の検討

○松重武志¹, 井上裕文¹, 梶本まどか¹, 岡 桃子¹, 長谷川俊史¹, 大森啓充², 奥野海良人³,滝川 修³, 大賀正一¹山口大学大学院医学系研究科小児科¹, 国立病院機構柳井医療センター小児科², 国立長寿医療研究センター³

O-029 緩徐な臨床経過を示しリネゾリドが奏効したリステリア髄膜炎の 1 例

○近藤英輔, 赤池洋人, 加藤 敦, 河野美奈

川崎医科大学小児科

O-030 福島県下過去 28 年間に於ける小児細菌性髄膜炎 227 例の経時的発症動向と予後不良例の解析

○川崎幸彦, 鈴木雄一, 加藤朝子, 塚田洋樹, 細矢光亮

公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科

15:50~16:50 一般演題 (口演) (S233)

不随意運動, 基底核

座長 久保田雅也 (独立行政法人国立成育医療研究センター)
新宅治夫 (大阪市立大学大学院医学研究科)

O-031 PRRT2 遺伝子検査が診断に有用であった ICCA 症候群の一例

○蔵田洋文¹, 右田昌宏¹, 石井敦士², 廣瀬伸一²熊本赤十字病院小児科¹, 福岡大学小児科²

O-032 生下時より呼吸不全, 甲状腺機能低下症を認め, 次第に舞蹈運動が出現した良性遺伝性舞蹈病の女児例

○戸澤雄紀¹, 河野 智², 小西高志², 山本俊至³綾部市立病院小児科¹, 浜松医科大学第一内科², 東京女子医科大学統合医科学研究所³

O-033 毛細血管拡張性運動失調症にみられるミオクロヌス様不随意運動の検討

○内野俊平¹, 熊田聡子¹, 長谷川節子², 細川卓利³, 中山東城⁴, 植松 貢⁴, 富士根明雄⁵, 小西行彦⁶,佐藤敦志¹, 白井育子¹, 八谷靖夫¹, 栗原栄二¹東京都立神経病院神経小児科¹, 東京医科歯科大学発生発達病態学², 細木病院小児科³, 東北大学病院小児科⁴, 福井県こども療育センター小児科⁵, 香川大学小児科⁶

O-034 両側淡蒼球内節刺激療法が有効であった頭部外傷後顔面口部ジストニアの 1 例

○白井育子^{1,2}, 熊田聡子¹, 吉橋 学¹, 内野俊平¹, 佐藤敦志¹, 八谷靖夫², 栗原栄二¹, 谷口 真³,横地房子⁴東京都立神経病院神経小児科¹, 神奈川県リハビリテーション病院小児科², 東京都立神経病院脳神経外科³, 東京都立神経病院脳神経内科⁴

O-035 運動関連皮質電位検査中にジスキネジアを起こした PKD2 例の病態について

○久保田雅也, 寺島 宙, 葛西真梨子, 渡邊 優, 安西真衣, 竹中 暁, 熊谷淳之

国立成育医療研究センター神経内科

O-036 異常眼球運動を認めた発作性非運動誘発性ジスキネジアの 1 例

○米衛ちひろ¹, 松藤まゆみ¹, 佐野のぞみ¹, 馬場悠生², 水流尚志², 井之上寿美², 丸山慎介³,四俣一幸², 高橋 悟⁴独立行政法人国立病院機構南九州病院小児科¹, 鹿児島市立病院小児科², 鹿児島大学小児科³, 旭川医科大学小児科⁴

第 1 日目 第 4 会場

9:25~10:25 一般演題 (English Session) (S205)

English Session 1

座長 小篠史郎 (熊本大学医学部小児科)
西村 陽 (京都府立医科大学小児科)

- E-001 CDKL5 controls glutamate receptor function and regulates memory, emotion and seizure susceptibility**
○Teruyuki Tanaka, Masashi Mizuguchi
Department of Developmental Medical Sciences, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan
- E-002 Relationship between maternal DHA levels and anxiety-like behavior in a gene/stress mouse model**
○Fumihiko Matsui
Center for Translational Neuroscience, University of Missouri, Columbia, Missouri, USA
- E-003 Hippocampal network formation in a mouse model of autism spectrum disorders**
○Ryuta Koyama, Kazuki Shibata, Kohei Morishita, Yuji Ikegaya
Laboratory of Chemical Pharmacology, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, The University of Tokyo, Japan
- E-004 Restoration of glycosylated alpha-DG in FKRP mutant mice is associated with muscle regeneration**
○Hiroyuki Awano¹, Anthony Blaesus², Elizabeth Keramaris², Bo Wu², Pei Lu², Qi Lu², Kazumoto Iijima¹
Department of Pediatrics, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan¹, McColl-Lockwood Laboratory for Muscular Dystrophy Research, Cannon Research Center, Carolinas Medical Center, Charlotte, USA²
- E-005 TUBA1A mutation can cause hydranencephaly, the most severe form of lissencephaly**
○Setsuri Yokoi^{1,2}, Naoko Ishihara^{1,3}, Jun Natsume¹, Hiroyuki Yamamoto¹, Makiko Tsutsumi², Itaru Yanagihara⁴, Fuyuki Miya⁵, Mitsuhiro Kato⁶, Tatsuhiko Tsunoda⁵, Kenjiro Kosaki⁷, Yonehiro Kanemura⁸, Shinji Saitoh⁹, Hiroki Kurahashi²
Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan¹, Division of Molecular Genetics, Institute for Comprehensive Medical Science, Fujita Health University, Toyoake, Japan², Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan³, Department of Developmental Medicine, Research Institute, Osaka Medical Center for Maternal and Child Health, Izumi, Japan⁴, Laboratory for Medical Science Mathematics, RIKEN Center for Integrative Medical Sciences, Yokohama, Japan⁵, Department of Pediatrics, Yamagata University Faculty of Medicine, Yamagata, Japan⁶, Center for Medical Genetics, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan⁷, Division of Regenerative Medicine, Institute for Clinical Research, Osaka National Hospital, National Hospital Organization, Osaka, Japan⁸, Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan⁹
- E-006 Local impermeant anions determine the neuronal chloride concentration.**
○Kiyoshi Egawa¹, Glykys Joseph², Hideaki Shiraishi¹, Kevin Staley²
Department of Pediatrics, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan¹, Department of Neurology, Massachusetts General Hospital, Boston, U.S.A.²

10:25~11:25 一般演題 (口演) (S235)

脳外科・血管障害

座長 竹本 理 (大阪府立母子保健総合医療センター脳神経外科)
貴島晴彦 (大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学)

- O-037 舟状頭の形態を呈さない矢状縫合早期癒合症**
○下地一彰¹, 秋山 理¹, 木村孝興², 下地武義³, 宮嶋雅一¹, 新井 一¹
順天堂大学医学部脳神経外科¹, 順天堂大学静岡病院脳神経外科², 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター脳神経外科³

O-038 乳児期早期に髄液短絡術を施行した裂脳症の 2 例

○宮城佳史¹, 宮本 健², 黒田喜代子², 中山禎二³, 石垣英俊¹, 朝比奈美輝¹, 松林朋子¹, 福田冬季子¹

浜松医科大学小児科¹, 浜松医療センター小児科², 浜松医療センター脳神経外科³

O-039 Abusive Head Trauma 12 例の臨床像と発達予後

○田島大輔, 松尾宗明

佐賀大学医学部小児科

O-040 反復性の静脈還流障害を起こした静脈性血管腫の 2 歳男児例

○井上裕文¹, 岡 桃子¹, 梶本まどか¹, 松重武志¹, 長谷川俊史¹, 野瀬善夫², 門屋 亮², 大賀正一¹

山口大学医学部小児科¹, 総合病院山口赤十字病院小児科²

O-041 脳波検査過呼吸負荷でも膜下出血をきたした可逆性脳血管攣縮症候群の 9 歳女児例

○坂口友理¹, 武内俊樹^{1,2}, 安蔵 慎³, 高橋孝雄¹

慶應義塾大学医学部小児科¹, 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター², 川崎市立川崎病院³

O-042 小児もやもや病患児における MRI 画像と認知発達検査結果の比較検討—心理検査の役割とは—

○小松華奈, 藍原康雄, 山口浩司, 岡田芳和

東京女子医科大学脳神経外科

11:40~12:40 ランチョンセミナー 4: 共催 エーザイ株式会社 (S189)

新規抗てんかん薬には血中濃度測定は必要ない? ~TDM に基づいた治療戦略のすすめ~

座長 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)

講演 岩崎俊之 (北里大学医学部小児科)

13:50~14:40 一般演題 (口演) (S237)

先天代謝異常 1

座長 田中あけみ (大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学)

福田冬季子 (浜松医科大学小児科)

O-043 胎児期より小頭を呈し, 出生後に大脳萎縮が進行した ASNS 遺伝子変異を認める先天性小頭症の一例

○遠藤若葉¹, 乾 健彦¹, 大久保幸宗¹, 小林朋子², 才津浩智³, 松本直通³, 萩野谷和裕^{1,2}

宮城県拓桃医療療育センター¹, 東北大学医学部小児科², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³

O-044 末梢神経障害を呈したニーマンピック病 C 型の 2 例

○溝部吉高, 露崎 悠, 新保裕子, 渡邊肇子, 佐藤睦美, 安西里恵, 市川和志, 井合瑞江, 山下純正, 後藤知英

神奈川県立こども医療センター神経内科

O-045 本邦の Pompe 病患者における骨格筋画像の特徴

○石垣景子¹, 小林博司^{2,3}, 杉江秀夫⁴, 福田冬季子⁵, 成田 綾⁶, 衛藤 薫¹, 永田 智¹,

大澤真木子¹, 衛藤義勝^{2,3,7}, 埜中征哉⁸

東京女子医科大学医学部小児科¹, 東京慈恵会医科大学医学部小児科², 東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター遺伝子治療研究部³, 常葉大学保健医療学部作業療法学科⁴, 浜松医科大学小児科⁵, 鳥取大学脳神経小児科⁶, 脳神経疾患研究所附属先端医療研究センター遺伝病治療研究所⁷, 国立精神神経医療研究センター神経研究所⁸

O-046 ムコ多糖症 II 型重症型の IDS 遺伝子変異による病型分類と脳に対する治療効果

○田中あけみ¹, 濱崎考史¹, 奥山虎之², 酒井規夫³, 新寶理子³, 澤田 智⁴, 鈴木康之⁵, 麦島秀雄⁶

大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学¹, 国立成育医療研究センター臨床検査部², 大阪大学大学院医学系研究科小児科学³, 和泉市立病院小児科⁴, 岐阜大学医学教育開発センター⁵, 日本大学医学部小児科⁶

O-047 AADC 欠損症の一例

○久保田哲夫¹, 鈴木健史¹, 深沢達也¹, 根来民子^{1,2}, 鈴木基正³, 加藤光広⁴

安城更生病院小児科¹, 日本福祉大学子ども発達学部心理臨床学科², あいち小児保健医療総合センター神経科³, 山形大学医学部小児科⁴

14:40~15:30 一般演題 (口演) (S238)

先天代謝異常 2

座長 呉 繁夫 (東北大学大学院小児科)

松尾宗明 (佐賀大学医学部小児科)

O-048 再生不良性貧血が疑われた肝神経型 Wilson 病の一例

○星野廣樹, 清水教一, 中澤祥子, 三嶋典子, 関根孝司, 青木継稔

東邦大学医療センター大橋病院小児科

O-049 MC-Bank 患者登録からみた神経症状を呈する Wilson 病症例の現状に関する検討

○清水教一¹, 小川絢子¹, 三嶋典子¹, 小西弘恵¹, 徐じゅひょん², 奥山虎之², 青木継稔¹

東邦大学医療センター大橋病院小児科¹, (独) 国立成育医療研究センター臨床検査部²

O-050 ファブリー病に対する両新媒性新規シャペロン化合物の開発

○難波栄二^{1,2,3}, 檜垣克美¹, 足立香織¹

鳥取大学生命機能研究支援センター¹, 鳥取大学医学部附属病院遺伝子診療科², 鳥取大学医学部附属病院次世代高度医療推進センター³

O-051 GDF-15 と FGF-21 はミトコンドリア病の重症度と関連する

○ハツ賀秀一¹, 角間辰之², 古賀靖敏¹

久留米大学医学部小児科¹, 久留米大学バイオ統計センター²

O-052 GDF-15: 最も信頼できるミトコンドリア病のバイオマーカー

○ハツ賀秀一¹, 石井亜紀子², 角間辰之³, 古賀靖敏¹

久留米大学医学部小児科¹, 筑波大学医学部神経内科², 久留米大学バイオ統計センター³

15:50~16:40 一般演題 (English Session) (S207)

English Session 2

座長 栗屋智就 (京都大学医学部附属病院小児科)

村上良子 (大阪大学微生物病研究所免疫不全疾患研究分野)

E-007 Whole-exome sequencing in autosomal recessive microcephaly

○Ganeshwaran Hitoshi Mochida^{1,2}, Tojo Nakayama¹, Malak El-Quessny¹, R. Sean Hill^{1,3}, Anna Rajab⁴, Samir Khalil⁵, Klaus Schmitz-Abe¹, Kyriacos Markianos¹, Almundher Al-Maawali¹, Jennifer Partlow^{1,3}, Brenda Barry^{1,3}, Muna Al-Saffar^{1,3}, Christopher Walsh^{1,3}

Division of Genetics and Genomics, Manton Center for Orphan Disease Research, Boston Children's Hospital, Boston, MA, USA¹, Pediatric Neurology Unit, Massachusetts General Hospital, Boston, MA, USA², Howard Hughes Medical Institute, Boston Children's Hospital, Boston, MA, USA³, National Genetic Center, Ministry of Health, Sultanate of Oman, Oman⁴, Al-Makassed Islamic Charitable Society Hospital, Jerusalem⁵

E-008 Genetic analysis of West syndrome with involuntary movements: a single center study

○Yu Kobayashi¹, Noriyuki Akasaka¹, Shinichi Magara¹, Hideshi Kawashima¹, Hideaki Shiraishi², Kazuyuki Nakamura³, Mitsuhiro Kato³, Jun Tohyama¹, Hirotomo Saito⁴, Naomichi Matsumoto⁴

Department of Child Neurology, Nishi-Niigata Chuo National Hospital, Niigata, Japan¹, Department of Pediatrics, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan², Department of Pediatrics, Yamagata University Faculty of Medicine, Yamagata, Japan³, Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan⁴

E-009 Truncating mutation in NFIA causes brain malformation and urinary tract defects

○Yutaka Negishi¹, Ayako Hattori¹, Ikumi Hori¹, Naoki Ando¹, Fuyuki Miya², Tatsuhiko Tsunoda², Nobuhiko Okamoto³, Mitsuhiro Kato⁴, Mami Yamasaki⁵, Yonehiro Kanemura^{6,7}, Kenjiro Kosaki⁸, Shinji Saitoh¹

Department of Pediatrics and Neonatology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan¹, Laboratory for Medical Science Mathematics, RIKEN Center for Integrative Medical Sciences, Yokohama, Japan², Department of Medical Genetics, Osaka Medical Center and Research Institute for Maternal and Child Health, Osaka, Japan³, Department of Pediatrics, Yamagata University Faculty of Medicine, Yamagata, Japan⁴, Department of Neurosurgery, Takatsuki General Hospital, Osaka, Japan⁵, Division of Regenerative Medicine, Institute for Clinical Research, Osaka National Hospital, National Hospital Organization, Osaka, Japan⁶, Department of Neurosurgery, Osaka National Hospital, National Hospital Organization, Osaka, Japan⁷, Center for Medical Genetics, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan⁸

E-010 Establishment and application of stem cell model of spinal muscular atrophy

○Michinori Funato^{1,2}, Kazuki Ohuchi^{1,3}, Zenichiro Kato^{4,5}, Tsubasa Kameyama^{1,3}, Shiori Ando^{1,3}, Masamitsu Shimazawa³, Hideaki Hara³, Kanako Maruta², Yuko Shimokawa², Hideyuki Morita², Kumiko Miyazaki², Koji Tatebayashi², Mitsuru Yano⁵, Yasushi Uchida², Hideo Kaneko^{1,2}

Department of Clinical Research, National Hospital Organization, Nagara Medical Center, Gifu, Japan¹, Department of Pediatrics, National Hospital Organization, Nagara Medical Center, Gifu, Japan², Molecular Pharmacology, Department of Biofunctional Evaluation, Gifu Pharmaceutical University, Gifu, Japan³, Division of Structural Medicine, The United Graduate School of Drug Discovery and Medical Information Sciences, Gifu University, Gifu, Japan⁴, Department of Pediatric Neurology, National Hospital Organization, Nagara Medical Center, Gifu, Japan⁵

E-011 Thyrotropine releasing hormone therapy on SMA : iPS cell evaluation and 3D-motion-capture

○Zenichiro Kato^{1,2}, Naoki Matsumaru³, Ryo Hattori⁴, Norohito Shimizu⁴, Yasutaka Shii⁴, Hidenori Ohnishi², Takeshi Kimura², Norio Kawamoto², Toshiyuki Fukao², Takaaki Aoki⁴, Kei Miyamoto⁵, Haruhiko Akiyama⁵, Kazuki Ohuchi⁵, Hideaki Hara⁶, Michinori Funato⁷

The United Graduate School of Drug Discovery and Medical Information Sciences, Gifu University, ¹, Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Gifu University, Gifu, Japan², Innovative Clinical and Clinical Research Promotion Center, Gifu University Hospital, Gifu, Japan³, Department of Rehabilitation, Gifu University Hospital, Gifu, Japan⁴, Department of Orthopedic Surgery, Graduate School of Medicine, Gifu University, Gifu, Japan⁵, Molecular Pharmacology, Department of Biofunctional Evaluation, Gifu Pharmaceutical University, Gifu, Japan⁶, Department of Clinical Research, National Hospital Organization, Nagara Medical Center, Gifu, Japan⁷

第 1 日目 第 5 会場

9:25~10:25 一般演題 (口演) (S240)

脳性麻痺・療育 1

座長 下泉秀夫 (国際医療福祉リハビリテーションセンター)

江添隆範 (東京都立東大和療育センター)

O-053 骨粗鬆症の重症心身障害者に対する静注用アレンドロネートの効果—第 2 報 治療開始 2 年後の効果—

○加賀佳美^{1,2}, 石井佐綾香¹, 神谷裕子¹, 中村幸介¹, 金村英秋², 杉田完爾², 相原正男³

国立病院機構甲府病院小児科¹, 山梨大学医学部小児科², 山梨大学大学院医学工学総合研究部³

O-054 重度脳性麻痺児における脛骨長の伸びに影響を与える因子についての検討

○木原健二^{1,2}, 河崎洋子³, 八木麻理子³, 西村美緒³, 松本葉子³, 高田 哲¹

神戸大学大学院保健学研究科地域保健学領域¹, にこにこハウス医療福祉センターリハビリテーション科², にこにこハウス医療福祉センター小児科³

O-055 重症心身障害児の慢性誤嚥に対する血清 KL-6 値の有用性についての研究

○若本裕之, 菊池知耶, 鈴木由香, 森本武彦

愛媛県立子ども療育センター小児神経科

O-056 当院における過去 7 年間の在宅移行入院の検討

○澤田貴彰, 島津智之, 上野弘恵, 西里ちづる

独立行政法人国立病院機構熊本再春荘病院

O-057 重症心身障害児における短期入所実態調査

○後藤一也¹, 宮野前健²

国立病院機構西別府病院小児科¹, 国立病院機構南京都病院小児科²

O-058 重症心身障害児者の救急・終末期医療の現状に関する医師の意識調査

○雨宮 馨^{1,2}, 木村直子³, 深津 修⁴

島田療育センターはちおうじ神経小児科¹, さいわいこどもクリニック², 生涯医療クリニックさっぽろ³, 都立府中療育センター⁴

10:25~11:25 一般演題 (口演) (S242)

脳性麻痺・療育 2

座長 沢石由記夫 (秋田県立医療療育センター)
奈良隆寛 (宮城県立こども病院リハビリテーション科)

O-059 沖縄県における片側性痙直型脳性麻痺児の検討

○當山真弓¹, 當山 潤², 金城陽子¹沖縄中部療育医療センター (旧沖縄小児発達センター) 小児科¹, 沖縄南部療育医療センター²

O-060 脳室周囲白質軟化症による脳性麻痺児の日常移動機能に関する後方視的検討

○北井征宏, 平井聡里, 大村馨代, 小倉加恵子, 荒井 洋

森之宮病院小児神経科

O-061 脳室周囲白質軟化症を認める脳性麻痺児の運動発達予後について

○小寺澤敬子, 岡田由香, 宮田広善

姫路市総合福祉通園センター

O-062 超低出生体重児の発達に小脳萎縮はどのように影響するのか

○平井聡里, 荒井 洋, 北井征宏, 大村馨代, 小倉加恵子

森ノ宮病院小児神経科

O-063 先天性サイトメガロウイルス感染症の運動機能と頭部画像所見に関する後方視的検討

○大村馨代, 北井征宏, 小倉加恵子, 平井聡里, 荒井 洋

森之宮病院小児神経科

O-064 重症身心障がい者施設での側弯症合併の現状と対策

○松本葉子^{1,2}, 八木真理子^{1,2}, 西村美緒^{1,2}, 河崎洋子^{1,2}にこにこハウス医療福祉センター¹, 神戸大学医学部小児科²

11:40~12:40 ランチョンセミナー 5: 共催 第一三共株式会社 (S189)

筋緊張亢進状態の小児に対するバクロフェン持続髄注療法の実際

座長 前垣義弘 (鳥取大学医学部脳神経小児科)

松尾宗明¹, 田島大輔¹, 下川尚子², 高口素史², 井上浩平²(佐賀大学医学部小児科¹, 佐賀大学医学部脳神経外科²)

13:50~14:50 一般演題 (口演) (S244)

筋 1

座長 石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)
富永康仁 (大阪大学大学院連合小児発達学研究科/小児科)

O-065 福山型先天性筋ジストロフィーにおける血清中 miRNA の発現解析

○池田真理子^{1,2}, 小林千浩², 李 知子³, 竹島泰弘³, 飯島一誠¹, 戸田達史²神戸大学医学部小児科¹, 神戸大学医学部神経内科学/分子脳科学², 兵庫医科大学医学部小児科³

O-066 福山型先天性筋ジストロフィー患者における生体電気インピーダンス法による発達・成長の評価

○村上てるみ¹, 内山朋香², 中山貴博³, 石黒久美子¹, 佐藤孝俊¹, 久留 聡⁴, 石垣景子¹東京女子医科大学小児科¹, 株式会社タニタ体重科学研究所², 横浜労災病院神経内科³, 国立病院機構鈴鹿病院神経内科⁴

O-067 粗大運動評価尺度 (GMFM) は福山型先天性筋ジストロフィーの運動機能評価に妥当である

○佐藤孝俊¹, 石垣景子¹, 安達みちる², 圖師将也², 秋月三奈², 後藤圭介², 石黒久美子¹, 七字美延¹村上てるみ¹, 斎藤加代子^{1,3}, 大澤真木子¹, 猪飼哲夫², 近藤和泉⁴, 永田 智¹東京女子医科大学医学部小児科¹, 東京女子医科大学リハビリテーション科², 東京女子医科大学遺伝子医療センター³, 独立行政法人国立長寿医療研究センター機能回復診療部⁴

O-068 福山型先天性筋ジストロフィー患者の運動機能に関する自然歴の後方視的研究

○石黒久美子¹, 佐藤孝俊¹, 村上てるみ¹, 斎藤加代子², 大澤真木子¹, 永田 智¹, 石垣景子¹東京女子医科大学医学部小児科¹, 東京女子医科大学遺伝子医療センター²

O-069 歩行可能な福山型先天性筋ジストロフィーに対する経口ステロイド治療の効果

○豊野美幸¹, 沢石由記夫¹, 矢野珠巨², 久保田弘樹², 石垣景子³秋田県立医療療育センター小児科¹, 秋田大学大学院医学系研究科機能展開医学系小児科学講座²,東京女子医科大学医学部小児科³

O-070 先天性筋強直性ジストロフィーの周産期合併症

○七字美延¹, 石垣景子¹, 石黒久美子¹, 佐藤孝俊¹, 武藤順子², 村上てるみ¹, 大澤真木子¹, 永田 智¹
東京女子医科大学病院小児科¹, 東京女子医科大学八千代医療センター小児科²

14:50~15:50 一般演題 (口演) (S246)
筋 2

座長 斎藤加代子 (東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)
西尾久英 (神戸大学大学院医学研究科地域社会医学・健康科学講座)

O-071 COL6A2 遺伝子の複合ヘテロ変異によるミオパチーの一例

○服部文子¹, 家田大輔¹, 堀いくみ¹, 根岸 豊¹, 加藤沙耶香¹, 安藤直樹¹, 米川貴博², 西野一三², 齋藤伸治¹
名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部²

O-072 VI 型コラーゲン関連ミオパチーの臨床的多様性

○家田大輔¹, 服部文子¹, 堀いくみ¹, 根岸 豊¹, 加藤沙耶香¹, 安藤直樹¹, 米川貴博², 西野一三², 齋藤伸治¹
名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野¹, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部²

O-073 脊髄性筋萎縮症における下肢骨格筋画像の筋選択性の特徴

○井上道雄¹, 石山昭彦¹, 小牧宏文¹, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 齋藤貴志¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 南 成祐², 後藤雄一³, 佐々木征行¹
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター臨床検査部², 国立精神・神経医療研究センター疾病研究第 2 部³

O-074 鹿児島県における脊髄性筋萎縮症 (SMA) 1 型の現状

○渡邊健二¹, 馬場悠生¹, 水流尚志¹, 井上寿美¹, 米衛ちひろ², 丸山慎介³, 松藤まゆみ², 四俣一幸¹, 佐野のぞみ³, 田中主美⁴
鹿児島市立病院小児科¹, 国立病院機構南九州病院小児科², 鹿児島大学医学部小児科³, 済生会川内病院小児科⁴

O-075 神経筋疾患患者の急性呼吸不全に対する陽・陰圧体外式人工呼吸器の有用性

○吉川陽子¹, 伊藤 康¹, 中務英嗣¹, 西川愛子¹, 島田姿野¹, 岸 崇之¹, 塩田睦記¹, 竹下暁子¹, 唐木克二¹, 石垣景子¹, 平澤恭子¹, 村谷信太郎², 小谷 透², 永田 智¹
東京女子医科大学小児科¹, 東京女子医科大学麻酔科中央集中治療部²

O-076 嚥下, 構音障害を合併した皮膚筋炎の 1 例

○野村武雅, 吉村 歩, 木部哲也, 横地健二
聖隷三方原病院

15:50~16:50 特別企画 1 (S158)

海外への研究留学：経験者に教えてもらおう！

座長 村松一洋 (群馬大学大学院医学系研究科小児科)
城所博之 (名古屋大学医学部附属病院小児科)

- 1) イタリア臨床留学の経験
菅原祐之 (東京医科歯科大学医学部小児科)
- 2) メルボルンでの研究留学体験
三牧正和 (帝京大学小児科)
- 3) もうひとつの人生, トロント留学
岡西 徹 (聖隷浜松病院小児神経科)

第 1 日目 第 6 会場

9:25~10:25 一般演題 (口演) (S248)

てんかん 1

座長 廣瀬伸一 (福岡大学医学部小児科)

倉橋宏和 (愛知医科大学小児科)

O-077 K チャネル変異を有する先天性 QT 延長症候群に認めたてんかん発作: チャネレブシーの 1 例

○内山伸一, 関口和人, 岡成和夫, 前田知己, 是松聖悟

大分大学医学部小児科

O-078 KCNT1 遺伝子の新生変異が同定された early onset epileptic encephalopathy (EOEE) の 1 男児例

○藤井裕士¹, 小林良行¹, 石川暢恒¹, 加藤光広², 中島光子³, 松本直通³広島大学病院小児科¹, 山形大学小児科², 横浜市立大学遺伝学講座³

O-079 SCN1A 遺伝子に truncating mutation を認めるにも関わらず, Dravet 症候群の臨床経過としては軽症であった 2 症例

○高折 徹¹, 中井理恵¹, 熊倉 啓¹, 石井敦士², 廣瀬伸一²公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院小児科¹, 福岡大学病院小児科²

O-080 当院における MLPA にて SCN1A 遺伝子領域での微細欠失が判明した症例の検討

○那須裕郷¹, 池田浩子¹, 石井敦士², 大星大観¹, 東本和紀¹, 吉富晋作¹, 渡邊陽和¹, 山口解冬¹, 大谷英之¹, 廣瀬伸一², 今井克美¹, 重松秀夫¹, 高橋幸利¹, 井上有史¹国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター¹, 福岡大学医学部小児科²

O-081 EEF1A2 変異を認めたてんかん性脳症の 2 例

○乾 健彦¹, 小林 悟², 佐藤 亮^{1,3}, 遠藤若葉¹, 大久保幸宗¹, 芦刈友加², 大場 洋⁴, 才津浩智⁵, 松本直通⁵, 萩野谷和裕¹拓桃医療療育センター小児科¹, 名古屋市立西部医療センター小児科², 東北大学医学部小児科³,帝京大学医学部放射線科⁴, 横浜市立大学大学院医学部遺伝学⁵

O-082 SCN8A 遺伝子異常を認めた悪性遊走性部分発作てんかんを有する男児

○小笠原真志¹, 渡邊年秀¹, 高山留美子¹, 才津浩智², 松本直通²北海道立子ども総合医療・療育センター小児科¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学²

10:25~11:25 一般演題 (口演) (S250)

発達障害 1

座長 石崎朝世 (公益社団法人発達協会王子クリニック)

瀬島 斉 (松江赤十字病院小児科)

O-083 自閉症スペクトラムにおける機能性構音障害について

○福田邦明¹, 藤井笑子², 橋本俊顕³麻田総合病院神経小児科¹, 高松赤十字病院小児科², 徳島赤十字ひのみね総合療育センター小児科³

O-084 TIMELESS mutation in a patient with autism spectrum disorder (ASD) and circadian rhythm disorder (自閉症スペクトラム障害と概日リズム異常を示した TIMELESS の変異例)

○Ayumi Matsumoto¹, Yutaka Inaguma³, Yuko Nakano¹, Zhi-Liang Yang¹, Kazuhiro Nakayama²,Saori Sakamoto¹, F.Eriko Jimbo¹, Sadahiko Iwamoto², Koh-Ichi Nagata³, Takanori Yamagata¹Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Tochigi, Japan¹, Division of Human Genetics, Center forMolecular Medicine, Jichi Medical University², Department of Molecular Neurobiology, Institute forDevelopmental Research, Aichi Human Service Center, Kasugai, Japan³

O-085 発達障害を心配して来院した児のもつ行動特徴とその診断: checklist for autism spectrum disorder (CASD) による評価

○平澤恭子, 竹下暁子, 吉川陽子, 松丸重人, 永田 智

東京女子医科大学医学部小児科

O-086 ASD 当事者と分析する ASD の強迫症状の検討

○古荘純一¹, 磯崎祐介², 松永寿人³青山学院大学教育人間科学部教育学科¹, 青山学院大学大学院教育人間科学研究科², 兵庫医科大学精神科神経科³

O-087 自閉症スペクトラム障害児における知的能力の経時的変化

○絹笠英世¹, 篠崎聖子², 米津圭佑², 中山絵美子²
筑波学園病院小児科¹, 筑波学園病院リハビリテーション科²

O-088 心の理論課題解決場面における言語機能の担う役割—言語機能は補完的役割にとどまるのか?—

○川崎聡大¹, 荻布優子², 中西 誠^{3,4}, 奥村智人⁴, 若宮英司^{4,5}
富山大学人間発達科学部¹, 横浜市西部地域療育センター², 関西大学大学院心理学研究科³, 大阪医科大学 LD センター⁴, 藍野大学医療保健学部⁵

11:40~12:40 ランチョンセミナー 6: 共催 JCR ファーマ株式会社 (S190)

低身長症と SGA 性低身長症

座長 児玉浩子 (帝京平成大学健康栄養学科)
講演 高谷竜三 (大阪医科大学小児科)

13:50~14:40 一般演題 (口演) (S252)

発達障害 2

座長 家島 厚 (茨城福祉医療センター)
若宮英司 (藍野大学医療保健学部)

O-089 思春期男児を対象とした携帯ゲームを用いた集団精神療法について

○岩垂喜貴, 渡部京太
独立行政法人国立国際医療研究センター国府台病院

O-090 Evaluation of Social Interaction (ESI) による発達障害児への治療効果の客観的評価

○林 優子^{1,2}, 吉川ひろみ²
県立広島大学保健福祉学部附属診療センター小児科¹, 県立広島大学保健福祉学部作業療法学科²

O-091 ASD を伴った ADHD 親子に対する ADHD 治療の臨床効果

○鈴木直光
筑波こどものこころクリニック

O-092 大学病院小児科外来における ADHD 児への音楽療法の試み

○市田幸子², 芝恵美子¹, 新島新一¹
順天堂大学医学部附属練馬病院小児科¹, 順天堂大学医学部附属順天堂医院²

O-093 療育センター小児科における学齢期の発達障害診療

○今枝正行^{1,2}, 宮地泰士², 浅井朋子², 水野賀史², 大橋 圭², 舟橋吉美¹, 齋藤伸治²
名古屋市北部地域療育センター小児科¹, 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児小児医学分野²

14:40~15:40 一般演題 (口演) (S254)

てんかん 2

座長 夏目 淳 (名古屋大学大学院医学系研究科小児科学)
前垣義弘 (鳥取大学医学部脳神経小児科)

O-094 EEG characteristics predict subsequent epilepsy in children with first unprovoked seizure (無熱性けいれん初回発作後のてんかん発症に関する脳波学的特徴)

○Hideaki Kanemura¹, Fumikazu Sano¹, Sonoko Mizorogi¹, Tetsuo Ohyama¹, Kanji Sugita¹, Masao Aihara²
Department of Pediatrics, Faculty of Medicine, University of Yamanashi, Yamanashi, Japan¹, Interdisciplinary Graduate School of Medicine and Engineering, University of Yamanashi, Yamanashi, Japan²

O-095 一過性意識消失発作を主訴に小児科外来を受診した患者の臨床的検討

○佐野史和¹, 田丸 径¹, 金村英秋¹, 杉田完爾¹, 相原正男²
山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院医学工学総合研究部²

O-096 ビデオ脳波モニタリングを用いた心因性非てんかん性発作 (PNES) の検討

○西里ちづる, 澤田貴彰, 島津智之, 上野弘恵
国立病院機構熊本再春荘病院小児科

O-097 熱性けいれん重積後の拡散強調画像で皮質一過性異常高信号を呈する症例の検討

○鈴木健史¹, 久保田哲夫¹, 辻 健史², 鈴木亮輔², 深沢達也¹, 安藤直樹³, 加藤 徹², 早川文雄², 齋藤伸治³, 奥村彰久⁴, 夏目 淳⁵
安城更生病院小児科¹, 岡崎市民病院小児科², 名古屋市立大学医学部小児科³, 愛知医科大学小児科⁴, 名古屋大学医学部小児科⁵

O-098 焦点性発作を持つ構造的/代謝性てんかんの EEG-fMRI 解析

○伊藤祐史¹, 前澤 聡², バガリナオエピファニオ², 坂口陽子¹, 小川千香子¹, 竹内智哉¹,
横井摂理¹, 東 慶輝¹, 城所博之¹, 三浦清邦¹, 根来民子¹, 渡邊一功¹, 夏目 淳¹
名古屋大学医学部小児科¹, 名古屋大学脳とこころの研究センター²

O-099 熱性痙攣重積後に MRI で海馬病変を認めた児の特徴

○鈴木良輔¹, 辻 健史¹, 加藤 徹¹, 鈴木健史², 深沢達也², 久保田哲夫², 早川文雄¹, 奥村彰久³,
齋藤伸治⁴, 夏目 淳⁵
岡崎市民病院小児科¹, 安城更生病院小児科², 愛知医科大学小児科³, 名古屋市立大学大学院医学
研究科新生児・小児医学分野⁴, 名古屋大学大学院医学系研究科小児科学⁵

15:40~16:40 一般演題 (口演) (S256)
てんかん 3

座長 石川暢恒 (広島大学病院小児科)
浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)

O-100 当院におけるウエスト症候群 50 例の検討

○鳥尾倫子¹, 酒井康成¹, 實藤雅文², 笹月桃子¹, 石崎義人¹, 鳥巢浩幸³, 原 寿郎¹
九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野¹, 九州大学環境発達医学研究センター², 福岡歯科大学
小児科³

O-101 点頭てんかんにおける発作予後及び発達予後の検討

○藤原由美, 永井盛博, 松岡 舟, 桐野友子, 遠藤彰一
独立行政法人国立病院機構四国こどもととなの医療センター小児神経内科

O-102 Serum cytokine responses to ACTH in patients with West syndrome (West 症候群における ACTH 療法によるサイトカインの経時的変動)

○Natsumi Morishita, Gaku Yamanaka, Mika Takeshita, Shinichiro Morichi, Yu Ishida, Kazunori Suzuki,
Shingo Oana, Hisashi Kawashima
The Department of pediatrics, Tokyo medical University, Tokyo, Japan

O-103 ACTH 療法による先天性 CMV 感染症のウイルス再活性化の検討

○熊谷勇治^{1,3}, 小一原玲子³, 菊池健二郎¹, 田中 学³, 平田佑子¹, 大場温子¹, 南谷幹之¹,
浜野晋一郎^{1,3}
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東葛病院小児科², 埼玉県立小児医療センター保健発達部³

O-104 Efficacy and safety of high-dose intravenous immunoglobulin therapy in West syndrome (West 症候群に対する静注免疫グロブリン療法の有効性と安全性)

○Ryuki Matsuura^{1,2}, Shin-Ichiro Hamano², Yuko Hirata^{1,2}, Yuji Kumagai², Atsuko Oba², Kenjiro Kikuchi²,
Manabu Tanaka³, Motoyuki Minamitani²
Department of Pediatrics, The Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan¹, Department of
Neurology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan², Department of Child Health and Human
Development, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan³

O-105 てんかん性スパズムに対する新規抗てんかん薬 (TPM, LTG, LEV) の治療成績についての検討

○南谷幹之^{1,3}, 浜野晋一郎^{1,2,3}, 田中 学², 菊池健二郎^{1,3}, 大場温子^{1,3}, 平田佑子^{1,3}, 熊谷勇治¹,
小一原玲子², 井田博幸³
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 埼玉県立小児医療センター保健発達部², 東京慈恵会医科大学
小児科³

第 1 日目 第 7 会場

9:25~11:25 シンポジウム 2 (S127)

Dystrophinopathy の中枢神経障害

座長 松村 剛 (国立病院機構刀根山病院神経内科)
小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

1) Dystrophinopathy の中枢神経障害オーバービュー

齊藤利雄 (国立病院機構刀根山病院神経内科・小児神経内科)

2) 筋ジストロフィーにおける発達障害についての心理学的検討

井村 修 (大阪大学人間科学研究科)

- 3) **Duchenne 型筋ジストロフィーモデルマウスの中樞異常**
関口正幸 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第四部)
- 4) **Dystrophinopathy の臨床神経生理学的検討**
諏訪園秀吾 (独立行政法人国立病院機構沖縄病院神経内科)
- 5) **DMD と自閉症の合併症例の実際**
白石一浩 (宇多野病院小児科)

11:40～12:40 ランチョンセミナー 7: 共催 ノーベルファーマ株式会社 (S190)

新生児救急医療から小児てんかん重積状態まで一治療戦略を考えるー

座長 田村正徳 (埼玉医科大学総合医療センター小児科)

- 1) **NICU における痛みのケアガイドライン紹介**
田村正徳 (埼玉医科大学総合医療センター小児科)
- 2) **新生児搬送と新生児仮死治療**
廣間武彦 (長野県立こども病院総合周産期母子医療センター新生児科)
- 3) **小児てんかん重積状態の治療戦略**
須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

13:10～15:10 シンポジウム 3 (S130)

小児頭部外傷の急性期治療・リハビリテーション・予防

座長 栗原まな (神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科)

荒木 尚 (日本医科大学付属病院救命救急科)

- 1) **脳神経機能予後を見据えた小児頭部外傷の急性期対応**
荒木 尚 (日本医科大学付属病院救命救急科)
- 2) **小児頭部外傷の急性期治療・リハビリテーション・予防: 後遺症の実態**
栗原まな (神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科)
- 3) **小児脳外傷のリハビリテーション**
吉橋 学 (神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科)
- 4) **地域で行なっている科学的なこどもの傷害予防**
出口貴美子^{1,3}, 大野美喜子², 北村光司², 西田佳史²
(出口小児科医院¹, 産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究センター², NPO 法人 Love & Safety おおむら³)
- 5) **自動車開発における安全対策**
栗野正浩, 高宮智昭
(一般社団法人日本自動車工業会, 三菱自動車工業株式会社開発本部安全技術部)

15:10～16:00 一般演題 (口演) (S258)

精神障害・行動障害

座長 稲垣真澄 (独立行政法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)

古荘純一 (青山学院大学教育人間科学部教育学科)

O-106 双胎で出生した乳児とその母親の睡眠行動に関する研究

○近藤千恵, 高田 哲
神戸大学大学院保健学研究科

O-107 Refeeding edema を認めた小児神経やせ症の臨床的検討

○大谷良子¹, 荒川明里², 井上 建², 綾部敦子², 島村圭一², 作田亮一¹
獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター¹, 獨協医科大学越谷病院小児科²

O-108 トウレット症候群 (TS) におけるチック症状の経年齢変化—治療介入年齢の重要性

○木村一恵, 長尾ゆり, 八森 啓, 野村芳子, 瀬川昌也
瀬川小児神経学クリニック

O-109 反抗挑戦性障害を有する注意欠如・多動性障害児における薬物療法の効果

○本山和徳, 藤井明子, 宮崎睦子, 長岡珠緒, 松尾光弘
長崎県立こども医療福祉センター小児科

O-110 抗精神病薬投与開始後早期に発症した dropped head syndrome に対し, L-DOPA 少量投与が奏功した自閉症男児の 1 例○大和田啓峰^{1,2}, 井手秀平³, 柴田明子³東京都立北療育医療センター城南分園小児精神科¹, 東京大学医学部附属病院こころの発達診療部², 東京都立北療育医療センター城南分園小児神経科³**16:00~16:40 一般演題 (口演) (S259)**
社会・安全**座長 竹内義博 (滋賀医科大学小児科学講座)****O-111 小児専門病院における小児期発症神経疾患患者のトランジションの現状と課題**○菊池健二郎², 浜野晋一郎^{1,3}, 南谷幹之¹, 田中 学³, 小一原玲子³埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科学講座², 埼玉県立小児医療センター保健発達部³**O-112 脳死とされうる状態の小児 10 例の臨床経過に関する検討**○後藤裕介¹, 反頭智子¹, 大山哲男^{1,3}, 佐野史和^{1,3}, 亀井さやか¹, 加賀佳美², 石井佐綾香^{1,2}, 中村幸介², 神谷裕子², 杉田完爾³, 相原正男³山梨県立中央病院小児科¹, 国立病院機構甲府病院小児科², 山梨大学医学部小児科³**O-113 後期研修医の重症心身障害医療研修プログラム**○田中総一郎¹, 呉 繁夫¹, 萩野谷和裕², 乾 健彦², 大久保幸宗²東北大学小児科¹, 宮城県拓桃医療療育センター小児科²**O-114 日本小児科学会主催 MRI 検査時の鎮静セミナー “SECURE (Sedation Essence in Children Under Regulated Environment) コース”**○久我修二^{1,2}, 井上信明^{1,3}, 草川 功^{1,4}, 阪井裕一^{1,5}日本小児科学会医療安全委員会¹, 慈恵会西田病院², 東京都立小児総合医療センター³, 聖路加国際病院⁴, 国立成育医療研究センター⁵

第 1 日目 ポスター会場 1

17:00~17:30 一般演題 (ポスター) (S313)

発達障害 1

モデレーター 宮本晶恵 (北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター小児科)

P-001 当院における就学前自閉症スペクトラム児に対する risperidone の使用状況

○城間直秀, 嶺間博隆

発達神経クリニックプロップ

P-002 症例報告: 拡散テンソル画像と脳構造解析を用いた, 言語失行型自閉症の脳メカニズムの検討

○涌澤圭介¹, 横山浩之², 奈良千恵子³, 久保田由紀³, 呉 繁夫³浜松医科大学子どものこころの発達研究センター¹, 山形大学医学部看護学科臨床看護学講座², 東北大学病院小児病態学講座³

P-003 小松市の全就園児の自閉症スペクトラム特性の横断的検討

ーPEP-3 療育者レポートを用いた保護者アンケートの解析ー

○大月 幸, 上野良樹, 木場由希子, 大月哲夫

小松市民病院小児科

P-004 自閉症スペクトラム児の幼児期における偏食と感覚特性との関連

○志澤美保¹, 松崎順子², 衛藤 萌², 辰巳愛香³, 山本知加³, 吉崎亜里香³, 酒井佐枝子², 平田郁子⁴,毛利育子², 谷池雅子²京都大学大学院医学研究科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究科², 大阪大学大学院連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター³, 大阪大学大学院医学系研究科⁴

P-005 自閉症スペクトラム障害児における聴覚過敏性とミスマッチフィールドの関係について

○松崎順子^{1,2}, 下野九理子^{1,2,3}, 平田郁子³, 花家竜三², 永谷文代², 山本知加², 橘 雅弥^{1,3},富永康仁^{1,3}, 平田雅之⁴, 毛利育子^{1,2,3}, 谷池雅子^{1,2,3}大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科¹,

大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科附

属子どものこころの分子統御機構研究センター², 大阪大学大学院医学系研究科小児科³, 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科⁴

P-006 幼児期の自閉症スペクトラム障害における知的発達変化の検討

○佐竹宏之

福岡市立東部療育センター

P-007 自閉症スペクトラム障害 (ASD) の睡眠覚醒リズム調査支援システムによる睡眠リズム評価と少量 L-ド
パ療法の効果について○星野恭子^{1,2}, 木村一恵¹, 長尾ゆり¹, 八森 啓¹, 野村芳子¹, 瀬川昌也¹瀬川小児神経学クリニック¹, 独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター小児科²

P-008 偏食による壊血病を呈した自閉症スペクトラム障害の 1 幼児例

○谷川祥陽¹, 星野恭子^{1,2}, 荒川 浩¹, 平良勝章³, 小熊栄二⁴埼玉医科大学総合医療センター¹, 独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター小児科², 埼玉県立小児医療センター整形外科³, 埼玉県立小児医療センター放射線科⁴

P-009 Impact of ABA intervention in the development of verbal communication skills in children with ASD

(ABA による介入を行った自閉症スペクトラム幼児の言語性コミュニケーション能力の発達: 伸びる子
と伸びない子の違いは?)

○Keitaro Sueda, Keiko Morioka, Izumi Hara, Sachiyo Hayakawa, Keiko Maeda

Shizuoka Medical Welfare Center (Shizuoka Iryo Fukushima Center), Shizuoka, Japan

P-010 高機能型自閉症スペクトラム障害群小児におけるアリピプラゾールの少量療法—使用経験の報告

○木村育美^{1,2}, 磯野有章子¹, 米山 明¹, 宮尾益知²心身障害児総合医療療育センター小児科¹, どんぐり発達クリニック²

17:30~18:00 一般演題 (ポスター) (S316)
発達障害 2

モデレーター 小倉加恵子 (社会医療法人大道会森之宮病院)

- P-011** What does the Synthetic House-Tree-Person Test reveal on individuals with autism spectrum disorder?
○Koichi Aizaki, Fuyumi Aizaki, Joyce Lum, Rachel Aiello, Ruth Fuller, Catherine Kochman, Dorothy McNee
The University of North Carolina TEACCH Autism Program Charlotte Center, North Carolina, USA
- P-012** 小児期の The Boston Qualitative Scoring System 定性得点と実行機能
○中野広輔¹, 荻野竜也², 渡邊聖子³, 岡 牧郎⁴, 大塚頌子⁵
愛媛大学教育学部特別支援教育講座¹, 中国学園大学子ども学部子ども学科², 長崎大学病院小児科³, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学 (小児神経科)⁴, 旭川荘療育・医療センター⁵
- P-013** 「学校自己採点法」は何歳で可能なのか?
○小沢 浩, 岸本洋子, 野村芳子, 雨宮 馨, 小沢愉理
島田療育センターはちおうじ神経小児科
- P-014** 頭部外傷後男児における読み書き検査の検討
○福井美保¹, 島川修一¹, 畑中マリ¹, 野村昇平¹, 栗本奈緒子², 水田めぐみ², 竹下 盛², 奥村智人², 若宮英司³, 玉井 浩¹
大阪医科大学医学部小児科¹, 大阪医科大学 LD センター², 藍野大学医療保健学部看護学科³
- P-015** 難聴を伴う神経発達障害児における発達特性に関する検討
○山内翔子^{1,2}, 稲葉雄二², 川崎洋一郎², 本林光雄², 柴 直子²
浅間総合病院¹, 信州大学医学部小児科²
- P-016** ペン型簡易筆圧計を用いた発達障害児の書字動作の検討
○渡邊雄介¹, 大歳太郎², 高田 哲¹
神戸大学大学院保健学研究科保健学専攻地域保健学領域¹, 関西福祉科学大学リハビリテーション学部²
- P-017** 不注意, 衝動性を呈した Williams 症候群女児例における前頭葉機能の電気生理学的検討
○石井佐綾香^{1,2}, 加賀佳美^{1,2}, 反頭智子¹, 青柳閣郎¹, 金村英秋¹, 中根貴弥¹, 杉田完爾¹, 相原正男³
山梨大学医学部小児科¹, 独立行政法人国立病院機構甲府病院小児科², 山梨大学大学院医学工学総合研究部³
- P-018** Williams 症候群の児童にみられる感覚処理の問題と行動特性に関する検討
○松島佳苗¹, 齊藤景子², 栗屋智就², 加藤竹雄², 平家俊男², 富和清隆^{2,3}, 加藤寿宏¹
京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻¹, 京都大学医学部附属病院小児科², 東大寺福祉療育病院³
- P-019** ウィリアムス症候群における聴覚過敏, 恐怖, 認知行動に関するアンケート検査報告
○加藤竹雄¹, 中田昌利¹, 井手見名子¹, 吉田健司¹, 斎藤景子¹, 松島佳苗², 栗屋智就¹, 加藤寿宏², 平家俊男¹, 富和清隆^{1,3}
京都大学医学部附属病院小児科¹, 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻², 東大寺福祉療育病院³
- P-020** 発達期にある同一児童における読み習熟の質的变化と読み指標の意味づけ
○内山仁志¹, 関あゆみ^{2,3}, 谷中久和^{2,3}, 新井田孝裕¹, 小枝達也^{2,3}
国際医療福祉大学保健医療学部¹, 鳥取大学地域学部子どもの発達学習研究センター², 鳥取医療センター臨床研究部³
- P-021** 幼児における Gazefinder を用いた注視点の分析に関する研究
○森 瞳子¹, 土屋賢治², 片山泰一³, 永井利三郎¹
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻¹, 浜松医科大学子どものこころの発達研究センター², 大阪大学大学院連合小児発達学研究科³

第 1 日目 ポスター会場 2

17:00~17:30 一般演題 (ポスター) (S320)

急性脳炎・脳症 1

モデレーター 後藤知英 (神奈川県立こども医療センター神経内科)

P-022 一般救急病院における急性脳症/脳炎の救急対応

○白久博史, 太田正康

JA とりで総合医療センター小児科

P-023 Genetic background in Japanese acute necrotizing encephalopathy: cytokine gene polymorphism analysis (急性壊死性脳症における遺伝的素因 -サイトカイン遺伝子多型解析および機能解析-)

○Ai Hoshino^{1,4}, Makiko Saitoh¹, Masaya Kubota², Jun-Ichi Takanashi³, Akira Oka⁴, Masashi Mizuguchi¹Department of Developmental Medical Sciences, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan¹, Division of Neurology, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan²,Department of Pediatrics, Tokyo Women's Medical University Yachiyo Medical Center, Yachiyo, Japan³,Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan⁴

P-024 発症から 24 時間経過後に脳平温療法を導入し後遺症なく経過した急性脳症の 1 例

○富岡和美, 田中 司, 丸山あずさ, 永瀬裕朗

兵庫県立こども病院脳神経内科

P-025 無呼吸発作が頻発し MDL が奏功した急性脳症の 3 例

○白井謙太郎, 横山はるな, 南風原明子, 山本敦子, 渡邊章充

土浦協同病院小児科

P-026 メチルマロン酸血症 (MMA) に対する生体肝移植後, 経過観察中にけいれん重積型脳症 (AESD) をきたした 5 歳男児例

○橋本和彦¹, 林田拓也¹, 神戸太郎¹, 角至一郎¹, 里 龍晴², 森内浩幸²佐世保市立総合病院小児科¹, 長崎大学病院小児科²

P-027 けいれんのコントロールが良好な難治頻回部分発作重積型急性脳炎の 1 例

○渡邊周永¹, 鈴木 智², 富樫紀子¹宮城県立こども病院神経科¹, 東北大学病院小児科²

P-028 難治頻回部分発作重積型急性脳炎 (AERRPS) の経過中, 頭部 MRI にて脳梗塞様の変化を呈した一例

○林田拓也¹, 里 龍晴², 橋本和彦¹, 渡辺聖子², 渡辺嘉章², 高橋幸利³, 森内浩幸²佐世保市立総合病院小児科¹, 長崎大学病院小児科², 国立病院機構静岡てんかん神経医療センター³

P-029 シクロホスファミドパルス療法開始後にチオペンタールを離脱できた難治頻回部分発作重積型急性脳炎の一例

○高木敦子, 藤田真祐子, 福原知之, 藤田雄治, 武井 悠, 山下喜晴, 力石浩志, 南谷幹史, 太田節雄

帝京大学ちば総合医療センター

P-030 ミオクロニー発作を合併した難治頻回部分発作重積型急性脳炎の 1 歳女児例

○中村紀子¹, 井上貴仁^{1,2}, 金海武志^{1,2}, 吉村和子^{1,2}, 林 仁美¹, 鶴澤礼実¹, 森島直美¹, 小川 厚¹福岡大学築紫病院¹, 福岡大学病院²

P-031 当院で経験した難治頻回部分発作重積型急性脳炎 (AERRPS) の 3 症例

○上野裕太郎¹, 湯澤壮太郎¹, 阪下達哉¹, 平田和裕¹, 小林瑛美子¹, 丸田香奈子², 松波邦洋¹,桑原秀次¹, 松隈英治¹, 松尾直樹¹, 今村 淳¹岐阜県総合医療センター小児科¹, 長良医療センター²

17:30~18:00 一般演題 (ポスター) (S323)

感染・免疫 1

モデレーター 椎原 隆 (群馬県立小児医療センター神経内科)

P-032 重症心身障害児における肺膿瘍 5 例の検討

○渡辺 淑¹, 小俣 卓¹, 飯田由紀子¹, 児玉一男¹, 牟田香織¹, 星野 直²千葉県こども病院神経科¹, 千葉県こども病院感染症科²

P-033 メロペネム大量投与中に血液および髄液中の薬剤濃度測定を行った新生児 B 群溶血性連鎖球菌 (GBS) 髄膜炎の一例

○山森彩子¹, 中田智彦¹, 糸見世子²名古屋第一赤十字病院小児科¹, 独立行政法人国立病院機構宇多野病院小児神経科²

- P-034** 細菌性髄膜炎罹患後、自閉症スペクトラム障害と診断された 2 例
○日野香織, 渡部承平
愛媛県立今治病院
- P-035** 熱傷後に Toxic Shock Syndrome と診断し、集学的治療を要した 1 症例
○及川善嗣, 植松 貢, 菊池敦生, 中山東城, 木越隆晶, 福與なおみ, 呉 繁夫
東北大学病院小児科
- P-036** 消化器疾患にて在宅中心静脈栄養 (TPN) 中に敗血症関連脳症 (SAE: Sepsis-associated encephalopathy) を発症した 4 例
○池田 妙, 利川寛実, 木村貞美, 木水友一, 最上友紀子, 柳原恵子, 鈴木保宏
大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科
- P-037** 難聴を契機に診断された先天性サイトメガロウイルス感染症の後方視的検討
○牧岡西紀¹, 緒方朋実¹, 澤浦法子¹, 村松一洋¹, 迫 恭子¹, 富田桂子¹, 井田久仁子¹, 小林美穂¹, 本島敏乃², 荒川浩一¹
群馬大学医学部小児科¹, 本島総合病院小児科²
- P-038** 血中・髄液中ウイルス DNA 量モニタリングによる抗ウイルス薬投与を行い良好な発達を得られた先天性 CMV 感染症の 1 例
○熊谷淳之¹, 有賀裕道¹, 生井良幸¹, 佐藤淑子², 橋本浩一², 細矢光亮²
太田総合病院附属太田西ノ内病院小児科¹, 公立大学法人福島県立医科大学小児科²
- P-039** 水痘帯状疱疹ウイルスの再活性化により片側の三叉神経第 3 枝領域の疼痛・違和感, 前庭症状を来した 13 歳男児例
○水流尚志, 渡邊健二, 馬場悠生, 四俣一幸
鹿児島市立病院小児科
- P-040** ヒトパレコウイルス 3 型感染症の病像の特徴と発達予後
○竹中 暁¹, 熊谷淳之^{1,2}, 安西真衣¹, 葛西真梨子¹, 渡邊 優¹, 寺嶋 宙¹, 久保田雅也¹
国立成育医療研究センター病院器官病態系内科部神経内科¹, 国立成育医療研究センター病院臨床検査部高度先進検査室²
- P-041** A 群コクサッキーウイルス感染に伴う急性脳症の 2 例
○山田倫子¹, 荒川千賀子¹, 窪田園子¹, 桃木恵美子¹, 河村由生¹, 石井和嘉子¹, 福田あゆみ¹, 小平隆太郎¹, 藤田之彦¹, 洲上達夫¹, 牛島廣治², パムティキムニアン², 高橋昌里¹
日本大学医学部小児科¹, 日本大学医学部病態病理学系微生物学分野²
- 18:00~18:30** 一般演題 (ポスター) (S326)
- 社会・安全**
- モデレーター** 是松聖悟 (大分大学医学部地域医療・小児科分野)
- P-042** 13 トリソミーと 18 トリソミーに対して当院 NICU から小児科病棟を経由した在宅医療の取り組み
○高田栄子, 水田桂子, 田村正徳
埼玉医科大学総合医療センター小児科
- P-043** 鳥取県西部地区を中心とした障がい児・者在宅医療・福祉サービス利用状況の実態
○玉崎章子¹, 西村洋子¹, 成田 綾¹, 大野光洋¹, 杉原 進¹, 斎藤義朗¹, 汐田まどか², 前垣義弘¹
鳥取大学医学部脳神経小児科¹, 鳥取県立総合療育センター小児科²
- P-044** 東日本大震災地域での学校教員への支援活動から～教員から見た生徒の状況について
○波田野希美¹, 田辺芳美¹, 土生 舞¹, 研谷美月¹, 濱崎綾子¹, 木口里菜¹, 藤原綾子¹, 古藤雄大¹, 古川恵美², 森 瞳子¹, 永井利三郎¹
大阪大学大学院保健学専攻生命育成看護科学講座¹, 畿央大学教育学部²
- P-045** インターネットでの小児神経専門医への正確なアクセスは可能か?
○岡本健太郎¹, 福田光成²
市立宇和島病院小児科¹, 愛媛大学医学部小児科²
- P-046** 2 歳児の適切な生活習慣に関する母親・保育者・小児科医の認識
○安積陽子¹, 高田 哲²
北海道大学大学院保健科学研究所¹, 神戸大学大学院保健学研究科²
- P-047** 長野県における女性てんかん患者への葉酸投与の現状
○川崎洋一郎¹, 山内翔子², 本林光雄¹, 柴 直子¹, 稲葉雄二¹
信州大学医学部小児科¹, 浅間総合病院小児科²

18:00~18:30 一般演題 (ポスター) (S328)

障害児・者医療 1

モデレーター 鈴木由香 (松山赤十字病院成育医療センター)

P-048 当センターにおける生存率曲線と 24 時間以内死亡例の現状

○尾上幸子, 幸田徳二, 延時達朗, 渡邊 誠

枚方総合発達医療センター

P-049 神経因性膀胱に起因する反復性尿路感染症に対し夜間持続導尿が奏功した超重症児の 2 例

○山田桂太郎¹, 大萱俊介¹, 倉橋直子¹, 梅村紋子¹, 丸山幸一¹, 麻生幸三郎²

愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科¹, 愛知県心身障害者コロニーこばと学園²

P-050 聴性脳幹反応無反応の低酸素性虚血性脳症後遺症における耳音響放射

○山本晃子¹, 鈴木敏洋¹, 立岡祐司¹, 稲毛祐基子¹, 野口ひとみ¹, 本澤志方¹, 太田秀臣¹, 荒井康裕¹,

益山龍雄¹, 岩崎裕治¹, 村田かおり^{1,2}, 加我牧子¹

東京都立東部療育センター小児科¹, かおり小児科²

P-051 重症蘇生後脳症児 2 例の体組成評価と栄養管理の検討

○水口浩一¹, 久保田雅也²

国立成育医療研究センター総合診療部¹, 国立成育医療研究センター神経内科²

P-052 重症心身障害児・者における GB 胃瘻バルーンボタンスモールタイプの使用経験

○齋田泰子, 久保田智香

独立行政法人国立病院機構松江医療センター小児科

P-053 急性肺炎を発症した重症心身障害児 (者) の臨床的特徴

○松井秀司, 大野由美子, 牧野道子, 和田恵子, 松田光展, 赤星恵子, 舟橋満寿子, 椎木俊秀

東京小児療育病院小児科

P-054 誤嚥防止目的でスピーチバルブを装着した単純気管切開児の 2 症例

○大城あずさ, 仲村貞郎, 玉城邦人

琉球大学医学部小児科

P-055 喉頭気管分離術後, 気管腕頭動脈瘻回避のため気管カニューレフリー管理を試みている 2 症例

○田中佳子¹, 遠藤尚文², 永野千代子¹, 浅田洋司¹, 田中総一郎³, 笹原洋二³, 菅野潤子³, 大島郁子⁴

仙台赤十字病院小児科¹, 仙台赤十字病院小児外科², 東北大学小児科³, 国立病院機構宮城病院⁴

P-056 重症心身障害児の呼吸障害における nasal high-flow の有効性の検討

○日衛嶋郁子, 熊田知浩, 舞鶴賀奈子, 林 安里, 野崎章仁, 横山淳史, 柴田 実, 藤井達哉

滋賀県立小児保健医療センター小児科

P-057 栄養管理に苦慮した X 連鎖性滑脳症の 1 例

○本井宏尚¹, 藤原 祐¹, 渡辺好宏¹, 武下草生子¹, 加藤光広²

横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター¹, 山形大学医学部小児科²

第 1 日目 ポスター会場 3

17:00~17:30 一般演題 (ポスター) (S332)

先天代謝異常 1

モデレーター 成田 綾 (鳥取大学脳神経小児科)

P-058 MAN1B1 遺伝子異常による先天性グリコシル化異常症の兄妹例

○大戸達之¹, 榎園 崇¹, 田中竜太¹, 佐々木征行², 湯浅 勲³, 大野耕策⁴, 岡本伸彦⁵

筑波大学医学医療系小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院², 鳥取大学医学部法医学教室³,

山陰労災病院小児科⁴, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科⁵

P-059 非痙攣性てんかん発作を捕捉し得た Zellweger 症候群の一例

○青木雄介¹, 鈴木基正¹, 大野敦子¹, 糸見和也¹, 下澤伸行²

あいち小児保健医療総合センター神経科¹, 岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究分野²

P-060 知的退行を呈した中枢性甲状腺機能低下症の 15 歳女児

○本澤志方, 鈴木敏洋, 稲毛祐基子, 野口ひとみ, 荒井康裕, 太田秀臣, 益山龍雄, 岩崎裕治,

有馬正高, 加我牧子

東京都立東部療育センター小児神経科

P-061 先天性 GPI 欠損症に対する当院での取り組み

○谷河純平^{1,3}, 岸本加奈子^{1,3}, 山崎早苗^{1,3}, 岩谷祥子^{1,2,3}, 富永康仁^{1,2,3}, 下野九理子^{1,2,3},
青木目信^{1,3}, 村上良子⁵, 木下タロウ⁵, 永井利三郎⁴, 大藺恵一^{1,3}

大阪大学大学院医学研究科小児科¹, 大阪大学連合小児発達学研究所², 大阪大学附属病院てんかん
センター³, 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科⁴, 大阪大学微生物病研究所免
疫不全疾患研究分野⁵

P-062 McArdle 病の治療効果判定に 12 分間歩行テストは有用か

○柴 直子¹, 山内翔子¹, 川崎洋一郎¹, 本林光雄¹, 源野広和², 中村昭則³, 稲葉雄二¹

信州大学医学部小児科¹, キッセイコムテック株式会社², 信州大学医学部附属病院難病診療セン
ター³

P-063 大量の胆道出血をきたした異染色性白質ジストロフィーの一例

○黒田文人¹, 横井彩乃¹, 中川裕康², 三谷裕介¹, 井上なつみ³, 佐藤 啓¹, 伊川泰広¹, 新井田要³,
谷内江昭宏¹

金沢大学医薬保健研究域医学系小児科¹, 浅ノ川総合病院小児科², 金沢医科大学病院遺伝子医療セ
ンター³

P-064 酵素補充療法を実施中の乳児型 Pompe 病における神経障害に関する検討

○八谷靖夫¹, 内野俊平¹, 白井育子¹, 下田木の実², 佐藤敦志¹, 栗原栄二¹, 熊田聡子¹

東京都立神経病院神経小児科¹, 東京大学医学部小児科²

P-065 本邦で初めて CLN8 のホモ接合性変異により神経セロイドリポフスチン症 (NCL) の診断に至った 6 歳男児例

○堅田有宇¹, 植松 貢¹, 佐藤寛記¹, 鈴木 智¹, 中山東城¹, 久保田由紀¹, 小林朋子¹, 福與なおみ¹,
才津浩智², 呉 繁夫¹

東北大学病院小児科¹, 横浜市立大学医学部遺伝科²

P-066 酵素補充療法 (agalsidase alfa) により頸椎症の画像所見が改善した Fabry 病の男児例

○松本貴子, 毎原敏郎

兵庫県立塚口病院小児科

P-067 Neonatal gene therapy of MPS VII mice using lentiviral vector improved behavior deficits

(レンチウイルスベクターによる遺伝子治療した新生児 MPS VII マウスの中脳神経病変の改善)

○Masamichi Ariga^{1,2}, Hiroshi Kobayashi^{1,2}, Yohota Shimada², Yoshikatsu Eto³, Hiroyuki Ida¹,
Toya Ohashi^{1,2}

Department of Pediatrics, The Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan¹, Division of Gene
Therapy, Research Center for Medical Science, The Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan²,
Advanced Clinical Research Center, The Southern Tohoku Brain Research Institute, Kanagawa, Japan³

17:30~18:00 一般演題 (ポスター) (S335)
神経変性疾患

モデレーター 小林博司 (東京慈恵会医科大学)

P-068 GCH1 遺伝子異常を認めた瀬川病の 1 例

○佐々木剛¹, 新宅治夫²

三豊総合病院小児科¹, 大阪市立大学小児科²

P-069 てんかん, 高機能自閉症を認めた β -ウレイドプロピオナーゼ欠損症の女児例

○衛藤 薫, 坂内優子, 永田 智

東京女子医科大学小児科

P-070 生直後より呼吸障害を認め, 気管切開術を要した Pelizaeus-Merzbacher 病 (PMD) の 1 例

○植田綾子¹, 小池泰敬¹, 矢田ゆかり¹, 河野由美¹, 新保裕子², 小坂 仁¹, 山形崇倫¹

自治医科大学小児科¹, 神奈川県立こども医療センター²

P-071 「脳クレアチン欠乏症候群の臨床研究班」の取り組み

○和田敬仁¹, 小坂 仁², 相田典子³, 後藤知英⁴, 露崎 悠⁴, 新保裕子⁴, 加藤秀一⁵, 高野亨子⁶,
大槻純男⁷, 伊藤慎悟⁷, 立川正憲⁸, 黒澤裕子⁹

京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医学学分野¹, 自治医科大学小児科², 神奈川県立こども
医療センター放射線科³, 神奈川県立こども医療センター神経内科⁴, 神奈川県立精神医療セン
ター⁵, 信州大学医学部遺伝医学・予防医学講座⁶, 熊本大学大学院生命科学研究部微生物薬学分野⁷,
東北大学大学院薬学研究科薬物送達学分野⁸, 立命館大学総合科学技術研究機構⁹

- P-072 Cimetidine therapy for the intermittent fever in Aicardi-Goutieres syndrome: a case report**
(間欠的発熱に対し cimetidine が有効であった Aicardi-Goutieres 症候群の一例)
○Ayako Kashimada¹, Hisako Ishiwata¹, Koji Takahashi¹, Tomohiro Nomura¹, Kengo Moriyama¹, Shimpei Baba¹, Keisuke Nakajima¹, Setsuko Hasegawa¹, Kei Murayama², Ryuta Nishikomori³, Yuji Sugawara¹
The Pediatric and Developmental Biology, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan¹, Department of Metabolism, Chiba Children's Hospital, Chiba, Japan², Department of Pediatrics, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan³
- P-073 「高乳酸と緩徐な改善を伴う乳児発症白質脳症」における脳 MRI 変化所見**
○佐藤裕範, 藤井克則, 藤田真祐子, 池原 甫, 水落弘美, 塩浜 直, 下條直樹
千葉大学大学院医学研究院小児病態学
- P-074 毛細血管拡張性運動失調症の神経症状に対する少量ベタメタゾン療法 第 3 報**
○長谷川節子^{1,2}, 熊田聡子³, 長谷川毅⁴, 細川卓利⁵, 植松 貢⁶, 富士根明雄⁷, 白井育子³, 石渡久子², 鹿島田彩子², 高木正稔², 菅原祐之²
東京北医療センター小児科¹, 東京医科歯科大学小児科², 東京都立神経病院神経小児科³, 草加市立病院⁴, 高知大学小児科⁵, 東北大学小児科⁶, 福井県こども医療センター小児科⁷
- P-075 歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症の小児期早期発症例の検討**
○糸見和也¹, 鈴木基正¹, 大野敦子¹, 青木雄介¹, 今村 淳²
あいち小児保健医療総合センター神経科¹, 岐阜県総合医療センター小児科²
- P-076 脊髄小脳変性症 29 型の 1 親子例**
○里 龍晴¹, 渡辺 聡^{1,2}, 西口奈菜子¹, 井上大嗣¹, 渡邊聖子¹, 渡邊嘉章¹, 吉浦孝一郎², 森内浩幸¹
長崎大学病院小児科¹, 長崎大学原爆後障害医療研究所人類遺伝学研究分野²
- 18:00~18:30 一般演題 (ポスター) (S338)**
染色体・遺伝子 1
- モデレーター 中村和幸 (山形大学医学部小児科)**
- P-077 当院で競合的アレイハイブリダイゼーション検査を行った 45 例のまとめ**
○栗屋智就¹, 加藤竹雄¹, 中田昌利¹, 齊藤景子¹, 吉田健司¹, 井手見名子¹, 小森友貴², 毎原敏郎³, 熊田知浩⁴, 藤井達哉⁴, 平家俊男¹
京都大学医学部附属病院小児科¹, 京都第一赤十字病院小児科², 兵庫県立塚口病院小児科³, 滋賀県立小児保健医療センター⁴
- P-078 アレイ CGH にて診断がついた微細欠失・重複症候群の当科での経験例**
○保科隆男¹, 瀬戸俊之¹, 山下加奈子¹, 谷口紫野¹, 服部妙香¹, 佐久間悟¹, 濱崎考史¹, 新宅治夫¹, 山本俊至²
大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学¹, 東京女子医科大学統合医科学研究所²
- P-079 Beckwith-Wiedemann 症候群エピソード症例におけるインプリント DMR の包括的メチル化解析**
○前田寿幸¹, 城崎幸介², 八木ひとみ², 東元 健², 松尾宗明¹, 副島英伸²
佐賀大学医学部小児科¹, 佐賀大学医学部分子生命科学講座分子遺伝学エビジェネティクス分野²
- P-080 潜因性 West 症候群に対する網羅的ゲノム解析による遺伝学的診断の有用性**
○菊池敦生¹, 福與なおみ¹, 市野井那津子¹, 新堀哲也², 佐藤 亮¹, 工藤宏紀¹, 佐藤優子¹, 中山東城¹, 柿坂庸介³, 久保田由紀¹, 小林朋子^{1,4}, 植松 貢¹, 青木洋子², 萩野谷和裕⁵, 呉 繁夫¹
東北大学医学部小児科¹, 東北大学大学院医学系研究科遺伝病学分野², 東北大学医学部てんかん科³, 東北大学東北メディカル・メガバンク機構人材育成部門遺伝子診療支援・遺伝カウンセリング分野⁴, 宮城県拓桃医療療育センター小児科⁵
- P-081 Genetic analysis in patients with intellectual disability**
(原因不明の知的障害の遺伝学的原因検索)
○Miki Asahina, Yoshifumi Miyagi, Hidetoshi Ishigaki, Tomoko Matsubayashi, Tokiko Fukuda
Department of pediatrics, Hamamatsu university school of medicine, Hamamatsu, Japan

P-082 小頭症の新規遺伝子同定に有用な検証実験系の構築

○中山東城^{1,2}, Al-Maawali Almundher^{1,2,3}, El-Quessny Malak^{1,2}, Schmitz-Abe Klaus^{1,2}, Hill R. Sean^{1,2,3}, Partlow Jennifer N.^{1,2,3}, Coulter Michael E.^{1,2,3}, Elhosary Princess C.^{1,2}, Markianos Kyriacos^{1,2}, Poduri Annapurna⁴, 持田ガネシュワラン仁司^{1,2,5}

Division of Genetics and Genomics, Department of Medicine, Boston Children's Hospital¹, Manton Center for Orphan Disease Research, Boston Children's Hospital², Howard Hughes Medical Institute, Boston Children's Hospital³, Department of Neurology, Boston Children's Hospital⁴, Pediatric Neurology Unit, Department of Neurology, Massachusetts General Hospital, Boston, Massachusetts⁵

P-083 Carnitine palmitoyltransferase II (CPT2) の熱不安定性遺伝子多型と熱性けいれん発症の関連について

○石崎義人, 酒井康成, 實藤雅文, 李 守永, 鳥尾倫子, 原 寿郎
九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野 (小児科)

P-084 Gorlin 症候群由来線維芽細胞におけるヘッジホッグ経路の解析

○水落弘美, 藤井克則, 塩濱 直, 内川英紀, 下条直樹
千葉大学大学院医学研究院小児病態学

第 1 日目 ポスター会場 4

18:00~18:30 一般演題 (ポスター) (S341)

脳外科・血管障害

モデレーター 原田敦子 (愛仁会高槻病院小児脳神経外科)

P-085 シンチグラフィがバクロフェン持続髄注療法における合併症の原因診断に有効だった 3 例

○寺嶋 宙¹, 柴田明子¹, 葛西真梨子¹, 渡邊 優¹, 柏井洋文¹, 佐々木奈都², 荻原英樹², 師田信人³, 北村正幸⁴, 久保田雅也¹

国立成育医療研究センター神経内科¹, 国立成育医療研究センター脳神経外科², 東京都立小児総合医療センター脳神経外科³, 国立成育医療研究センター放射線治療科⁴

P-086 開頭血腫除去術後に血友病の診断に至り、出血性ショックと脳梗塞を発症した一例

○古賀佳代¹, 小野晋康¹, 尾形善康², 松尾宗明²
嬉野医療センター小児科¹, 佐賀大学医学部小児科²

P-087 Different phenotypes of Moyamoya disease in a familial case with a heterozygous variant in RNF213

○Takeshi Inoue^{1,2}, Hisashi Itabashi¹, Keiichi Shimamura¹, Nobuyuki Murakami¹, Ryoichi Sakuta²

The Development of Pediatrics, Dokkyo Medical University Koshigaya Hospital, Saitama, Japan¹, Center for Child Development and Psychosomatic, Dokkyo Medical University Koshigaya hospital, Saitama, Japan²

P-088 RNF213 p.R4810K 変異を持つダウン症候群の症例にみられたもやもや症候群発症時期の促進

○チョンピンフィー^{1,2}, 中村涼子¹, 松倉 幹¹, 原口康平¹, 緒方怜奈¹, 吉良龍太郎¹
福岡市立こども病院小児神経科¹, 福岡市立こども病院総合診療科²

P-089 異常血管増生前に脳梗塞を繰り返したもやもや病乳児例

○森宗孝夫^{1,2}, 松井 潤¹, 西倉紀子¹, 吉岡誠一郎¹, 高野知行¹, 竹内義博¹
滋賀医科大学小児科¹, 近江八幡市立総合医療センター小児科²

P-090 特異な経過を呈したもやもや病の一例

○井田久仁子^{1,2}, 本島敏乃³, 村松一洋², 澤浦法子², 富田桂子², 牧岡西紀², 緒方朋実², 迫 恭子², 小林美帆², 荒川浩一²

伊勢崎市民病院小児科¹, 群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野², 本島総合病院³

P-091 可逆性脳血管攣縮症候群を発症した常染色体優性多発性嚢胞腎の 5 歳男児例

○巨田元礼¹, 川谷正男¹, 米谷 博², 渡邊一寿¹, 磯崎由宇子¹, 石原靖紀³, 大嶋勇成¹
福井大学医学部小児科¹, 芳珠記念病院小児科², 福井愛育病院小児科³

P-092 線維軟骨塞栓症 (fibrocartilaginous embolism) の 1 男児例

○泉 鉦吉¹, 星野恭子¹, 大場 洋²

国立病院機構南和歌山医療センター小児科¹, 帝京大学医学部放射線科²

P-093 急性期に患側中大脳動脈の拡張を認めた MELAS の 1 例

○高木篤史, 上田美希, 田嶋華子, 小川樹里, 伊藤保彦
日本医科大学小児科

P-094 頭囲拡大と頸部の傾きを主訴に受診した線維形成性乳児星細胞腫の一例

○高寺 侑¹, 青木義紘¹, 本間利生¹, 西村竜哉¹, 久保雄一¹, 荒畑幸絵¹, 小林宏伸¹, 仙田昌義¹, 北澤克彦¹, 本多昭仁¹, 鈴木健也², 大屋 滋², 大江健二³, 鈴木良夫³, 藤井克則⁴
総合病院国保旭中央病院小児科¹, 総合病院国保旭中央病院脳神経外科², 総合病院国保旭中央病院臨床病理科³, 千葉大学大学院医学研究院小児病態学⁴

第 1 日目 ポスター会場 5

17:00~17:30 一般演題 (ポスター) (S344)

筋 1

モデレーター 石山昭彦 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

P-095 Duchenne 型筋ジストロフィー患者における骨強度の経時的変化に関する検討

○糸見世子, 鈴木理恵, 向田壮一, 白石一浩
独立行政法人国立病院機構宇多野病院小児神経科

P-096 Duchenne 型筋ジストロフィーにおける低カルニチン血症の検討

○脇坂晃子, 辻 隆範, 山田晋也, 大野一郎, 中村奈美, 丸箸圭子, 関 秀俊
国立病院機構医王病院小児科

P-097 慢性心不全の急性増悪に対し抗炎症療法を含めた総合的な治療により症状の軽快を得た Duchenne 型筋ジストロフィーの 12 歳男児

○立川雅美子, 堀いくみ, 服部文子, 安藤直樹, 齋藤伸治
名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野

P-098 Examination of respiratory functions at NPPV initiation in patients with Becker muscular dystrophy (ベッカー型筋ジストロフィーにおける非侵襲的陽圧換気療法導入時の呼吸機能の検討)

○Yuko Nakamura¹, Norika Kubota¹, Yasuko Tokita¹, Yoshihiro Maegaki²
Pediatrics, National Hospital Organization Matsue Medical Center, Shimane, Japan¹, The Department of Child Neurology, Tottori University, Tottori, Japan²

P-099 Characteristics of autistic behavior in patients with dystrophinopathies (ジストロフィノパシーにおける自閉症スペクトラムの特徴)

○Haruo Fujino¹, Toshio Saito², Tsuyoshi Matsumura², Saki Shibata¹, Yuko Iwata¹, Harutoshi Fujimura², Osamu Imura¹
Graduate School of Human Sciences, Osaka University, Osaka, Japan¹, Department of Neurology and Child Neurology, National Hospital Organization Toneyama National Hospital, Osaka, Japan²

P-100 Emery-Dreifuss 型筋ジストロフィーにおける多面的診療の重要性

○本島敏乃^{1,2}, 小俣 卓¹, 林由起子³, 田辺雄三¹, 西野一三⁴, 藤井克則^{1,5}
千葉県こども病院神経内科¹, 本島総合病院小児科², 東京医科大学病態生理学³, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部⁴, 千葉大学大学院医学研究院小児病態学⁵

P-101 筋ジストロフィーに対するレスベラトロールの探索的臨床研究: 中間報告

○川村健太郎¹, 福村 忍¹, 二階堂弘輝¹, 舘 延忠¹, 久原 真², 下濱 俊², 小塚直樹³, 久野篤史⁴, 堀尾嘉幸⁴, 堤 裕幸¹
札幌医科大学医学部小児科¹, 札幌医科大学医学部神経内科², 札幌医科大学保健医療学部理学療法学科³, 札幌医科大学医学部薬理学教室⁴

P-102 Severe hypocarnitinemia caused by 3 days treatment with antibiotics containing pivalic acid in FCMD (3 日間のピボキシル基を有する抗菌薬投与により重篤な低カルニチン血症をきたした福山型筋ジストロフィー 6 歳女児例)

○Masanori Ito¹, Mitsumasa Fukuda¹, Yuka Suzuki²
Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, Toon, Ehime, Japan¹, Ehime Rehabilitation Center for Children, Toon, Ehime, Japan²

17:30~18:00 一般演題 (ポスター) (S347)

筋・末梢神経 1

モデレーター 作田亮一 (獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター)

P-103 定期的免疫吸着と人工呼吸療法により QOL を維持しながら高校生活を支援している難治性重症筋無力症全身型の 15 歳女子例

○岸 和子, 美根 潤, 横山桃子, 長谷川有紀, 山口清次

島根大学医学部小児科

P-104 人工呼吸器管理に苦慮した重症筋無力症クリーゼの 1 例

○山崎千波¹, 杉山延喜¹, 池上真理子^{1,2}, 横山淳一¹, 村山義文¹, 松田晋一¹, 宮下好洋¹東海大学医学部専門診療学系小児科学¹, 東海大学医学部八王子病院小児科²

P-105 小児重症筋無力症に対するタクロリムスの有効性の検討

○伊藤 萌¹, 藤原 祐¹, 本井宏尚¹, 渡辺好宏¹, 武下草生子¹, 根津敦夫^{1,2}横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター¹, 横浜療育医療センター²

P-106 ステロイド抵抗性を示した小児眼筋型重症筋無力症における tacrolimus の有効性

○牟田香織¹, 小俣 卓¹, 児玉一男¹, 飯田由紀子¹, 渡辺 淑¹, 本島敏乃^{1,2}, 田邊雄三^{1,3}千葉県こども病院神経科¹, 本島総合病院小児科², そがこどもクリニック³

P-107 球麻痺症状で発症した重症筋無力症の 1 例

○渡邊肇子, 佐藤睦美, 安西里恵, 露崎 悠, 市川和志, 井合瑞江, 山下純正, 後藤知英

神奈川県立こども医療センター神経内科

P-108 小児重症筋無力症における免疫学的プロフィールの解析

○本林光雄¹, 西村貴文², 山内翔子³, 川崎洋一郎¹, 柴 直子¹, 稲葉雄二¹信州大学医学部小児科¹, 独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター中信松本病院小児科²,浅間総合病院小児科³

P-109 小児重症筋無力症研究会における症例検討の状況とフォローアップ調査

○稲葉雄二^{1,2}, 林 正俊^{2,3}, 山下純正^{2,4}, 林 雅晴^{2,5}, 石垣景子^{2,6}, 藤井克則^{2,7}, 野村芳子^{2,8}, 瀬川昌也^{2,8}信州大学医学部小児科¹, 小児重症筋無力症研究会², 市立宇和島病院³, 神奈川県立こども医療センター神経内科⁴, 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野⁵, 東京女子医科大学医学部小児科⁶, 千葉大学大学院医学研究院小児病態学⁷, 瀬川小児神経学クリニック⁸

P-110 Cytomegalovirus の先行感染後に発症した Guillain-Barré 症候群が疑われた 3 歳男児例

○金丸拓蔵¹, 石原正行¹, 細川卓利¹, 大崎康史², 藤枝幹也¹高知大学医学部小児科¹, 高知大学老年病科²

P-111 髄膜刺激徴候を呈した Guillain-Barré 症候群の 1 例

○芦刈友加, 水野賀史, 横井暁子, 小林 悟

名古屋市立西部医療センター小児科

17:00~17:30 一般演題 (ポスター) (S350)

てんかん 1

モデレーター 伊藤 進 (東京女子医科大学医学部小児科学講座)

P-112 スチリペントールが著効した思春期の Dravet 症候群: 2 例の経験

○古賀智子¹, 荒木 敦¹, 金子一成¹, 石井敦士², 廣瀬伸一²関西医科大学小児科¹, 福岡大学医学部小児科²

P-113 Dravet 症候群に対するトピラマートの有効性についての検討

○岩谷祥子^{1,2,4}, 岸本加奈子^{1,4}, 谷河純平^{1,4}, 山崎早苗^{1,4}, 富永康仁^{1,2,4}, 青天目信^{1,4},下野九理子^{1,2,4}, 永井利三郎^{1,3,4}, 大藺恵一^{1,4}大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究科², 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻³, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター⁴

P-114 当院における乳児重症ミオクローニーてんかんの治療経験

○スピヤントケイジ¹, 水野勇司¹, 笹月桃子^{1,2}国立病院機構福岡東医療センター小児科¹, 九州大学病院小児科²

- P-115 母親の体細胞モザイクに由来する SCN1A 遺伝子変異を認めた Dravet 症候群の兄妹例**
 ○山本崇裕^{1,2}, 大西秀典², 折居建治^{2,3}, 笹井英雄², 木村 豪², 川本美奈子², 川本典生², 西村悟子¹, 高橋幸利⁴, 石井敦士⁵, 廣瀬伸一⁵, 加藤善一郎^{2,6}, 深尾敏幸²
 岐阜大学大学院医学系研究科障がい児者医療学¹, 岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学², 岐阜大学医学部附属病院新生児集中治療部³, 静岡てんかん神経医療センター小児科⁴, 福岡大学医学部小児科⁵, 岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科⁶
- P-116 Malignant migrating partial seizures in infancy 2 例における発作時ビデオ脳波所見の検討**
 ○西川愛子, 小国弘量, 伊藤 進, 永田 智
 東京女子医科大学小児科
- P-117 遊走性焦点発作を呈した 4 症例の臨床特性と脳波所見**
 ○岡成和夫, 前田知己, 内山伸一, 関口和人, 山田 博, 宮原弘明, 是松聖悟
 大分大学医学部小児科
- P-118 乳児早期に migrating partial seizures を来した Muenke 症候群の一例**
 ○大久保幸宗¹, 北村太郎², 遠藤若葉¹, 乾 健彦¹, 才津浩智³, 松本直通³, 萩野谷和裕¹
 宮城県拓桃医療療育センター小児科¹, 仙台市立病院小児科², 横浜市立大学医学部遺伝学³
- P-119 KCNT1 変異が同定された乳児悪性焦点移動性部分てんかんの一例**
 ○藤原 祐¹, 本井宏尚¹, 渡辺好宏¹, 武下草生子¹, 森 達夫², 今井克美², 才津浩智³
 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³
- P-120 PCDH19 関連てんかん 6 例の早期臨床・脳波所見の検討**
 ○大谷ゆい^{1,2}, 伊藤 進¹, 西川愛子¹, 坂内優子³, 小国弘量¹, 永田 智¹
 東京女子医科大学小児科¹, 松戸クリニック², 坂内小児科医院³
- P-121 非典型 Aicardi 症候群 2 例の検討**
 ○永井盛博, 桐野友子, 藤原由美, 松岡 舟, 遠藤彰一
 四国こどもとおとなの医療センター小児神経内科

17:30~18:00 一般演題 (ポスター) (S353)
 てんかん 2

- モデレーター 本田涼子 (国立病院機構長崎医療センター)
- P-122 サプレッションバーストを伴うてんかん性脳症の臨床症状の検討**
 ○川島英志¹, 遠山 潤¹, 赤坂紀幸¹, 小林 悠¹, 眞柄慎一¹, 山崎佐和子²
 国立病院機構西新潟中央病院小児神経科¹, 新潟市民病院²
- P-123 Lennox-Gastaut 症候群を含む難治性てんかんに対する Rufinamide の使用経験**
 ○渡邊 優, 熊谷淳之, 安西真衣, 竹中 暁, 葛西真梨子, 寺嶋 宙, 久保田雅也
 国立成育医療研究センター病院神経内科
- P-124 Down 症候群に伴う点頭てんかんの治療開始時期と予後の検討**
 ○飯田由紀子, 小俣 卓, 渡辺 淑, 児玉一男, 牟田香織
 千葉県こども病院神経科
- P-125 ウエスト症候群における ACTH 投与量による長期発達予後の検討**
 ○小一原玲子¹, 熊谷勇治², 平田祐子², 大場温子², 菊池健二郎², 田中 学¹, 南谷幹之², 浜野晋一郎^{1,2}
 埼玉県立小児医療センター保健発達部¹, 埼玉県立小児医療センター神経科²
- P-126 先天性プロテイン C 欠損症に対しドミノ肝移植術後にタクロリムス内服を継続し発作が消失した症候性 West 症候群女児の 1 例**
 ○葛西真梨子¹, 松波昌寿², 吉岡誠一郎³, 熊谷淳之¹, 安西真衣¹, 竹中 暁¹, 渡邊 優¹, 寺嶋 宙¹, 福田晃也², 笠原群生², 久保田雅也¹
 国立成育医療研究センター神経内科¹, 国立成育医療研究センター移植外科², 滋賀医科大学医学部附属病院小児科³
- P-127 当科における West 症候群の後方視的検討**
 ○丸山慎介^{1,2}, 河野嘉文¹
 鹿児島大学病院小児科¹, 鹿児島大学病院てんかんセンター²

- P-128 Vigabatrin efficacy for West syndrome in tuberous sclerosis complex: a report on three cases (Vigabatrin が有効であった結節性硬化症合併 West 症候群 3 例)**
 ○Kengo Moriyama¹, Mio Watanabe¹, Takashi Shiihara¹, Yu Kobayashi², Noriyuki Akasaka², Jun Tohyama², Kenjiro Kikuchi³, Shinichiro Hamano³
 Department of Neurology, Gunma Childrens Medical Center, Gunma, Japan¹, Department of Pediatrics, Epilepsy Center, Nishi-Niigata Chuo National Hospital, Niigata, Japan², Department of Pediatric Neurology, Saitama Childrens Medical Center, Saitama, Japan³
- P-129 West 症候群患者における髄液中 NMDA 型 GluR 抗体：原因疾患・治療との関連**
 ○森 達夫, 高橋幸利, 荒谷菜海, 大星大観, 渡辺陽和, 東本和紀, 山口解冬, 吉富晋作, 那須裕郷, 池田浩子, 大谷英之, 今井克美, 重松秀夫, 井上有史
 静岡てんかん神経医療センターてんかん科
- P-130 当院における Lennox-Gastaut 症候群に対するルフィナミド投与の発作抑制効果**
 ○山崎早苗¹, 岸本加奈子^{1,4}, 谷河純平^{1,4}, 親實理子^{1,4}, 岩谷祥子^{1,2,4}, 富永康仁^{1,2,4}, 青天目信^{1,4}, 下野九理子¹, 酒井規夫¹, 永井利三郎^{1,3,4}, 大藺恵一^{1,4}
 大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究科², 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科³, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター⁴
- P-131 ルフィナミドによる蛋白漏出性胃腸症をきたした Lennox-Gastaut 症候群の 2 症例**
 ○藤田貴子¹, 川谷恵里¹, 友納優子¹, 井原由紀子¹, 金海武志¹, 井手口博¹, 井上貴仁¹, 廣瀬伸一¹, 安元佐和²
 福岡大学医学部小児科¹, 福岡大学医学教育推進講座²

18:00~18:30 一般演題 (ポスター) (S356)
 てんかん 3

- モデレーター 森本昌史 (京都府立医科大学小児科)
- P-132 急性脳症後てんかんの臨床像の検討**
 ○原田聡子¹, 平井 希¹, 白戸由理², 武藤順子¹, 高梨潤一¹, 林 北見²
 東京女子医科大学八千代医療センター小児科¹, 東京女子医科大学八千代医療センター発達小児科²
- P-133 熱性けいれん重積症例の検討～主に高 CO₂ 血症と痙攣持続時間について～**
 ○眞下秀明, 神田祥子, 高橋 寛
 青梅市立総合病院小児科
- P-134 当院における有熱時けいれんに対する脳波施行症例の検討**
 ○池上真理子^{1,2}, 杉山延喜²
 東海大学医学部付属八王子病院小児科¹, 東海大学医学部専門診療学系小児科²
- P-135 髄液中リンパ球マーカーの検討：Rasmussen 症候群，脳炎後てんかん**
 ○東本和紀, 高橋幸利, 荒谷菜海, 森 達夫, 大星大観, 吉富晋作, 渡辺陽和, 山口解冬, 那須裕郷, 大谷英之, 池田浩子, 今井克美, 重松秀夫, 井上有史
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター
- P-136 A case of rapid-progressive bilateral Rasmussen's encephalitis (急速進行性，両側性ラスマッセン脳炎の 1 例)**
 ○Kazuyuki Nakamura¹, Nobuya Takahashi¹, Tadashi Onoda¹, Akiyoshi Kakita², Yukitoshi Takahashi³, Nobuo Honma⁴, Tetsuo Mitsui¹, Mitsuhiro Kato¹
 Department of Pediatrics, Yamagata University Faculty of Medicine, Yamagata, Japan¹, Department of Pathology, Brain Research Institute, University of Niigata, Niigata, Japan², Department of Pediatrics, National Epilepsy Center, Shizuoka Institute of Epilepsy and Neurological Disorders³, Department of Pediatrics, Yonezawa City Hospital, Yonezawa, Japan⁴
- P-137 Impact of frequent generalized motor seizures on systemic parameters in children with epilepsy**
 ○Nobutsune Ishikawa¹, Yoshiyuki Kobayashi^{1,2}, Yuji Fujii^{1,2}
 Department of Pediatrics, Hiroshima University Hospital, Hiroshima, Japan¹, Epilepsy Center, Hiroshima University Hospital, Hiroshima, Japan²
- P-138 てんかん発作コントロールに難渋した Eyelid Myoclonia with Absences の 1 女児例**
 ○北條 彰, 小林 梢, 田角 勝
 昭和大学病院小児科
- P-139 入浴てんかんと診断した 11 歳の重症心身障がい児の 1 例**
 ○橋本修二, 山本寿子, 足立美穂, 新井奈津子, 宮本雄策, 宇田川紀子, 村上浩史, 山本 仁
 聖マリアンナ医科大学小児科

- P-140** 症候性焦点性てんかんの経過中に強制正常化を合併した重症心身障害児の 1 例
○鈴木基正, 青木雄介, 大野敦子, 糸見和也
あいち小児保健医療総合センター神経科
- P-141** 体性感覚により誘発された反射てんかんの 1 例
○岩崎信明, 中山智博, 中山純子, 伊藤達夫, 前田仁美
茨城県立医療大学付属病院小児科

第 2 日目 第 1 会場

9:00~10:00 招待講演 4 (瀬川プログラム) (S119)

Progress in Understanding the Brain in Autism

座長 小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科)

講演 Robert T. Schultz (Psychology & Cognitive Neuroscience Departments of Pediatrics & Psychiatry, University of Pennsylvania Center for Autism Research Children's Hospital of Philadelphia, Pennsylvania, USA)

10:10~12:10 シンポジウム 4 (S133)

発達障害の先端的研究—子どものこころのセンターの取り組み

座長 谷池雅子 (大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学
研究科小児発達学専攻)友田明美 (大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学
研究科小児発達学専攻, 福井大学子どものこころの発達研究センター)

1) 自閉症スペクトラム障害児の脳磁図研究

菊知 充¹, 三邊義雄^{1,2}(金沢大学子どものこころの発達研究センター¹, 金沢大学大学院脳情報病態学²)

2) 自閉症スペクトラム障害の分子イメージング—PET による研究—

鈴木勝昭 (浜松医科大学精神医学講座)

3) 定型発達児の脳発達に関する画像研究

齋藤大輔 (福井大学子どものこころの発達研究センター, 福井大学高エネルギー医学研究センター)

4) 自閉症スペクトラム障害児の感覚特異性

下野九理子 (大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科)

5) 自閉スペクトラム症を対象とした認知機能改善療法の効果: パイロット研究

中里道子¹, 奥田朋子²(千葉大学大学院医学研究科子どものこころの発達研究センター¹, 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・
千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科²)

12:25~13:25 ランチョンセミナー 8: 共催 ジェンザイム・ジャパン株式会社 (S192)

臨床に役立つライソゾーム病の診断と治療

座長 竹島泰弘 (兵庫医科大学小児科学教室)

酒井規夫 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

1) ゴーシェ病の最新知見—診断と治療

濱田悠介 (大阪大学大学院医学系研究科小児科学)

2) 神経筋疾患の診断と治療—小児型ポンペ病などの症例呈示を中心に—

小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経診療部臨床研究推進部)

13:35~14:20 会員総会

14:20~14:35 福山幸夫先生メモリアル追悼記念講演

14:35~14:55 日本小児神経学会優秀論文賞授賞式・ミニ講演

15:00~16:00 教育講演 1 (S120)

ブレイン・マシン・インターフェイス (BMI) が開く新しい神経科学

座長 坂本博昭 (大阪市立総合医療センター小児脳神経外科)

講演 吉峰俊樹 (大阪大学医学部脳神経外科)

16:00~17:00 基調講演 2 (S113)

障がいのある子どもを育む国際協力: 小児神経学のグローバルな連繋をめざして

座長 永井利三郎 (プール学院大学, 大阪大学名誉教授)

講演 中村安秀 (大阪大学大学院人間科学研究科)

19:00~21:00 産科医療補償制度小委員会主催セミナー (S166)
産科医療補償制度の現状と 2015 年制度改定

座長 根津敦夫 (横浜療育医療センター神経小児科)
鈴木保宏 (大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科)

- 1) 産科医療補償制度の現状について
鈴木英明 (公益財団法人日本医療機能評価機構)
- 2) 平成 27 年 1 月制度改定後の補償対象となる脳性麻痺の基準について
岡 明 (東京大学医学部附属病院小児科)
- 3) スムーズな診断書作成への留意点—多職種連携の重要性—
御牧信義 (倉敷成人病センター小児科)

第 2 日目 第 2 会場

7:50~8:50 リフレッシュセミナー 1 (S156)
小児神経科医に必要な遺伝学的検査の解釈

座長 酒井規夫 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)
講演 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

9:00~10:00 教育講演 2 (S121)
オートファジーによる細胞内分解の意義

座長 伏木信次 (京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学)
講演 水島 昇 (東京大学医学系研究科分子生物学)

10:10~12:10 シンポジウム 5 (S136)
オートファジーと小児神経疾患

座長 青天目信 (大阪大学大学院医学系研究科小児科, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター)
水島 昇 (東京大学大学院医学系研究科分子生物学分野)

- 1) WDR45 遺伝子変異によるオートファジー関連神経変性症 SENDA
村松一洋 (群馬大学大学院医学系研究科小児科)
- 2) Vici 症候群, mucopolipidosis type IV, 難治てんかんとオートファジー
林 雅晴 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生)
- 3) 自己食空胞性ミオパチー
西野一三 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部)
- 4) 蛋白質分解システムの強化による球脊髄性筋萎縮症の病態の改善
足立弘明 (産業医科大学医学部神経内科)

12:25~13:25 ランチョンセミナー 9: 共催 ユーシービージャパン株式会社/大塚製薬株式会社 (S193)
てんかん治療の選択 薬かケトンか手術か—小児神経科医の判断—

座長 新島新一 (順天堂大学医学部附属練馬病院小児科)
講演 榎 日出夫 (聖隷浜松病院てんかんセンター)

15:00~16:00 一般演題 (口演) (S261)
発達障害 3

座長 荒木 就 (関西医科大学附属滝井病院小児科)
関あゆみ (北海道大学大学院教育学研究院)

O-115 キッズサポートセンターさかいにおける発達相談・支援事業

○中西真理子^{1,2}, 岩谷祥子², 毛利育子^{1,2}, 谷池雅子^{1,2}
大阪大学大学院連合小児発達学研究所¹, 大阪大学医学部附属病院小児科²

O-116 ADHD 児における前頭葉機能検査遂行中の情動性自律反応の評価

○大山哲男¹, 後藤裕介¹, 加賀佳美¹, 青柳閣郎¹, 石井綾香¹, 金村英秋¹, 杉田完爾¹, 相原正男²
山梨大学医学部小児科¹, 山梨大学大学院医学工学総合研究部²

O-117 レット症候群の全国疫学調査と患者データベースの構築

○鋤柄小百合¹, 花井彩江¹, 松石豊次郎², 青天目信³, 高橋 悟⁴, 谷岡哲次⁵, 池永敏晴⁶, 平山千里⁷, 立森久照⁸, 伊藤雅之¹

国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第二部¹, 久留米大学医学部小児科², 大阪大学医学部小児科³, 旭川医科大学医学部小児科⁴, NPO 法人レット症候群支援機構⁵, 日本レット症候群協会⁶, さくらんぼ会⁷, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所⁸

O-118 発達障害をもつ就学前幼児に対する脳波所見の検討

○伊予田邦昭¹, 三谷 納²

福山市こども発達支援センター¹, 福山市民病院小児科²

O-119 発達障害診療における保護者支援のあり方 —母親 401 名の「子育て」経験の解析—

○小林朋佳^{1,2}, 鈴木浩太¹, 加我牧子^{1,3}, 稲垣真澄¹, 山下裕史朗⁴, 平谷美智夫⁵, 林 隆⁶, 中川栄二⁷, 渡部京太⁸

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害研究部¹, NTT 東日本関東病院小児科², 東京都立東部療育センター³, 久留米大学医学部小児科⁴, 平谷こども発達クリニック⁵, 医療法人テレサ会西川医院発達診療部⁶, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科⁷, 国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科⁸

O-120 学齢期に初めて専門機関を受診した広汎性発達障害児の受診経緯の検討

○宮地泰士, 谷合弘子, 浅井朋子
名古屋市中央療育センター小児科

16:00~17:00 一般演題 (口演) (S263)**発達障害 4**

座長 杉田克生 (千葉大学教育学部基礎医科学)
鈴木周平 (すずきクリニック)

O-121 マウス海馬神経細胞におけるシナプス可視化とライブイメージ実験法の確立

○永田浩一, 森下理香, 岩本郁子, 伊東秀記
愛知県コロニー発達障害研究所神経制御学部

O-122 Match-mismatch 法を用いた“語彙-概念リンク”の発達の検討 その 2

○杉田克生¹, 杉田記代子²
千葉大学教育学部基礎医科学¹, 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科²

O-123 思春期年齢の発達障害児における脳波基礎活動の検討

○野村芳子, 雨宮 馨, 岸本洋子, 小沢愉理, 小沢 浩
社会福祉法人日本心身障害児協会島田療育センターはちおうじ神経小児科

O-124 Pathophysiological basis of developmental disorders associated with Scn1a mutation in rats (SCN1a 遺伝子変異に合併する発達障害の病態解析)

○Iori Ohmori¹, Mamoru Ouchida²
Graduate School and Faculty of Medicine, Ethics Committee, Kyoto University, Kyoto, Japan¹, Department of Molecular Genetics, Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University, Okayama, Japan²

O-125 近赤外線スペクトロスコピーを用いた表情処理過程の評価

○森 健治¹, 伊藤弘道², 東田好広², 宮崎雅仁²
徳島大学医学部子どもの保健・看護学¹, 徳島大学医学部小児科²

O-126 グレリンはレット症候群の症状を改善するか? —レット症候群に対する新規治療開発の検討—

○弓削康太郎¹, 七種朋子¹, 平田留美子¹, 中村祐樹³, 岡村尚昌², 原 宗嗣^{1,2}, 大矢崇志¹, 永光信一郎¹, 山下裕史朗¹, 児島将康³, 伊藤雅之⁴, 松石豊次郎^{1,2}
久留米大学医学部小児科¹, 久留米大学高次脳疾患研究所², 久留米大学分子生命科学研究科³, 国立精神・神経医療研究センター⁴

19:00~21:00 社会活動委員会主催セミナー (S167)**発達障害のある子どもの移行支援**

座長 小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科)
高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科地域保健学講座)

- 1) 移行期の支援—重症心身障害と発達障害に共通する視点
高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科地域保健学講座)

- 2) 発達障害をもつ子どもの移行支援—小児神経科医の立場より
石崎朝世 (公益社団法人発達協会王子クリニック)
- 3) 発達障害のある子どもの移行支援—児童精神科医の視点から—
田中 究 (兵庫県立光風病院精神神経科)
- 4) 発達障害のある人の就労支援
柴田珠里 (社会福祉法人横浜やまびこの里横浜日吉就労支援センター)
- 5) フリーディスカッション
- 6) 今後の課題と展望
小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科)

第 2 日目 第 3 会場

7:50~8:50 リフレッシュセミナー 2: 共催 ヤンセンファーマ株式会社 (S156)
ペアレントトレーニングの基本プラットフォームについて
座長 玉井 浩 (大阪医科大学小児科学教室)
講演 岩坂英巳 (奈良教育大学特別支援教育研究センター)

9:00~10:00 一般演題 (口演) (S265)
脳炎・脳症 4

- 座長 九鬼一郎 (大阪市立総合医療センター小児神経内科)
高橋幸利 (静岡てんかん・神経医療センター)
- O-127 症状の再燃を繰り返した自己免疫性小脳失調症に対し rituximab が有効であった 1 例
○佐藤寛記, 堅田有宇, 鈴木 智, 久保田由紀, 福與なおみ, 小林朋子, 植松 貢, 呉 繁夫
東北大学病院小児科
- O-128 亜急性に精神運動退行が進行し, 抗 VGKC 複合体抗体の関与が考えられた 1 男児例
○上野弘恵¹, 西里ちづる¹, 澤田貴彰¹, 島津智之¹, 水上智之², 石津棟暎³, 松田悠子^{4,5},
佐々木征行⁵, 高橋幸利⁶
国立病院機構熊本再春荘病院小児科¹, 国立病院機構熊本医療センター小児科², くまもと江津湖療
育医療センター³, 中川の郷療育センター小児科⁴, 国立精神神経医療研究センター病院小児神経
科⁵, 国立病院機構静岡てんかん神経医療センター⁶
- O-129 左跛行で発症した, 抗グルタミン酸受容体抗体陽性の限局性脳炎の 1 例
○山本由子¹, 松下浩子¹, 岡野創造¹, 高橋幸利²
京都市立病院小児科¹, 静岡てんかん・神経医療センター²
- O-130 起床困難や登校困難から心身症が疑われたが GluR 抗体陽性であった 3 例
○高見勇一¹, 井上恵理子¹, 高橋幸利²
姫路赤十字病院小児科¹, 静岡てんかん・神経医療センター²
- O-131 ムンブス感染を契機とし cyclophosphamide が著効した抗 NMDA 受容体抗体脳炎と考えられた一例
○渡邊季彦¹, 藤原 祐¹, 本井宏尚¹, 渡辺好宏¹, 武下草生子¹, 高橋幸利²
横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター¹, 国立静岡てんかん神経医療セン
ター小児科²
- O-132 血清・髄液の抗 NMDA 型 GluR 抗体を経時的に追跡した非ヘルペス性急性辺縁系脳炎の 9 か月女児例
○米田堅佑¹, 長村敏生¹, 井上 聡¹, 久保 裕¹, 藤井法子¹, 大前禎毅¹, 高橋幸利²
京都第赤十字病院小児科¹, 国立静岡てんかん・神経医療センター²

10:10~11:00 一般演題 (口演) (S267)
脳炎・脳症 5

- 座長 南 弘一 (和歌山県立医科大学小児科)
森内浩幸 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科小児科)
- O-133 新生児単純ヘルペス脳炎における脳病変の局在: 第 2 報
○城所博之¹, 奥村彰久², 辻 健史³, 久保田哲夫⁴, 安藤直樹⁵, 伊藤祐史¹, 小川千香子¹,
加藤 徹¹, 齋藤伸治⁵, 夏目 淳¹
名古屋大学医学部小児科¹, 愛知医科大学小児科², 岡崎市民病院小児科³, 安城更生病院小児科⁴,
名古屋市立大学医学部小児科⁵

- O-134 Symptoms and MR imaging of human herpesvirus 6 encephalitis after transplantation in children**
(小児における移植後ヒトヘルペスウイルス 6 型脳炎の臨床経過と MRI 所見)
○Kiyoshi Egawa¹, Kousaku Ootsuka¹, Masashi Narugami¹, Toru Takahashi², Tsuyoshi Shimamura², Masahiro Iguchi¹, Hideaki Shiraishi¹
Department of Pediatrics, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan¹, Department of Gastroenterological Surgery, Hokkaido University Graduate School of Medicine, Sapporo, Japan²
- O-135 Central nervous system infections of human parechovirus**
(ヒトパレコウイルス罹患児の中中枢神経病変)
○Etsushi Toyofuku, Anzu Noda
Pediatrics, Saitama Citizens Medical Center, Saitama, Japan
- O-136 Clinical analysis of 7 children with congenital cytomegalovirus infection**
(当院で経験した先天性サイトメガロウイルス感染症 7 例の臨床的検討)
○Yu Ishida, Mika Takeshita, Natsumi Morishita, Shinichiro Morichi, Yasuyuki Morishima, Shingo Oana, Gaku Yamanaka, Tasuku Miyajima, Hisashi Kawashima
Department of Pediatrics, Tokyo Medical University, Tokyo, Japan
- O-137 学童期以降に診断した先天性サイトメガロウイルス感染症の 3 例**
○佐藤仁志¹, 和田 都¹, 岡本宣浩¹, 池野観寿¹, 秋田千里¹, 木村 宏², 中村常之¹, 犀川 太¹
金沢医科大学医学部小児科¹, 名古屋大学大学院医学系研究科ウイルス学²

11:00~12:10 一般演題 (口演) (S268)

脳性麻痺・療育 3

座長 米山 明 (心身障害児総合医療センター)
常石秀市 (医療福祉センターきすな)

- O-138 親子入所 (母子入園) の摂食嚥下に及ぼす影響と経管栄養離脱症例の検討**
○田辺 良, 内田智子, 永沢佳純, 石井光子
千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科
- O-139 脳性麻痺児・者の学齢後期以降のリハビリテーション介入の試みー生活リハ入院について**
○齋藤和代^{1,2,4,5}, 渡邊幸恵², 小池純子^{3,5}, 橋爪紀子³, 稲澤明香³, 半澤直美⁴
横浜市総合リハビリテーションセンター発達神経内科¹, 横浜市戸塚地域療育センター², 横浜市総合リハビリテーションセンターリハビリテーション科³, よこはま港南地域療育センター⁴, 横浜市北部地域療育センター⁵
- O-140 Successful coordination between botulinum toxin and surgical treatments in legs of cerebral palsy**
(脳性麻痺の下肢治療におけるボツリヌス毒素と外科的治療の望ましい連携)
○Atsuo Nezu, Haruhiko Aoyama, Kumiko Karasawa, Yuri Tikumaru, Kaori Kaneko, Makiko Kurosawa, Yuka Masuda, Mitsuko Okuda
Clinic of Child Neurology, Yokohama Residential Care and Medical Centre for Developmentally Disabled Person, Yokohama, Japan
- O-141 神経障害を合併する児の刺激過敏性筋緊張亢進に対するバルプロ酸およびラモトリギンの効果**
○中山智博¹, 前田仁美¹, 多田有美^{1,2}, 伊藤達夫¹, 中山純子¹, 岩崎信明¹
茨城県立医療大学小児科¹, 筑波学園病院小児科²
- O-142 バクロフェン持続髄注後も筋緊張のコントロールに難渋している持続的筋収縮状態の一例**
○香取さやか, 高山留美子, 高橋有美, 渡邊年秀, 續 晶子
北海道立子ども総合医療・療育センター
- O-143 下部脊髄形成不全による歩行障害に対する鼻緒付サンダル型補助具の効果**
○花岡 繁
東京都立北療育医療センター城南分園
- O-144 特発性急性横断性脊髄炎による完全対麻痺症例に対する末梢神経刺激療法**
○沢石由記夫, 豊野美幸, 小熊玲奈, 渡部泰弘
秋田県立医療療育センター小児科

12:25~13:25 ランチョンセミナー 10: 共催 グラクソ・スミスクライン株式会社 (S193)

てんかん診療の最新動向〜てんかんネットワークと薬物治療について〜

座長 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)
講演 白石秀明 (北海道大学病院小児科)

15:00~17:00 シンポジウム 6 (S139)

急性脳炎・急性脳症の理解を深めるために

座長 塩見正司 (社)石井記念愛染園附属愛染橋病院小児科)

佐久間啓 (公益財団法人東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野)

- 1) 急性脳炎・脳症の診断に役立つ抗体検査
田中恵子 (金沢医科大学総合医学研究所生命科学研究領域, 金沢医科大学神経内科)
- 2) 抗 NMDA 受容体脳炎における診断と治療上の留意点
飯塚高浩 (北里大学医学部神経内科)
- 3) ヘルペスウイルスによる脳炎
木村 宏 (名古屋大学大学院医学系研究科ウイルス学)
- 4) 急性脳炎・脳症とサイトカイン
佐久間啓 (公益財団法人東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野)
- 5) 持続脳波・脳圧モニタリングと脳画像所見からみた急性脳炎・急性脳症
九鬼一郎¹, 塩見正司², 岡崎 伸¹, 川脇 壽¹, 富和清隆¹, 天羽清子³, 外川正生³
(大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 愛染橋病院小児科², 大阪市立総合医療センター小児救急科³)

19:00~21:00 医療安全委員会主催セミナー (S169)

「MRI 検査時の鎮静に関する共同提言」からの発展と課題

座長 山内秀雄 (埼玉医科大学医学部小児科学)

是松聖悟 (大分大学医学部小児科学)

- 1) MRI 検査のための鎮静に関する実態調査
三牧正和^{1,2}, 山中 岳^{2,3}, 是松聖悟^{2,4}, 山内秀雄^{2,5}
(帝京大学小児科¹, 日本小児神経学会医療安全委員会², 東京医科大学小児科³, 大分大学医学部地域医療・小児科学分野⁴, 埼玉医科大学小児科⁵)
- 2) MRI 共同提言の実現に向けて - Sedation Essence in Children Under Regulated Environment コース -
山中 岳^{1,2,3}, 井上信明^{2,4}, 久我修二^{2,5}, 草川 功^{2,6}, 阪井裕一^{2,7}, 山内秀雄^{3,8}
(東京医科大学小児科¹, 日本小児科学会医療安全委員会², 日本小児神経学会医療安全委員会³, 東京都立小児総合医療センター⁴, 慈恵会西田病院⁵, 聖路加国際病院⁶, 国立成育医療研究センター⁷, 埼玉医科大学小児科⁸)
- 3) 「生理検査時の鎮静に関する指針」提案にむけての事前アンケート調査
宮本雄策¹, 村松一洋² (川崎市立多摩病院小児科¹, 群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野²)
- 4) 法曹界の立場からみた小児の鎮静でやってはいけないこと
中下裕子 (コスモス法律事務所, 弁護士)

第 2 日目 第 4 会場

9:00~10:00 一般演題 (口演) (S271)

染色体・遺伝子 1

座長 下澤伸行 (岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究分野)

新井田要 (金沢医科大学総合医学研究所先端医療研究領域遺伝子疾患研究分野)

O-145 先天性大脳白質形成不全症の遺伝子解析

○植松 貢¹, 市野井那津子¹, 佐藤 亮¹, 植松有里佳¹, 菊池敦生¹, 福與なおみ¹, 萩野谷和裕², 呉 繁夫¹

東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野¹, 拓桃医療療育センター小児神経科²

O-146 マイクロアレイ染色体検査による 1p36 欠失症候群 50 例の遺伝型表現型相関解析

○島田姿野¹, 下島圭子², 平澤恭子¹, 永田 智¹, 山本俊至²

東京女子医科大学小児科¹, 東京女子医科大学統合医科学研究所²

O-147 我が国の傍シルビウス裂症候群の臨床的特徴

○鳥巢浩幸^{1,2}, 小倉加恵子³, 荒井 洋³, 白石秀明⁴, 遠山 潤⁵, 川村 孝⁶, 原 寿郎¹, 加藤光広⁷
九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野¹, 福岡歯科大学総合医学講座小児科², 森ノ宮病院小児神経科³, 北海道大学大学院医学研究院生殖・発達医学講座小児発達医学⁴, 国立病院機構西新潟中央病院小児科⁵, 京都大学健康科学センター⁶, 山形大学医学部小児科⁷

O-148 遺伝性小児神経領域疾患診断への臨床エクソームの導入

○羽田野ちひろ¹, 横井貴之¹, 渡邊肇子², 露崎 悠², 新保裕子³, 榎本友美³, 成戸卓也⁴, 大橋育子¹, 黒田友紀子¹, 後藤知英², 黒澤健司^{1,3}

神奈川県立こども医療センター遺伝科¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科², 神奈川県立こども医療センター臨床研究所³, 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部⁴

O-149 鳥取大学における出生前診断への対応について

○足立香織¹, 難波栄二^{1,2,3}

鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子探索分野¹, 鳥取大学医学部附属病院遺伝子診療科², 鳥取大学医学部附属病院次世代高度医療推進センター³

O-150 ゲノム構造異常によって発症した自閉症・発達障害の疾患特異的 iPS 細胞を用いた病態解明と治療法開発

○山本俊至¹, 下島圭子^{1,2}, 金子博之¹, 岡本伸彦³, 齋藤 潤⁴, 北畠康司⁵, 永田浩一⁶, 矢田俊彦⁷, 小坂 仁⁸, 山形崇倫⁸

東京女子医科大学統合医科学研究所¹, 科学技術振興機構さきがけ², 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科³, 京都大学 iPS 細胞研究所⁴, 大阪大学小児科学⁵, 愛知県コロンイ発達障害研究所神経制御学部⁶, 自治医科大学統合生理学部門⁷, 自治医科大学小児科⁸

10:10~11:10 一般演題 (口演) (S273)
染色体・遺伝子 2

座長 小崎里華 (国立成育医療研究センター遺伝診療科)
 福與なおみ (東北大学小児科)

O-151 脳回形成異常と頭囲拡大を示した, CBL 遺伝子症の男児例

○谷口紫野¹, 瀬戸俊之¹, 山下加奈子¹, 保科隆男¹, 服部妙香¹, 佐久間悟¹, 新宅治夫¹, 鈴木敏史^{2,3}, 鶴崎美徳², 松本直道²

大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学², 順天堂大学産婦人科³

O-152 A family complicated lower limb muscle atrophy and brain malformation with novel DYNC1H1 mutation (DYNC1H1 遺伝子に新規変異を同定した大脳皮質形成異常と両下肢近位筋優位の筋萎縮を認める家族例)

○Tomoko Kobayashi^{1,2}, Kazuhiro Haginoya^{2,3}, Mitsugu Uematsu², Tojo Nakayama², Naomi Fukuyo², Yuko Sato², Yuki Kubota², Satoko Miyatake⁴, Hiroto Saito⁴, Naomichi Matsumoto⁴, Shigeo Kure^{1,2}

Division of Genomic Medicine Support and Genetic Counseling, Department of Education and Training, Tohoku Medical Megabank Organization, Tohoku University, Sendai, Japan¹, Department of Pediatrics, Tohoku University School of Medicine, Sendai, Japan², Department of Pediatric Neurology, Takuto Rehabilitation Center for Children, Sendai, Japan³, Department of Human Genetics, Graduate School of Medicine, Yokohama City University, Yokohama, Japan⁴

O-153 低身長, 発達遅滞から診断に至った Cockayne 症候群の姉弟例

○松田夢子¹, 石井雅宏¹, 下野昌幸¹, 福田智文¹, 千手絢子¹, 高野志保¹, 塩田直樹², 楠原浩一¹

産業医科大学医学部小児科¹, 宇部興産株式会社健康管理センター²

O-154 急激退行を来した Down 症候群の 14 歳男児

○上田理登¹, 斎藤義朗¹, 玉崎章子¹, 大野光洋¹, 近藤達郎², 横山勝利³, 佐竹隆宏³, 高橋幸利⁴, 前垣義弘¹

鳥取大学医学部脳神経小児科¹, みさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家², 鳥取大学医学部精神科³, 静岡てんかん・神経医療センター⁴

O-155 難聴を呈した 2q24.1q24.3 欠失の 1 例

○小野浩明¹, 黒澤健司²

県立広島病院小児科¹, 神奈川県立こども医療センター遺伝科²

O-156 頸髄症を合併した Coffin-Lowry 症候群の 2 例

○大萱俊介, 倉橋直子, 梅村紋子, 山田桂太郎, 丸山幸一

愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科

11:10~12:10 一般演題 (English Session) (S208)

English Session 3

座長 岡本伸彦 (大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科)
田中あけみ (大阪市立大学小児科)

E-012 Clinical features of 3 cases with 1q43q44 microdeletion syndrome

○Erika Hiwatari¹, Kenjiro Kikuchi^{1,3}, Yuko Hirata^{1,3}, Atsuko Oba¹, Yuji Kumagai¹, Reiko Koichihara²,
Manabu Tanaka², Motoyuki Minamitani¹, Shin-ichiro Hamano^{1,2}

Division of Neurology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan¹, Department for Child Health
and Human Development, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan², Department of Pediatrics,
Jikei University School of Medicine, Tokyo, Japan³

E-013 Cytogenetic and clinical characterization of 4 patients with chromosome 15q duplication

○Mieko Yoshioka¹, Takeshi Yoshida², Azusa Maruyama³, Hiroaki Nagase³

Department of Pediatric Neurology, Kobe City Pediatric and General Rehabilitation Center for the
Challenged, Kobe, Japan¹, Department of Pediatrics, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe,
Japan², Department of Neurology, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Kobe, Japan³

E-014 3p Interstitial deletion including PRICKLE2 in identical twins with autistic features

○Akihisa Okumura^{1,2}, Toshiyuki Yamamoto³, Masakazu Miyajima⁴, Keiko Shimojima³, Satoshi Kondo⁴,
Shinpei Abe², Mitsuru Ikeno², Hirokazu Kurahashi¹, Michihiko Takasu¹, Toshiaki Shimizu²

Department of Pediatrics, Aichi Medical University, Nagakute, Japan¹, Department of Pediatrics, Juntendo
University Faculty of Medicine, Tokyo, Japan², Tokyo Womens' Medical University Institute for Integrated
Medical Sciences, Tokyo, Japan³, Department of Neurosurgery, Juntendo University Faculty of Medicine,
Tokyo, Japan⁴

E-015 A novel TUBB3 mutation presenting with focal autonomic neuropathy

○Shinobu Fukumura¹, Kentaro Kawamura¹, Koki Nikaido¹, Hiroyuki Tsutsumi¹, Toshihide Watanabe²,
Akiko Tsuzuki³, Mitsuhiro Kato⁴

The Department of Pediatrics, Sapporo Medical University School of Medicine, Sapporo, Japan¹, The
Department of Child Neurology, Hokkaido Medical Center for Child Health and Rehabilitation, Sapporo,
Japan², The Department of Rehabilitation, Hokkaido Medical Center for Child Health and Rehabilitation,
Sapporo, Japan³, The Department of Pediatrics, Yamagata University, Yamagata, Japan⁴

E-016 Basal ganglia aplasia in a patient with ZNF335 gene mutations : the second pedigree in the world

○Rieko Sato^{1,5}, Jun-ichi Takanashi², Mitsuhiro Kato³, Hiroto Saito⁴, Osamu Komiyama^{1,5},
Takao Takahashi⁵

Department of Pediatrics, National Tokyo Medical Center, Tokyo, Japan¹, Department of Pediatrics, Tokyo
Women's Medical University Yachiyo Medical Center, Chiba, Japan², Department of Pediatrics, Yamagata
University Faculty of Medicine, Yamagata, Japan³, Department of Human Genetics, Yokohama City
University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan⁴, Department of Pediatrics, Keio University
School of Medicine, Tokyo, Japan⁵

E-017 Natural history of Rett syndrome

○Yoshiko Nomura, Kazue Kimura, Yuri Nagao, Kei Hachimori, Masaya Segawa
Segawa Neurological Clinic for Children, Tokyo, Japan

12:25~13:25 ランチョンセミナー 11 : 共催 アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社・(S194)

ニーマン・ピック病 C 型 早期診断のポイントー主要な症状とスクリーニング検査のすすめー

座長 大野耕策 (独立行政法人労働者健康福祉機構山陰労災病院)

講演 衛藤義勝 (財団法人脳神経疾患研究所先端医療研究センター/遺伝病治療研究所, 東京
慈恵会医科大学)

15:00~16:00 一般演題 (English Session) (S210)

English Session 4

座長 軍司敦子 (横浜国立大学教育人間科学部)
高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

- E-018 Gaze direction modulates the neural activity in the right prefrontal region during inhibitory task**
○Takahiro Ikeda^{1,2}, Masahiro Hirai³, Yukifumi Monden², Masako Nagashima², Tsutomu Mizutani³,
Hideo Shimoizumi¹, Hitoshi Osaka², Takanori Yamagata², Eiju Watanabe⁴
Nasu Institute for Developmental Disabilities, International University of Health and Welfare Rehabilitation Center, Tochigi, Japan¹, Department of pediatrics, Jichi medical university, Tochigi, Japan², Functional Brain Science laboratory, Center for Development of Advanced Medical Technology, Jichi Medical University, Tochigi, Japan³, Department of Neurosurgery, Jichi medical university, Tochigi, Japan⁴
- E-019 fNIRS-based assessment of MPH effect in drug-naïve ADHD : a double-blind, placebo-controlled study**
○Masako Nagashima¹, Yukifumi Monden¹, Ippeita Dan², Tutomu Mizutani³, Takahiro Ikeda¹,
Hideo Shimoizumi⁴, Eijyu Watanabe⁵, Takanori Yamagata¹
Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan¹, Applied Cognitive Neuroscience Laboratory, Faculty of Science and Technology, Chuo University, Tokyo, Japan², Jichi Medical University, Functional Brain Science Laboratory, Shimotsuke, Japan³, Rehabilitation Center, International University of Health and Welfare, Ohtawara, Japan⁴, Department of Neurosurgery, Jichi Medical University, Shimotsuke, Japan⁵
- E-020 Low striatal activity during reward perception caused by childhood adversity**
○Shinichiro Takiguchi¹, Takashi X. Fujisawa², Sakae Mizushima³, Daisuke N. Saito^{2,4}, Hirokazu Kumazaki²,
Michiko Koizumi², Minyoung Jung³, Koji Shimada^{2,4}, Yuko Okamoto^{2,5}, Hirotaka Kosaka^{2,5},
Akemi Tomoda²
Department of Child and Adolescent Psychological Medicine, University of Fukui Hospital, Fukui, Japan¹, Research Center for Child Mental Development, University of Fukui, Fukui, Japan², United Graduate School of Child Development, Osaka University, Kanazawa University, Hamamatsu University School of Medicine, Chiba University, and University of Fukui, Fukui, Japan³, Biomedical Imaging Research Center, University of Fukui, Fukui, Japan⁴, Department of Neuropsychiatry, Faculty of Medical Sciences, University of Fukui, Fukui, Japan⁵
- E-021 A new algorithm of volumetry for the neonatal brain**
○Masafumi Sanefuji^{1,2}, Hirosuke Inoue², Fumio Yamashita³, Masayuki Ochiai², Takeshi Kusuda²,
Yasunari Sakai², Yoshito Ishizaki², Sooyoung Lee², Michiko Torio², Toshiro Hara²
Research Center for Environment and Developmental Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan¹, Department of Pediatrics, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan², Division of Ultrahigh Field MRI, Institute for Biomedical Sciences, Iwate Medical University, Morioka, Japan³
- E-022 Dynamic statistical parametric mapping (dSPM) for bottom of sulcus focal cortical dysplasia (BOSD)**
○Midori Nakajima, Ayako Oshi, Hiroshi Otsubo
Division of Neurology, The Hospital for Sick Children, Toronto, Ontario, Canada
- E-023 Subcortical oligodendroglia-like cells wiring multiple lobe epileptogenic zones in children**
○Satoru Sakuma^{1,2}, Kazuo Okanari¹, Midori Nakajima¹, Ayako Ochi¹, Hiroshi Otsubo¹
The Hospital for Sick Children, Toronto, Canada¹, Department of Pediatrics, Osaka City University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan²

16:00~17:00 一般演題 (English Session) (S212)

English Session 5

座長 佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院)
新島新一 (順天堂大学医学部附属練馬病院小児科)

- E-024 Genotype-phenotype correlations in Japanese patients with alternating hemiplegia of childhood**
○Masayuki Sasaki¹, Atsushi Ishii², Yoshiaki Saito^{1,3}, Shinichi Hirose²
Department of Child Neurology, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan¹, Department of Pediatrics, Fukuoka University School of Medicine, Fukuoka, Japan², Division of Child Neurology, Tottori University School of Medicine, Yonago, Japan³

E-025 Nationwide analysis of epidemiology of holoprosencephaly in Japan

○Yuichi Abe¹, Kaori Sassa¹, Ryuichiro Araki², Masanori Tamura³, Hisanori Sobajima³, Tetsuya Kunikata¹, Akira Ohtake¹, Hideo Yamanouchi¹

Department of Pediatrics, Saitama Medical University, Saitama, Japan¹, Community Health Science Center, Saitama Medical University, Saitama, Japan², Division of Neonatal Medicine, Center for Maternal, Fetal and Neonatal Medicine, Saitama Medical Center, Saitama Medical University, Saitama, Japan³

E-026 Pre-school developmental-behavioral screening and support at 5-year-old in Taketa, Oita

○Seigo Korematsu, Tomoyuki Takano, Tatsuro Izumi

Department of Pediatrics, Oita University Faculty of Medicine, Oita, Japan

E-027 Simulation-based training in determination of brain death for organ donation in children

○Takashi Araki¹, Toshio Osamura², Hiroyuki Yokota¹

Department of Emergency and Critical Care Medicine, Nippon Medical School Hospital, Tokyo, Japan¹, The Exploratory Committee for Brain Death Determination and the Related Issues²

E-028 New molding helmet therapy criteria in Asian infants positional head deformity

○Yasuo Aihara, Kana Komatsu, Yoshikazu Okada

The Department of Neurosurgery, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan

E-029 Usefulness of the CBCL to evaluate emotional and behavioral problems in Indonesian ASD children

○Sri Hartini, Sunartini Hapsara, Siti E. Herini, Satoshi Takada

Graduate School of Health Sciences, Kobe University, Japan¹, School of Nursing, Faculty of Medicine, Gadjah Mada University, Yogyakarta, Indonesia², Faculty of Medicine, Gadjah Mada University, Yogyakarta, Indonesia³

19:00~20:00 **イブニングセミナー：共催 協和発酵キリン株式会社** (S196)

小児・思春期の特発性てんかんの治療

座長 大澤真木子 (東京女子医科大学)

1) 特発性部分てんかんの治療

金村英秋 (山梨大学医学部小児科)

2) 特発性全般性てんかんの治療

加藤竹雄 (京都大学大学院医学研究科発達小児科学教室)

第 2 日目 第 5 会場

8:20~10:00 **共同研究支援委員会主催セミナー** (S162)

座長 森本昌史 (京都府立医科大学小児科)

萩野谷和裕 (宮城県拓桃医療療育センター小児科)

第一部 申請課題発表「日本小児神経学会が支援する共同研究」

1) 小児 Guillain-Barré 症候群, Miller-Fisher 症候群, Bickerstaff 型脳幹脳炎の診断・治療・疫学に関する包括的研究

藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

2) 先天性中枢性低換気症候群 (CCHS) の臨床像・発達予後についての疫学調査

緒方朋実¹, 村松一洋¹, 苛原 香³, 小沢 浩², 荒川浩一¹

(群馬大学大学院医学系研究科小児科¹, 島田療育センターはちおうじ神経小児科², 大阪大学大学院医学系研究科小児科³)

3) 小児期発症脊髄性筋萎縮症に対するバルプロ酸ナトリウム多施設共同医師主導治験

斎藤加代子¹, 荒川玲子¹, 齊藤利雄², 西尾久英³

(東京女子医科大学附属遺伝子医療センター¹, 国立病院機構刀根山病院², 神戸大学大学院医学研究科地域社会医学・健康科学講座疫学分野³)

第二部 エキスパートに聞く「小児重症筋無力症の治療」

1) 小児重症筋無力症

野村芳子 (野村芳子小児神経学コンサルティング)

2) 小児重症筋無力症の治療——眼筋型と全身型の病態及び治療

林 正俊 (市立宇和島病院小児科)

3) 小児期発症重症筋無力症の治療各論

石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)

10:10~11:10 一般演題 (口演) (S275)

筋・末梢神経 1

座長 大谷宜伸 (熊本市子ども発達支援センター)

西本幸弘 (国立病院機構和歌山病院小児科)

O-157 自己免疫性小児期発症重症筋無力症 (小児 MG) と先天性筋無力症候群 (CMS) について

○長尾ゆり, 野村芳子, 木村一恵, 八森 啓, 瀬川昌也

瀬川小児神経学クリニック

O-158 重症筋無力症 4 例に対するタクロリムスの使用経験

○吉田 登¹, 中澤友幸², 池野 充¹, 安部信平¹, 新島新一³, 清水俊明¹順天堂大学医学部小児科¹, 順天堂大学医学部附属浦安病院小児科², 順天堂大学医学部附属練馬病院小児科³

O-159 重症筋無力症における静注免疫グロブリン療法の有効性

○大場温子¹, 浜野晋一郎^{1,2}, 平田佑子¹, 熊谷勇治¹, 菊池健二郎¹, 田中 学², 南谷幹之¹, 小一原玲子²埼玉県立小児医療センター神経科¹, 埼玉県立小児医療センター保健発達部²

O-160 Prompt analgesic effects of prednisolone on radicular pain in a patient with Guillain-Barré syndrome (神経痛に対しプレドニゾロンが著効した Guillain-Barré 症候群の 1 例)

○Madoka Kajimoto¹, Michiaki Koga², Hiroko Narumi¹, Hirofumi Inoue¹, Takeshi Matsushige¹, Shouichi Ohga¹Department of Pediatrics, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan¹, Department of Neurology and Clinical Neuroscience, Yamaguchi University Graduate School of Medicine, Ube, Japan²

O-161 インフルエンザウイルス感染に伴い急性両側線条体壊死およびギラン・バレー症候群を発症した女児例

○岩田 啓, 梶 敏彦, 佐藤英子, 梅原真帆, 岡田麻理, 恩田恵子, 今井雅子, 鈴木奈都子, 下田益弘, 大柴晃洋

武蔵野赤十字病院小児科

O-162 ミコフェノール酸モフェチルが有効であった小児期発症 CIDP の一例

○柳原恵子, 利川寛実, 木水友一, 木村貞美, 池田 妙, 最上友紀子, 鈴木保宏

大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科

11:10~12:10 一般演題 (口演) (S277)

筋・末梢神経 2

座長 下野昌幸 (産業医科大学小児科)

永光信一郎 (久留米大学小児科)

O-163 PRPS1 遺伝子の新規変異を認めた Arts 症候群の一家系

○丸山幸一¹, 大萱俊介¹, 倉橋直子¹, 梅村紋子¹, 山田桂太郎¹, 橋口昭大², 高嶋 博²愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科¹, 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経内科老年病学講座²

O-164 GAN 遺伝子のヘテロ接合変異が同定された巨大軸索ニューロパチーの女児例

○井上貴仁^{1,2}, 佐々木聡子², 北野陽子², 林 仁美², 中村紀子², 吉村和子¹, 橋口昭大³, 高嶋 博³, 安元佐和⁴, 廣瀬伸一², 小川 厚²福岡大学医学部小児科¹, 福岡大学筑紫病院小児科², 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経内科老年病学³, 福岡大学医学部医学教育推進講座⁴

O-165 股関節脱臼を契機に遺伝性運動感覚性ニューロパチーと診断した一例

○老谷嘉樹¹, 鈴木恵子¹, 多田春香¹, 新井麻子¹, 上田 哲¹, 梅津亮二¹, 齋藤加代子², 杉原茂孝¹東京女子医科大学東医療センター小児科¹, 東京女子医科大学遺伝子医療センター²

O-166 血清抗ガラクトセレブロシド IgM 抗体が陽性であった左動眼神経麻痺の一例

○松岡剛司, 福里勇人, 比屋根真彦, 大府正治

沖縄県立南部医療センターこども医療センター小児神経科

O-167 血清抗 GM2-IgM 抗体が陽性であった両側顔面神経麻痺の一例

○福里勇人, 松岡剛司, 比屋根真彦, 大府正治

沖縄県立南部医療センターこども医療センター小児神経科

O-168 小児神経筋疾患における表面筋電図定量解析 (Clustering Index 法の導入と有用性の検討)

○石山昭彦¹, 東原真奈², 園生雅弘³, 長島 優⁴, 上杉春雄⁵, 森まどか⁶, 村田美穂⁶, 村山繁雄², 小牧宏文¹, 佐々木征行¹

国立精神神経医療研究センター病院小児神経科¹, 東京都健康長寿医療センター神経内科², 帝京大学医学部神経内科³, 東京大学医学部神経内科⁴, 札幌麻生脳神経外科病院神経内科⁵, 国立精神神経医療研究センター病院神経内科⁶

15:00~15:40 一般演題 (口演) (S279)**神経変性疾患**

座長 小坂 仁 (自治医科大学)

O-169 β -propeller protein-associated neurodegeneration (BPAN) の 1 女児例

○高野亨子^{1,2}, 柴 直子³, 本林光雄³, 稲葉雄二³, 福嶋義光^{1,2}

信州大学医学部遺伝医学・予防医学¹, 信州大学医学部附属病院遺伝子診療部², 信州大学医学部小児科³

O-170 磁化率強調画像で早期に病変を検出し得た β -propeller protein-associated neurodegeneration (BPAN) の同胞例

○露崎 悠¹, 高野亨子², 佐藤睦美¹, 渡邊肇子¹, 市川和志¹, 井合瑞江¹, 山下純正¹, 後藤知英¹, 相田典子³, 小坂 仁⁴, 中島光子⁵, 才津浩智⁵, 松本直通⁵

神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 信州大学医学部遺伝医学・予防医学講座², 神奈川県立こども医療センター放射線科³, 自治医科大学小児科学講座⁴, 横浜市立大学医学部遺伝学⁵

O-171 著明なレボドパ誘発性ジスキネジアを示した β -propeller protein-associated neurodegeneration 成人例

○早川 格^{1,2}, 熊田聡子¹, 吉田恵美^{1,3}, 内野俊平¹, 佐藤敦志¹, 白井育子¹, 八谷靖夫¹, 栗原栄二¹, 中田安浩⁴

東京都立神経病院神経小児科¹, 東京都立小児総合医療センター総合診療科², 聖ヨゼフ医療福祉センター小児科³, 東京都立神経病院神経放射線科⁴

O-172 既存薬ドラッグ・リポジショニングによる Pelizaeus-Merzbacher 病の治療候補薬の探索

○井上 健¹, マンガリイプリアンティ¹, 西澤絢子¹, 李 コウ¹, 沼田有里佳¹, 中村祥子¹, 守村敏史¹, 佐谷秀行², 後藤雄一¹

国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第 2 部¹, 慶應義塾大学医学部先端医科学研究所²

15:40~16:40 一般演題 (口演) (S280)**染色体・遺伝子 3**

座長 遠山 潤 (国立病院機構西新潟中央病院)

和田敬仁 (京都大学大学院医学研究科医療倫理・遺伝医療学)

O-173 Decreased tonic inhibition in the cerebellum causes ataxia in a model mice of Angelman syndrome (小脳 GABA 作動性持続抑制の低下がアンジェルマン症候群における運動障害の原因となる)

○Kiyoshi Egawa¹, Shinji Saitoh², Hideaki Shiraishi¹, Atsuo Fukuda³

Department of Pediatrics, Hokkaido University Hospital, Sapporo, Japan¹, Department of Neonatology and Pediatrics, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Nagoya, Japan², Department of Neurophysiology, Hamamatsu University School of Medicine, Hamamatsu, Japan³

O-174 Angelman 症候群原因遺伝子 UBE3A トランスジェニックマウスの解析

○木住野達也¹, 齋藤伸治²

長崎大学先端生命科学支援センターゲノム機能解析分野¹, 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野²

O-175 MECP2 遺伝子の特定の変異は発達遅滞, 失調, 脳波異常を特徴とする Angelman 症候群様の表現型の原因となる

○倉持 由¹, 武内俊樹^{1,2}, 石崎朝世³, 小崎健次郎², 高橋孝雄¹

慶應義塾大学医学部小児科¹, 慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター², 公益社団法人発達協会王子クリニック³

O-176 乳児期発症のてんかん児に見いだされた de novo TRIM8 変異とその遺伝的修飾因子

○酒井康成¹, 赤峰 哲¹, 實藤雅文¹, 鳥尾倫子¹, 石崎義人¹, 才津浩智², 鳥巢浩幸³, 松本直通², 原 寿郎¹

九州大学病院小児科¹, 横浜市立大学医学研究科遺伝学², 福岡歯科大学小児科³

O-177 SCN1A 遺伝子異常を認めた発作性失調症 2 型に欠神てんかんを合併した男児

○富田桂子¹, 村松一洋¹, 澤浦法子¹, 荒川浩一¹, 石井敦士², 廣瀬伸一²
群馬大学医学部附属病院小児科¹, 福岡大学小児科²

O-178 GNAO1 遺伝子変異を認めた精神運動発達遅延と舞踏アトローゼを呈する 1 例

○坂本沙織¹, 門田行史¹, 深井綾子², 三宅紀子², 齊藤 洋¹, 小坂 仁¹, 長嶋雅子¹, 松本直通²,
山形崇倫¹
自治医科大学小児科¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学²

19:00~21:00 東日本大震災支援委員会主催セミナー (S171)**震災後の子どもの状況とこれからの課題**

座長 田中総一郎 (東北大学医学部小児科)

亀井 淳 (岩手医科大学医学部小児科学講座)

1) 被災地での医療活動の経過と課題

村岡正朗 (村岡外科クリニック)

2) 被災 3 県の小児医療の被災と復興

田中総一郎, 呉 繁夫 (東北大学医学部小児科)

3) 療育の場から見る福島県の子どもの状況

森田浩之 (福島県総合療育センター小児科)

4) 福島県での発達支援の取り組みの経験

梶屋二郎¹, 生島 浩¹, 内山登紀夫¹, 黒田美保¹, 中村志寿佳¹, 野村昂樹¹, 辻井正次²
(福島大学子どものメンタルヘルス支援事業推進室¹, 浜松医科大学²)

第 2 日目 第 6 会場**9:00~10:00 一般演題 (口演) (S282)****てんかん 4**

座長 川脇 壽 (大阪市立総合医療センター)

須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

O-179 兄弟例の Dravet 症候群における長期予後の比較検討

○前田裕史, 瑞木 匡, 木戸脇智志, 山下哲史, 千代延友裕, 森本昌史
京都府立医科大学医学部小児科

O-180 左上肢優位の運動障害を生じた一例

○畑中マリ, 島川修一, 野村昇平, 福井美保, 玉井 浩
大阪医科大学附属病院小児科

O-181 持続的な振戦, 動作性ミオクローヌス, てんかんと知的障害を示す, 新規疾患と考えられる女性例

○小林 瑞, 宮内彰彦, 小坂 仁, 山形崇倫
自治医科大学小児科

O-182 大脳形成異常を伴った neck myoclonia with absence seizures の 1 例

○澤井康子, 中川栄二, 石山昭彦, 竹下絵里, 本橋裕子, 齋藤貴志, 小牧宏文, 須貝研司, 佐々木征行
国立精神神経医療研究センター病院小児神経科

O-183 全エクソーム解析によって NHLRC1 遺伝子変異が明らかとなった Lafora 病の姉妹例

○荒谷菜海¹, 高橋幸利¹, 那須裕郷¹, 吉富晋作¹, 東本和紀¹, 森 達夫¹, 山口解冬¹, 大谷英之¹,
池田浩子¹, 今井克美¹, 重松秀夫¹, 井上有史¹, 石井雅宏², 下野昌幸², 加藤光広³
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター¹, 産業医科大学小児科², 山形大学医学部小児科³

O-184 新生児潜因性局在関連性てんかんと考えられる 1 例

○田村義輝¹, 松本 浩¹, 座波清誉¹, 中村康子¹, 澤井康子², 須貝研司²
防衛医科大学校病院小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター²

10:10~11:10 一般演題 (口演) (S284)
てんかん 5

座長 島川修一 (大阪医科大学附属病院小児科)
若井周治 (中の島診療所小児科・神経内科)

- O-185 院外発生の有熱けいれん重積の原因疾患とけいれん持続時間に関する検討**
○早川 格¹, 榊原裕史¹, 幡谷浩史¹, 寺川敏郎¹, 井上信明², 三山佐保子^{1,3}
東京都立小児総合医療センター総合診療科¹, 東京都立小児総合医療センター救急・集中治療部救急救命科², 東京都立小児総合医療センター神経内科³
- O-186 てんかんに関する特別支援学校教員の意識調査**
○成田有里¹, 浜野晋一郎², 菊池健二郎², 黒田 舞¹, 平野大志³
埼玉県立小児医療センター保健発達部心理¹, 埼玉県立小児医療センター神経科², 東京慈恵会医科大学小児科学講座³
- O-187 ADHD Rating Scale と DN-CAS によるてんかん症例の注意機能について**
○柏木 充¹, 田辺卓也², 大場千鶴¹, 吉川聡介³, 宮本良平⁴, 島川修一⁵, 東川幸嗣⁶, 若宮英司⁷, 玉井 浩³
市立ひらかた病院小児科¹, 田辺こどもクリニック小児神経内科², 大阪労災病院小児科³, 茨木済生会病院小児科⁴, 大阪医科大学小児科⁵, 清恵会病院小児科⁶, 藍野大学医療保健学部看護学科⁷
- O-188 Cystatin C に対するバルプロ酸投与の影響**
○岸 高正¹, 藤井裕士^{2,3}, 小林良行^{2,3}, 石川暢恒^{2,3}
国家公務員共済組合連合会広島記念病院小児科¹, 広島大学病院小児科², 広島大学病院てんかんセンター³
- O-189 一般臨床における総カルニチンの値とそこに影響を与える因子**
○渡邊年秀, 小笠原真志, 高山留美子
北海道立子ども総合医療療育センター
- O-190 Toll-like receptor 3 activation enhances hyperthermia-induced seizures in immature rats (Toll-like receptor 3 の活性化は幼弱ラットによる温熱誘発けいれんを促進する)**
○Mitsumasa Fukuda¹, Masanori Ito¹, Yoshiaki Yano¹, Hiroshi Sakuma², Masaharu Hayashi²
Department of Pediatrics, Ehime University Graduate School of Medicine, Toon, Japan¹, Department of Brain Development and Neural Regeneration, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Tokyo, Japan²

11:10~12:10 一般演題 (口演) (S286)
てんかん 6

座長 柏木 充 (市立ひらかた病院小児科)
藤本礼尚 (聖隷浜松病院てんかんセンター)

- O-191 てんかん外科対象となる小児てんかんの特徴**
○藤本礼尚¹, 岡西 徹², 横田卓也², 榎日出夫², 山本貴通¹
聖隷浜松病院てんかんセンター¹, 聖隷浜松病院小児神経科²
- O-192 聖隷浜松病院における包括的てんかん診療と小児へのてんかん外科開頭手術**
○岡西 徹^{1,2}, 横田卓也¹, 榎日出夫^{1,2}, 藤本礼尚², 山本貴道²
聖隷浜松病院小児神経科¹, 聖隷浜松病院てんかんセンター²
- O-193 当院で迷走神経刺激療法を行った小児難治性てんかん 9 症例の検討**
○小林良行, 藤井裕士, 石川暢恒
広島大学病院小児科
- O-194 左片側の持続性部分てんかんを主徴とし, 病初期にラスマッセン脳炎が疑われたがびまん性脳萎縮を呈した慢性脳炎の男児例**
○日暮憲道¹, 折津友隆^{1,2}, 高橋幸利³, 佐久間啓⁴, 浜野晋一郎⁵, 井田博幸¹
東京慈恵会医科大学小児科学講座¹, おりつこどもクリニック², 静岡てんかん・神経医療センター³, 東京都医学研究所脳発達・神経再生研究分野⁴, 埼玉県立小児医療センター神経科⁵
- O-195 視床下部過誤腫に対する定位温熱凝固術の治療成績 - 連続 100 症例の検討 -**
○白水洋史^{1,2}, 増田 浩^{1,2}, 伊藤陽祐^{1,2}, 園田真樹^{1,2}, 亀山茂樹^{1,2}
国立病院機能西新潟中央病院機能脳神経外科¹, 国立病院機能西新潟中央病院視床下部過誤腫センター²

O-196 小児難治性てんかんに対する脳梁離断術施行 16 例の患者背景と予後に対する検討

○岡西 徹^{1,2}, 横田卓也¹, 榎日出夫^{1,2}, 藤本礼尚², 山本貴道²
 聖隷浜松病院小児神経科¹, 聖隷浜松病院てんかんセンター²

12:25~13:25 ランチョンセミナー 12: 共催 日本イーライリリー株式会社 (S194)**神経発達症群 (NDD) の子どもたちの専門職連携を通じた包括的支援の在り方**

座長 宮本信也 (筑波大学医学医療系)
 講演 小野次朗 (和歌山大学教育学部特別支援教育学教室)

15:00~16:00 一般演題 (口演) (S288)**てんかん 7**

座長 榎日出夫 (聖隷浜松病院小児神経科)
 久保田英幹 (静岡てんかん・神経医療センター)

O-197 演題取り下げ**O-198 ビタミン B6 が有効であった SCN1A 遺伝子変異の 1 例**

○木村暢佑¹, 樋口嘉久¹, 常念大輔¹, 井上賢治¹, 西村尚子¹, 中本牧子¹, 仁平寛士¹, 今井 剛¹,
 廣田常夫¹, 池田幸広¹, 中村健治¹, 山本俊至², 今川英里³, 三宅紀子³, 松本直通³
 大津赤十字病院小児科¹, 東京女子医科大学統合医科学研究科², 横浜市立大学医学部遺伝学科³

O-199 Ethosuximide が有効であった難治てんかんの 3 例

○林裕美子, 小林由典, 岡 牧郎, 小林勝弘, 吉永治美
 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学小児神経科

O-200 レベチラセタムの治療効果と副作用の検討

○中野祐子¹, 池田尚広^{1,2}, 宮内彰彦¹, 長嶋雅子¹, 門田行史¹, 桑島真理¹, 小坂 仁¹, 山形崇倫¹
 自治医科大学小児科¹, 国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園小児科²

O-201 levetiracetam の精神・行動に対する影響についての検討—主に自閉症スペクトラム障害における変化—

○洲鎌倫子, 石崎朝世
 公益社団法人発達協会王子クリニック

O-202 内服抗てんかん薬整理時の静注抗けいれん薬試験投与の有用性

○石井雅宏¹, 下野昌幸¹, 松田夢子¹, 福田智文¹, 千手絢子¹, 高野志保¹, 塩田直樹², 楠原浩一¹
 産業医科大学医学部小児科¹, 宇部興産株式会社健康管理センター²

16:00~17:00 一般演題 (口演) (S290)**てんかん 8**

座長 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)
 白石秀明 (北海道大学病院小児科)

O-203 難治てんかんに対する低グリセミック指数食と修正アトキンズ食の忍容性, 有効性の比較

○熊田知浩, 柴田 実, 野崎章仁, 日衛嶋郁子, 林 安里, 横山淳史, 舞鶴賀奈子, 森未央子,
 藤井達哉

滋賀県立小児保健医療センター小児科

O-204 新生児発作に対するホスフェニトインの有効性と安全性

○中澤美賀^{1,2}, 池野 充¹, 安部信平¹, 嶋 泰樹^{1,3}, 山下進太郎⁴, 新島新一⁴, 清水俊明¹, 奥村彰久⁵
 順天堂大学小児科¹, 賛育会病院小児科², 長野県立こども病院神経小児科³, 順天堂大学練馬病院
 小児科⁴, 愛知医科大学小児科⁵

O-205 レベチラセタム単剤で経過良好な Gastaut 型後頭葉てんかんの 1 例

○橋本祐至
 千葉市立海浜病院小児科

O-206 レノックスガストー症候群およびその辺縁群に対するルフィナミド投与の長期予後

○岡崎 伸¹, 九鬼一郎¹, 川脇 壽¹, 金 聖泰¹, 福岡正隆¹, 服部有香¹, 辻ひとみ¹, 堀野朝子¹,
 温井めぐみ¹, 富和清隆^{1,2}

大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 東大寺福祉療育病院²

O-207 長期間にわたる発達退行が認められた非けいれん重積状態に対し, ステロイドパルス療法が有効であった 1 例

○川谷恵里¹, 友納優子¹, 藤田貴子¹, 井手口博¹, 井上貴仁¹, 高橋幸利², 廣瀬伸一¹, 安元佐和³
 福岡大学医学部小児科¹, 国立静岡・てんかん神経医療センター², 福岡大学医学部医学教育推進講
 座³

O-208 小児てんかんに対する柴胡加竜骨牡蛎湯の有効性についての検討—第 3 報—

○栗原栄二

東京都立神経病院神経小児科

19:00~20:00 第 9 回子どもの眠り研究会

第 2 日目 第 7 会場

9:00~11:00 シンポジウム 7 (S142)

脳形成障害の臨床, 画像, 病理, 遺伝子の最新の知見

座長 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

小崎健次郎 (慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター)

- 1) 胎児診断における難治性脳形成障害症の診断基準の作成
山崎麻美 (愛仁会高槻病院小児脳神経外科, 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター)
- 2) 胎児期脳形成障害症の胎児エコー診断
夫 律子 (クリフム夫律子マタニティクリニック臨床胎児医学研究所)
- 3) 胎児期中枢神経奇形の MRI 診断
宇都宮英綱 (国際医療福祉大学大学院放射線情報科学分野, ももち浜福岡山王病院放射線診断科)
- 4) 脳形成障害の病理と発生病態解明
伊東恭子 (京都府立医科大学大学院医学研究科分子病態病理学)
- 5) 脳形成障害の分子診断
加藤光広 (山形大学医学部小児科)

11:10~12:10 一般演題 (口演) (S292)

新生児

座長 岡 明 (東京大学医学部附属病院小児科)

久保田哲夫 (安城更生病院小児科)

O-209 正期産・後期早産児の新生児脳症における点状白質病変

○加藤 徹, 辻 健史, 早川文雄

岡崎市民病院小児科

O-210 新生児仮死 128 例における, 血液ガス所見・Apgar Score と臨床経過の検討

○深沢達也¹, 鈴木健史¹, 久保田哲夫¹, 根来民子^{1,2}

安城更生病院小児科¹, 日本福祉大学子ども発達学部心理臨床学科²

O-211 Serum unbound bilirubin and clinical kernicterus in extremely low birth weight infants

(血清アンバウンドビリルビンと超早産児の核黄疸)

○Ichiro Morioka¹, Hajime Nakamura¹, Tsubasa Koda¹, Hitomi Sakai², Daisuke Kurokawa¹,
Masahiko Yonetani³, Takeshi Morisawa³, Yoshinori Katayama⁴, Hiroshi Wada⁵, Masahisa Funato⁵,
Akihiro Takatera⁶, Akihisa Okumura⁷, Kazumoto Iijima¹

Department of Pediatrics, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan¹, Department of
Neonatology, Kobe Children Hospital, Kobe, Japan², Department of Pediatrics, Kakogawa West Municipal
Hospital, Kakogawa, Japan³, Department of Pediatrics, Takatsuki General Hospital, Takatsuki, Osaka,
Japan⁴, Developmental Rehabilitation Center, Osaka, Japan⁵, Department of Pediatrics, Chibune General
Hospital, Osaka, Japan⁶, Department of Pediatrics, Aichi Medical University, Nagakute, Japan⁷

O-212 新生児低酸素性虚血性脳症に対する自己臍帯血幹細胞治療の試み

○鍋谷まこと^{1,5}, 新宅治夫^{2,5}, 辻 雅弘^{3,5}, 岡 明^{4,5}, 早川昌弘⁵, 田村正徳⁵, 佐藤義朗⁵,
渡部晋一⁵, 市場博幸⁵, 濱崎孝司^{2,5}

淀川キリスト教病院, ホスピスこどもホスピス病院, 小児科¹, 大阪市立大学, 小児科², 国立循環
器病センター³, 東京大学, 医学部, 小児科⁴, 脳性麻痺予防研究会⁵

O-213 Effect of aminophylline on neonatal behavior

(アミノフィリンが新生児行動に与える影響)

○Tomoki Maeda, Kazuhito Sekiguchi, Kazuo Okanari, Shinichi Uchiyama

Department of Pediatrics and Child Neurology, Oita University, Oita, Japan

O-214 脳室内出血が生後 16 日目の発熱の原因として考えられた成熟児の一例

○荻野元子¹, 柏木 充², 田辺卓也³, 島川修一⁴, 大場千鶴², 玉井 浩⁴

洛和会音羽病院¹, 市立ひらかた病院², 田辺こどもクリニック小児神経内科³, 大阪医科大学付属病院小児科⁴

12:25~13:25 ランチョンセミナー 13: 共催 アルフレッサ ファーマ株式会社 (S195)

小児けいれん重積治療におけるミダゾラムの臨床と薬理

座長 大塚頌子 (旭川荘療育・医療センター)

講演 皆川公夫 (社会福祉法人札幌緑花会緑ヶ丘療育園小児科)

15:00~17:00 シンポジウム 8 (S145)

From the Bench: Bedside を見据えた脳発達基礎医科学の新展開

座長 佐藤 真 (大阪大学大学院医学系研究科解剖学講座(神経機能形態学), 大阪大学大学院連合小児発達学研究科こころの発達神経科学講座, 福井大学子どものこころの発達研究センター)

黒田公美 (理化学研究所脳科学総合研究センター親和性社会行動研究チーム)

- 1) 赤ちゃんは抱っこして歩くとなぜ泣き止むのか: 哺乳類「輸送反応」の意義と神経機構

黒田公美, 吉田さちね, ジャンルカエスポジト

(理化学研究所脳科学総合研究センター親和性社会行動研究チーム)

- 2) 環境因子が脳の発達や機能に与える影響とその保護

仲嶋一範 (慶應義塾大学医学部解剖学)

- 3) シナプス可塑性: 基礎研究から臨床応用へ

高橋琢哉 (公立大学法人横浜市立大学大学院医学研究科生理学)

- 4) 発達障害の病態解明に向けた新たなアプローチについて

佐藤 真

(大阪大学大学院医学系研究科解剖学講座 (神経機能形態学), 大阪大学大学院連合小児発達学研究科こころの発達神経科学講座, 福井大学子どものこころの発達研究センター)

19:00~21:00 薬事委員会主催セミナー (S174)

小児神経疾患における活性型ビタミン B6 の意義

座長 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)

吉永治美 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学)

- 1) 補酵素型ビタミン B6 製剤「アデロキザール散 7.8%」製造販売中止のお願い

佐藤壮紀 (ゾンネボード製薬株式会社)

- 2) 小児てんかんにおけるビタミン B6 の有用性

花岡義行, 吉永治美 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学)

- 3) ビタミン B6 反応性ホモシスチン尿症~B6 大量療法の安全性

大浦敏博 (仙台市立病院小児科)

- 4) 追加発言

小国弘量 (東京女子医科大学小児科学)

第 2 日目 ポスター会場 1

17:10~17:40 一般演題 (ポスター) (S360)

発達障害 3

モデレーター 毛利育子 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所)

- P-142 大学病院小児科心理発達外来におけるキャリアオーバー症例の検討
○大橋 圭, 水野賀史, 宮地泰士, 浅井朋子, 今枝正行, 齋藤伸治
名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野
- P-143 自閉症児の偏食対応に有用な感覚に関する評価項目の検討
○土方 希, 山根希代子
広島市西部こども療育センター小児科
- P-144 保育士等対象のアセスメント活用研修会でのアンケート結果の報告『早期発見⇒早期支援』システムが有効に稼働するために
○津田明美, 富士根明雄, 坂後恒久
福井県こども療育センター小児科
- P-145 保育所等への訪問支援事業が発達障害児の早期発見と支援に果たす役割
○畠山和男¹, 青柳閣郎¹, 反頭智子², 石井佐綾香³, 杉田完爾⁴, 相原正男⁵
山梨県立あけぼの医療福祉センター小児科¹, 山梨県立中央病院小児科², 国立病院機構甲府病院小児科³, 山梨大学医学部小児科⁴, 山梨大学大学院医学工学総合研究部⁵
- P-146 教育との連携による高機能自閉症スペクトラム障害の自己認知支援
○高木一江
横浜市中部地域療育センター, 川崎市発達相談支援センター
- P-147 『早期発見⇒早期支援⇒途切れない支援』福井県における発達障害支援体制整備に向けての福井県こども療育センターの取り組み
○津田明美, 富士根明雄, 坂後恒久
福井県こども療育センター小児科
- P-148 3歳未満の自閉症スペクトラム障害児に対する早期療育の効果
○藤井明子^{1,2}, 宮崎睦子¹, 長岡珠緒¹, 松尾光弘¹, 本山和徳¹, 松坂哲應³, 松崎淳子³, 森 淳子⁴, 森内浩幸²
長崎県立こども医療福祉センター小児科¹, 長崎大学病院小児科², 長崎市障害福祉センター³, みさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家⁴
- P-149 当科外来における発達障害診療の動向
○細田千佳, 西村洋子, 玉崎章子, 齊藤義朗, 前垣義弘
鳥取大学医学部脳神経小児科
- P-150 デジタル健診課題を用いた早産児の乳幼児期における知覚認知機能についての検討
○小西行彦¹, 富田理絵¹, 原田こと葉¹, 小谷野薫², 神内 済², 西田智子³, 日下 隆¹
香川大学医学部小児科¹, 香川大学医学部附属病院総合周産母子医療センター², 香川大学教育学部特別支援教育³
- P-151 自閉症スペクトラム障害のある子どもをもつ保護者が, ペアレント・トレーニング終了後にいっている効果についての思い
○古川恵美¹, 永井利三郎², 森 瞳子², 波田野希美²
畿央大学教育学部現代教育学科¹, 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻²
- P-152 発達障害をともなう学童期小児の実行機能の年齢群別比較
○加戸陽子¹, 眞田 敏², 荻野竜也³, 大野 繁⁴, 渡邊聖子⁵, 中野広輔⁶, 諸岡輝子⁷, 岡 牧郎⁷, 小林勝弘⁷
関西大学文学部心理学専修¹, 岡山大学教育学研究科発達支援学専攻², 中国学園大学子ども学部子ども学科³, 大野はぐくみクリニック⁴, 長崎大学病院小児科⁵, 愛媛大学教育学部発達障害コース⁶, 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学⁷

17:40~18:10 一般演題 (ポスター) (S363)

学習障害・AD/HD

モデレーター 鈴木周平 (すすきクリニック)

P-153 発達性読字障害と診断された児童の背景因子の検討

○巨田元礼¹, 川谷正男¹, 米谷 博², 平谷美智夫³, 大嶋勇成¹
福井大学医学部小児科¹, 芳珠記念病院小児科², 平谷こども発達クリニック³

P-154 読字・書字能力の発達—就学前, 小学校 1 年生, 2 年生の追跡的研究—第二報

○岡 牧郎¹, 花房 香¹, 諸岡輝子¹, 秋山麻里¹, 荻野竜也², 小林勝弘¹, 吉永治美¹
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学 (小児神経科)¹, 中国学園大学子ども学部子ども学科², 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学³

P-155 Methylphenidate の長期内服が AD/HD 児の認知機能に及ぼす影響

○荒木章子, 岡山亜貴恵, 田中亮介, 山本志保, 高橋 悟, 東 寛
旭川医科大学小児科

P-156 注意欠如多動性障害が初発症状と考えられた前頭葉てんかんの 1 例

○伊藤昌弘, 玉木久光
東京都立墨東病院小児科

P-157 ADHD の児の薬物治療中の身体発育についての検討

○小松祐美子^{1,2}, 宮田世羽¹, 島崎真希子¹, 松岡雄一郎¹, 池上弓子¹, 中野瑛子¹, 中村由紀子^{1,3},
楊 國昌¹, 岡 明^{1,4}
杏林大学医学部小児科¹, 久我山病院小児科², 東京通信病院小児科³, 東京大学医学部小児科⁴

P-158 アトモセチン経口液剤使用例の現状と課題

○清水 純, 小黒範子, 松原優里
とちぎリハビリテーションセンター小児科

P-159 当院における注意欠如多動症における初診時の身長についての検討

○スプラット智恵美, 白川公子, 二瓶健次
東京西徳洲会病院小児科

P-160 読み書き困難を主訴に当院を受診した症例の検討

○山本寿子^{1,2}, 宮本雄策^{1,2}, 生駒雅昭^{1,2}, 稲垣真澄³, 山本 仁²
川崎市立多摩病院小児科¹, 聖マリアンナ医科大学病院小児科², 独立行政法人国立精神・神経医療
研究センター精神保健研究所知的障害研究部³

P-161 日本人ディスレクシア児の漢字音読能力の特徴についての検討

○関あゆみ¹, 景山貴博³, 田中大介^{1,2}, 内山仁志⁴, 小枝達也^{1,2}
鳥取大学地域学部子どもの発達・学習研究センター¹, 鳥取大学地域学部地域教育学科², 鳥取大学
大学院地域学研究科³, 国際医療福祉大学保健医療学部⁴

P-162 QCD 用いた ADHD の薬物治療効果の検討

○河野美奈, 赤池洋人, 近藤英輔, 加藤 敦
川崎医科大学附属病院小児科

18:10~18:40 一般演題 (ポスター) (S367)

精神障害・行動障害

モデレーター 大戸達之 (筑波大学医学医療系小児科)

P-163 睡眠センターにおける中学生の睡眠診療

○加藤久美
太田睡眠科学センター

P-164 著明な過眠および食欲低下を呈した女兒に対する包括的治療

○豊浦麻記子^{1,2}, 中井昭夫^{1,2}, 尾張慶子^{1,2}, 田島世貴^{1,2}, 三池輝久^{1,2}, 小西行郎^{1,2}
兵庫県立リハビリテーション中央病院¹, 子どもの睡眠と発達医療センター²

P-165 学童期・思春期における睡眠時無呼吸・低呼吸判定基準の妥当性の検討

～AASM2007 小児基準と成人基準の比較～

○田島世貴^{1,2}, 中井昭夫^{1,2}, 豊浦麻記子^{1,2}, 尾張慶子^{1,2}, 三池輝久^{1,2}, 小西行郎^{1,2}
兵庫県立リハビリテーション中央病院¹, 子どもの睡眠と発達医療センター²

P-166 左先天性内頸動脈欠損を合併したナルコレプシーの女兒例

○小俣優子¹, 藤井克則², 小俣 卓³, 神林 崇⁴, 豊田裕美⁵
千葉メディカルセンター小児科¹, 千葉大学医学部小児病態学², 千葉県こども病院神経科³, 秋田
大学大学院医学系研究科精神科学講座⁴, 東京大学大学院医学系研究科人類遺伝学教室⁵

P-167 Clinical diversity in twins with neurodevelopmental disorders

(発達障害の双胎例における臨床的多様性)

○Masao Kawatani¹, Genrei Ohta¹, Hiroshi Kometani², Yusei Ohshima¹, Akemi Tomoda³, Michio Hiratani⁴

Department of Pediatrics, Faculty of Medical Sciences, University of Fukui, Fukui, Japan¹, Department of Pediatrics, Houju Memorial Hospital, Nomi, Ishikawa, Japan², Child Development Research Center, University of Fukui, Fukui, Japan³, Hiratani Child Development Clinic, Fukui, Japan⁴

P-168 ゲーム遊びの実態調査

○杉浦信子¹, 小沢 浩², 雨宮 馨², 井上祐紀¹, 小沢愉理², 岸本洋子², 野村芳子², 木実谷哲史³
島田療育センターはちおうじ児童精神科¹, 島田療育センターはちおうじ神経小児科², 島田療育センター小児科³

P-169 Alice in Wonderland Syndrome: 漢方薬処方により症状が改善した一例

○前澤真理子¹, 堂本洋一², 玉田耕一², 宮崎眞佐男², 園田さとみ², 西村 甲³, 福岡佳代¹, 上石晶子⁴, 木実谷哲史⁴, 本郷美智恵⁵

鶴見大学短期大学部歯科衛生科¹, 伊勢慶友病院², 鈴鹿医療大学³, 島田療育センター⁴, 下田セントラル病院⁵

P-170 チックおよびこだわりに対し L-dopa 少量投与療法が効果的であった Tourette 症候群の 1 例

○中村康子^{1,2}, 四方あかね²

自衛隊舞鶴病院診療部¹, 舞鶴こども療育センター小児科²

P-171 酵素補充療法を行っているムコ多糖症 II 型の IQ 値と行動評価の変化について

○黒田 舞¹, 成田有里¹, 和氣英一², 河野智敬², 会津克哉², 望月 弘², 浜野晋一郎³

埼玉県立小児医療センター保健発達部¹, 埼玉県立小児医療センター代謝内分泌科², 埼玉県立小児医療センター神経科³

P-172 先天性無痛無汗症の発達特性

○白川公子, 鈴木裕子, スプラット智恵美, 二瓶健次

東京西徳洲会病院小児科

18:10~18:40 一般演題 (ポスター) (S370)
新生児

モデレーター 早川文雄 (岡崎市民病院小児科)

P-173 早産児における頭部 MRI と発達予後との関連性についての検討 (第 2 報)

○田中竜太¹, 新井順一¹, 河野達夫², 岩崎信明³

茨城県立こども病院小児科¹, 獨協医科大学放射線科², 茨城県立医療大学小児科³

P-174 当院における新生児発作を疑った症例についての検討

○武居裕子¹, 奥野慈雨¹, 福山哲広¹, 笛木 昇², 平林伸一¹

長野県立こども病院神経小児科¹, 長野県立子ども病院リハビリテーション科²

P-175 Treatment of intractable neonatal seizure in a case with a SCN2A mutation by using a lidocaine patch (リドカイン貼付剤が有効であった SCN2A ミスセンス変異を伴う新生児難治性てんかんの 1 例)

○Tomomi Nagata¹, Mika Takeshita¹, Natsumi Morishita¹, Shinichiro Morichi¹, Yu Ishida¹, Yasuyuki Morishima¹, Shingo Oana¹, Gaku Yamanaka¹, Tasuku Miyajima¹, Mitsuhiro Kato², Hisashi Kawashima¹

Department of Pediatrics, Tokyo Medical University, Tokyo, Japan¹, Department of Pediatrics, Yamagata University Faculty of Medicine, Yamagata, Japan²

18:10~18:40 一般演題 (ポスター) (S371)
画像・形態・病理

モデレーター 宮田理英 (東京北医療センター)

P-176 SPTAN1 変異を認めた West 症候群の頭部 MRI の経時的変化

○岸本加奈子¹, 谷河純平^{1,4}, 山崎早苗^{1,4}, 岩谷祥子^{1,4}, 富永康仁^{1,2,4}, 青天目信^{1,4}, 下野九理子^{1,2,4}, 原 宗嗣⁶, 毎原敏郎⁷, 遠山 潤⁵, 加藤光弘⁸, 永井利三郎^{1,3,4}, 大藺恵一^{1,4}

大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学大学院連合小児発達学研究科², 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科³, 大阪大学医学部附属病院てんかんセンター⁴, 西新潟中央病院小児神経センター⁵, 久留米大学医学部小児科⁶, 兵庫県立塚口病院小児科⁷, 山形大学医学部小児科⁸

- P-177 顔面に血管腫を認めない Sturge-Weber 症候群の 1 乳児例**
○白鳥恵理佳, 藤田真祐子, 池原 甫, 水落弘美, 塩濱 直, 藤井克則, 下条直樹
千葉大学大学院医学研究院小児病態学
- P-178 腎血管筋脂肪腫に対して経動脈的塞栓術を施行した結節性硬化症の 2 例**
○横井彩乃¹, 中川裕康¹, 三谷裕介¹, 黒田文人¹, 谷内江昭宏¹, 新井田要²
金沢大学医学部小児科¹, 金沢医科大学病院遺伝子医療センター²
- P-179 平坦脳波までの過程を近赤外線酸素飽和度 (NIRS) モニターで確認できた急性脳症の 1 例**
○親里嘉展, 中尻智史, 沖田 空, 西山敦史
加古川西市民病院小児科
- P-180 HHV6 脳炎の経過中, 前交連に一過性拡散能低下を示した先天性グリコシル化異常症の 1 歳男児**
○池原 甫, 長澤耕男, 菱木はるか, 藤井克則, 下条直樹
千葉大学大学院医学研究院小児病態学
- P-181 色素性乾皮症 A 群の拡散テンソル画像**
○松林朋子, 石垣英俊, 宮城佳史, 朝比奈美輝, 福田冬季子
浜松医科大学小児科
- P-182 LIS1 ミスセンス変異を認めた滑脳症女児の拡散テンソル画像の検討**
○石垣英俊¹, 松林朋子¹, 宮城佳史¹, 朝比奈美輝¹, 加藤光広², 福田冬季子¹
浜松医科大学小児科¹, 山形大学小児科²
- P-183 結節性硬化症患者における MRSpectroscopy (MRS) の経時的検討**
○今村 淳, 松尾直樹, 小林瑛美子, 松隈英治, 松波邦洋, 桑原秀次, 平田和裕, 湯澤壮太郎, 上野裕太郎
岐阜県総合医療センター小児科
- P-184 重篤な麻痺性イレウスを反復し壊死性腸炎で急死した滑脳症例の病理学的検討**
○安田寛二
国立病院機構静岡富士病院小児科

第 2 日目 ポスター会場 2

- 17:10~17:40 一般演題 (ポスター) (S374)
- 急性脳炎・脳症 2**
- モデレーター 荒木 敦 (関西医科大学附属滝井病院小児科)**
- P-185 マイコプラズマ感染を契機として発症し, 2 回再発を来した抗 NMDA 抗体陽性辺縁系脳炎の 9 歳男児例**
○竹澤祐介¹, 植松 貢², 新妻 創¹, 宮野駿輔¹, 川嶋明香¹, 本間貴士¹, 伊藤 健¹, 高橋幸利³
石巻赤十字病院小児科¹, 東北大学大学院医学系研究科小児科², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター³
- P-186 多彩な四肢体幹の痛性不随意運動を呈した自己免疫性辺縁系脳炎の 12 歳男児例**
○佐藤 彩¹, 森宗孝夫², 松井 潤², 西倉紀子², 吉岡誠一郎², 高野知行², 竹内義博², 高橋幸利³
恩賜財団済生会滋賀県病院小児科¹, 滋賀医科大学附属病院小児科², 静岡てんかん・神経医療センター小児科³
- P-187 リツキシマブ療法が唯一著効した抗 NMDA 受容体抗体脳炎の 1 例**
○高橋宜宏¹, 丸山慎介¹, 渡邊健二², 馬場悠生², 井之上寿美², 米衛ちひろ³, 佐野のぞみ³, 四俣一幸², 高橋幸利⁴, 河野嘉文¹
鹿児島大学病院小児科¹, 鹿児島市立病院小児科², 南九州病院小児科³, 国立静岡てんかん神経医療センター小児科⁴
- P-188 当院で経験した辺縁系脳炎の 3 例の比較検討**
○中尻智史, 金川温子, 沖田 空, 親里嘉展, 西山敦史, 米谷昌彦
加古川西市民病院小児科
- P-189 反復するけいれんで発症した自己免疫性脳炎の一女児例**
○宮部瑠美¹, 鈴木恵子¹, 老谷嘉樹¹, 多田春香¹, 新井麻子^{1,2}, 上田 哲¹, 梅津亮二¹, 杉原茂孝¹, 高橋幸利³
東京女子医科大学東医療センター小児科¹, 戸田中央総合病院小児科², 独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター³

P-190 急性小脳失調として発症した橋本脳症の小児例

○中村涼子, 原口康平, 松倉 幹, チョンピンフィー, 吉良龍太郎
福岡市立こども病院小児神経科

P-191 若年性特発性関節炎の加療中に小脳病変を伴う可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳症を発症した一例

○平岩明子, 田中朋美, 倉本 崇, 宮 一志, 種市尋宙, 足立雄一
富山大学医学部小児科

P-192 Study of 10 patients with acute encephalopathy administered drugs to treat mitochondrial disease

○Taku Omata¹, Kei Murayama², Kaori Muta¹, Kazuo Kodama¹, Yukiko Iida¹, Yoshimi Watanabe¹
Division of Child Neurology, Chiba Children's Hospital, Chiba, Japan¹, Division of Metabolism, Chiba Children's Hospital, Chiba, Japan²

P-193 Efficacy of TRH treatment for patients with SSPE efficacy of TRH treatment for patients with SSPE

○Eiji Nakagawa, Eri Takeshita, Akihiko Ishiyama, Yuko Motohashi, Takashi Saito, Hirofumi Komaki, kenji Sugai, Masayuki Sasaki
Department of Child Neurology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan

17:40~18:10 一般演題 (ポスター) (S377)

感染・免疫 2

モデレーター 岡崎 伸 (大阪市立総合医療センター)

P-194 呼吸器症状のない RSV 感染で急性脳症になったと考えられた新生児

○矢野珠巨, 久保田弘樹, 高橋 勉
秋田大学医学部小児科

P-195 非特異的症状を示し診断までに時間を要した急性散在性脳脊髄炎の 4 例

○白神浩史
独立行政法人国立病院機構岡山医療センター

P-196 マムシ咬傷に対し抗毒素血清使用後に急性散在性脳脊髄炎を合併した一例

○板村真司, 桑原健太郎, 小川和則
広島市立広島市民病院神経小児科

P-197 可逆性脳梁膨大部病変で発症した急性散在性脳脊髄炎の 1 例

○森山伸子, 小宅奈津子, 直井高歩
日立製作所ひたちなか総合病院小児科

P-198 胸椎病変の症状として急性の腹痛症状のみで再発した多発性硬化症の 1 例

○野村昇平, 島川修一, 畑中まり, 福井美保, 玉井 浩
大阪医科大学小児科

P-199 繰り返す視神経炎, 大脳病変を認めた抗 MOG 抗体陽性 NMO 類縁疾患の 1 例

○比屋根真彦, 福里勇人, 松岡剛司, 大府正治
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科

P-200 明らかな画像異常を認めず, 抗 MOG 抗体陽性から視神経炎を伴う炎症性脱髄性疾患を疑った 1 例

○村山義文¹, 杉山延喜¹, 池上真理子^{1,2}, 山崎千波¹, 松田晋一¹, 宮下好洋¹
東海大学医学部専門診療学系小児科学¹, 東海大学医学部八王子病院小児科²

P-201 Neuromyelitis optica spectrum disorders の視力障害に対して血漿交換が有効であった 14 歳女児例

○松井 潤¹, 吉岡誠一郎¹, 西倉紀子¹, 高野知行¹, 竹内義博¹, 森宗孝夫², 西澤嘉四郎²
滋賀医科大学医学部小児科¹, 近江八幡市立総合医療センター²

P-202 Rituximab により再発予防効果を認めた視神経脊髄炎の 1 例

○大野敦子, 青木雄介, 鈴木基正, 糸見和也
あいち小児保健医療総合センター神経科

P-203 再発性の感染後 opsoclonus-myoclonus 症候群 2 例に対する azathioprine と prednisolone の併用療法

○中務秀嗣, 伊藤 康, 岸 崇之, 平野嘉子, 西川愛子, 塩田睦記, 島田姿野, 吉川陽子, 竹下暁子, 平澤恭子, 小国弘量, 永田 智
東京女子医科大学医学部小児科

18:10~18:40 一般演題 (ポスター) (S380)

障害児・者医療 2

モデレーター 鳥邊泰久 (医療法人鳥辺医院)

P-204 重症心身障害におけるボツリヌス毒素療法の治療戦略 ～標的筋の検討とチーム医療の重要性～

○長澤哲郎, 齋藤菜穂, 福水道郎

東京都立府中療育センター小児科

P-205 脳性麻痺児者の筋緊張亢進等へのリスペリドンの使用経験

○古山晶子, 北住映二, 米山 明, 中谷勝利, 石川直子, 大日向純子, 木村育美, 長瀬美香, 荻田香織, 山口直人, 西田裕哉

心身障害児総合医療療育センター

P-206 抗酸化物質としてのメラトニン

○田沼直之^{1,2}, 大越優美¹, 福水道郎¹, 宮田理英², 林 雅晴²東京都立府中療育センター小児科¹, 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生²

P-207 重症心身障害者のメラトニンと臨床症状との関係

○大越優美¹, 林 雅晴², 宮田理英², 田沼直之¹, 福水道郎¹都立府中療育センター小児科¹, 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生²

P-208 当センターにおける在宅人工呼吸療法の在宅支援の実情と課題

○服部英司, 蘆野二郎, 松下彰宏, 渡邊早苗, 北村容一郎, 田中勝治

西宮すなご医療福祉センター

P-209 肢体不自由支援学校における医療的ケアの現状と課題

○村上貴孝

中野こども病院

P-210 医療的ケアを必要とする子どものためのコーディネーター会議の取り組み

○遠藤雄策¹, 鈴木輝彦¹, 平野浩一¹, 宮本 健², 松林朋子³, 村山恵子⁴, 福田冬季子³浜松市発達医療総合福祉センター友愛のさと診療所小児科¹, 浜松医療センター小児科², 浜松医科大学小児科³, げんきこどもクリニック⁴

P-211 “メディカルデイケア” 小児在宅医療の新たな方法

○小林拓也

能見台こどもクリニック

P-212 名古屋市重症心身障害児者施設の入所希望者の調査 (第 1 報)

○中村有里^{1,2}, 二村真秀²東海学園大学スポーツ健康科学部¹, 名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごや²

第 2 日目 ポスター会場 3

17:10~17:40 一般演題 (ポスター) (S383)

先天代謝異常 2

モデレーター 安藤直樹 (名古屋市立大学小児科)

P-213 MELAS 患者における WPW 症候群の合併

○平出拓也¹, 石山昭彦¹, 瀬川和彦², 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 小牧宏文¹, 齋藤貴志¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 後藤雄一¹, 佐々木征行¹国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院循環器科²

P-214 乳酸アシドーシスを伴う両側後頭葉梗塞をきたした乳児例

○西倉紀子¹, 松井 潤¹, 吉岡誠一郎¹, 高野知行¹, 竹内義博¹, 底田辰之², 佐藤 彩³, 龍神布紀子³, 伊藤英介³滋賀医科大学小児科¹, 守山市民病院小児科², 済生会滋賀県病院小児科³

P-215 幻視と頭痛を繰り返した後に MELAS 発作を来した一例

○北村太郎, 堅田有宇, 西尾利之, 高柳 勝, 大浦敏博

仙台市立病院小児科

P-216 時間的変動を伴う眼症状を契機に診断に至ったミトコンドリア異常症 (CPEO) の 1 例

○野村敏大¹, 黒神経彦¹, 平柳直人¹, 下平雅之¹, 井上道雄², 石山昭彦², 後藤雄一²川口市立医療センター小児科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科²

- P-217** 新生児仮死類似の所見を認め、虚血性脳症と考えられていたミトコンドリア異常症の 1 例
○南風原明子¹, 山本敦子¹, 白井謙太郎¹, 渡辺章充¹, 才津浩智², 大場ちひろ², 松本直通², 村山 圭³
土浦協同病院小児科¹, 横浜市立大学医学部遺伝学², 千葉県こども病院代謝科³
- P-218** 1 年間で頻回の脳卒中様発作を呈したミトコンドリア脳筋症 (MELAS) に、極少量経口ステロイドが寛解維持に効果的であった 1 例
○南 弘一¹, 津田祐子¹, 田村 彰¹, 吉川徳茂¹, 柳川敏彦²
和歌山県立医科大学小児科¹, 和歌山県立医科大学保健看護学部²
- P-219** SURF1 遺伝子変異を認めた Leigh 脳症 4 例の臨床経過の特徴
○佐藤睦美¹, 渡邊肇子¹, 安西里恵¹, 露崎 悠¹, 市川和志¹, 金子かおり^{2,3}, 井合瑞江¹, 山下純正¹, 小坂 仁⁴, 後藤知英¹
神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 藤沢市民病院こども診療センター², 横浜療育医療センター神経小児科³, 自治医科大学小児科学講座⁴
- P-220** Blue-Native PAGE (BN-PAGE) にて呼吸鎖複合体 I および IV 低下を認め、POLG 遺伝子異常が判明したミトコンドリア病の一例
○水野葉子¹, 三牧正和¹, 太田さやか¹, 下田木の実¹, 高橋長久¹, 岩崎博之¹, 岡 明¹, 片山菜穂子², 生井良幸², 水口 雅³, 後藤雄一⁴
東京大学医学部小児科¹, 太田西ノ内病院小児科², 東京大学医学系研究科国際保健学専攻発達医科学講座³, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第 2 部⁴
- 17:40~18:10** 一般演題 (ポスター) (S386)
染色体・遺伝子 2
- モデレーター 菊池健二郎 (東京慈恵会医科大学小児科学講座)
- P-221** 全エクソーム解析にて MED17 変異を認めた不随意運動を伴う重度発達遅滞の姉弟例
○平林伸一¹, 才津浩智²
長野県立こども病院神経小児科¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学²
- P-222** 第一次硝子体過形成遺残を合併した MIPCH (mental retardation and microcephaly with pontine and cerebellar hypoplasia) の一例
○舞鶴賀奈子¹, 野崎章仁¹, 熊田知浩¹, 柴田 実¹, 林 安里¹, 日衛嶋郁子¹, 横山淳史¹, 藤井達哉¹, 岡本伸彦², 林 深³
滋賀県立小児保健医療センター¹, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科², 東京医科歯科大学難治疾患研究所分子細胞遺伝学教室³
- P-223** PNKP 遺伝子変異を認めた小頭症の男児例
○田中朋美¹, 宮 一志¹, 草開祥平¹, 平岩明子¹, 渡辺祐紀¹, 倉本 崇¹, 藤木靖子¹, 田仲千秋¹, 足立雄一¹, 新井田要²
富山大学医学部小児科¹, 金沢医科大学遺伝子医療センター²
- P-224** COL4A1 遺伝子異常により神経症状を来した父子例
○野村恵子¹, 小篠史郎¹, 小菅浩史¹, 木村重美², 遠藤文夫², 植田昭彦³, 加藤光広⁴
熊本大学医学部附属病院小児科¹, 熊本大学大学院生命科学研究部小児科², 熊本大学医学部附属病院神経内科³, 山形大学医学部小児科⁴
- P-225** 難治性てんかんおよび重度精神遅滞を示す女性に見いだされた NF1 および MAGEL2 ダブル変異と遺伝的相乗効果
○赤峰 哲¹, 酒井康成¹, 鳥尾倫子¹, 石崎義人¹, 實藤雅文¹, 鳥巢浩幸², 才津浩智³, 松本直通³, 原 寿郎¹
九州大学大学院成長発達医学 (小児科学)¹, 福岡歯科大学医科歯科総合病院², 横浜市立大学大学院遺伝学³
- P-226** TORCH 症候群と鑑別を要した COL4A1 遺伝子変異の 1 例
○熊谷淳之¹, 安西真衣¹, 葛西真梨子¹, 竹中 暁¹, 渡邊 優¹, 寺嶋 宙¹, 才津浩智², 久保田雅也¹
国立成育医療研究センター神経内科¹, 横浜市立大学医学部遺伝学²
- P-227** 10 番染色体長腕の部分欠失を有し、乳酸・ピルビン酸高値を認めミトコンドリア異常症と診断した女児例
○富永康仁¹, 岸本加奈子^{1,4}, 谷河純平^{1,4}, 山崎早苗¹, 新寶理子¹, 濱田悠介¹, 岩谷祥子^{1,2,4}, 青天目信^{1,4}, 下野九理子^{1,2,4}, 村山 圭⁵, 永井利三郎^{1,3,4}, 大藺恵一^{1,4}
大阪大学医学系研究科小児科¹, 大阪大学連合小児発達学研究所², 大阪大学医学系研究科保健学専攻生命育成看護科³, 大阪大学附属病院てんかんセンター⁴, 千葉こども病院代謝科⁵

P-228 KAT6B 遺伝子 10 塩基重複変異による重症型 Young-Simpson 症候群の一例○新井田要¹, 三谷裕介², 黒田文人², 横井彩乃²金沢医科大学病院集学的医療部遺伝子医療センター¹, 金沢大学医学部小児科²**P-229 血尿, 高 CK 血症から COL4A1 遺伝子変異が同定された 1 例**○大見 剛^{1,2}, 當山 潤², 小寺啓文³, 松本直通³, 才津浩智³沖縄療育園小児科¹, 沖縄整肢療護園小児科², 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学³**P-230 発達遅滞と先天性無虹彩症を呈した PAX6 遺伝子変異と 22q34 欠失の合併例**○小崎里華¹, 久保田雅也²国立成育医療研究センター遺伝診療科¹, 国立成育医療研究センター神経内科²**18:10~18:40 一般演題 (ポスター) (S389)****染色体・遺伝子 3****モデレーター 清水敦一 (東邦大学医療センター大橋病院小児科)****P-231 Gomez-Lopez-Hernandez syndrome の 1 男児例**○久保田由紀¹, 福與なおみ¹, 佐藤寛記¹, 鈴木 智¹, 奈良千恵子¹, 植松 貢¹, 呉 繁夫¹, 野口里恵²東北大学医学部小児科¹, 仙台医療センター²**P-232 11 番長腕中間部欠失に伴い神経芽腫を発症した 1 女児例**○塩浜 直¹, 日野もえ子¹, 清水健司², 大橋博文², 藤田真祐子¹, 池原 甫¹, 落合秀匡¹, 藤井克則¹, 下条直樹¹千葉大学大学院医学研究院小児病態学¹, 埼玉県立小児医療センター²**P-233 胎児性アルコール症候群の 1 例**

○宮本晶恵, 木村加弥乃, 福田郁江, 田中 肇, 岡 隆治

北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター小児科

P-234 AHI1 遺伝子変異をもつ Joubert 症候群の一例○小出彩香¹, 雨宮 馨², 加藤光広³, 足立香織⁴, 難波栄二⁴, 富田 直¹, 三山佐保子¹東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 島田療育センターはちおうじ神経小児科², 山形大学医学部小児科³, 鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子探索分野⁴**P-235 当院の過去 7 年間における原因不明の胎児脳室拡大症例の後方視的検討**○竹中朋代^{1,2}, 谷口英俊^{1,2}, 荒堀仁美^{1,2}, 北畠康司^{1,2}, 青天目信¹, 香川尚己³, 和田和子^{1,2}, 大藁恵一¹大阪大学大学院医学系研究科小児科¹, 大阪大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター², 大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科³**P-236 15 番染色体長腕に広範囲の欠失を認めた重症 Angelman 症候群の一例**○下田木の実¹, 水野葉子¹, 太田さやか¹, 高橋長久¹, 岩崎博之¹, 三牧正和¹, 岡 明¹, 水口 雅²東京大学医学部附属病院小児科¹, 東京大学医学系研究科国際保健学専攻発達医学講座²**P-237 嗅神経の低形成を認めた SOX2 無眼球症候群の 1 例**○多田弘子¹, 高梨潤一², 堀川玲子³千葉県済生会習志野病院小児科¹, 東京女子医科大学八千代医療センター小児科², 国立成育医療研究センター内分泌科³**P-238 15 歳で睡眠呼吸障害を認めた Joubert 症候群の 1 例**

○野崎章仁, 熊田知浩, 柴田 実, 林 安里, 日衛嶋郁子, 森未央子, 舞鶴賀奈子, 横山淳史, 藤井達哉

滋賀県立小児保健医療センター小児科

P-239 遅発性に West 症候群を発症し難治てんかんに至った Kabuki 症候群の 1 例○安西真衣¹, 寺嶋 宙¹, 熊谷淳之¹, 竹中 暁¹, 葛西真梨子¹, 渡邊 優¹, 久保田雅也¹, 小崎里華²国立成育医療研究センター神経内科¹, 国立成育医療研究センター遺伝診療科²**P-240 シアント不全により脳死とされうる状態で 2 年 3 か月長期生存している全前脳胞の 1 例**○高橋長久¹, 太田さやか¹, 下田木の実¹, 水野葉子¹, 岩崎博之¹, 三牧正和¹, 水口 雅², 岡 明¹東京大学医学部小児科¹, 東京大学大学院医学系研究科発達医学教室²

第 2 日目 ポスター会場 4

17:10~17:40 一般演題 (ポスター) (S393)

てんかん 4

モデレーター 高橋 悟 (旭川医科大学小児科)

- P-241 A causative factor of growth hormone defect in glucose transporter 1 deficiency syndrome (成長ホルモン欠損症を呈するグルコーストランスポーター 1 欠損症の特徴)**
 ○Shin Nabatame^{1,2}, Kuriko Kagitani-Shimono^{1,2,3}, Kouji Tominaga^{1,2,3}, Kanako Kishimoto^{1,2}, Junpei Tanigawa^{1,2}, Sanae Yamazaki^{1,2}, Yoshiko Iwatani^{1,2,3}, Yoko Miyoshi¹, Keiko Yanagihara³, Toshisaburo Nagai⁵, Keiichi Ozono^{1,2}
 Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka, Japan¹, Epilepsy Center, Osaka University Hospital, Osaka, Japan², United Graduate School of Child Development, Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka, Japan³, Department of Pediatric Neurology, Osaka Medical Center and Research Institute for Maternal and Child Health, Osaka, Japan⁴, Child Health Science, Department of Children's and women's Health, Area of Nursing Science, Course of Health Science, Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka, Japan⁵
- P-242 グルコーストランスポーター 1 欠損症 (GLUT-1DS) 小児例の検討**
 ○大星大観, 今井克美, 渡辺陽和, 荒谷菜海, 東本和紀, 吉富晋作, 森 達夫, 那須裕郷, 池田浩子, 大谷英之, 重松秀夫, 高橋幸利, 井上有史
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター
- P-243 SCN8A 遺伝子の新生変異による大田原症候群の 1 例**
 ○原口康平¹, 緒方怜奈¹, 中村涼子¹, 松倉 幹¹, チョンピンフィー¹, 吉良龍太郎¹, 加藤光広²
 福岡市立こども病院小児神経科¹, 山形大学医学部小児科²
- P-244 1 歳以降から有熱時けいれんを頻回に認めた SCN1A 変異を伴う 1 例**
 ○嶋 泰樹¹, 五十嵐鮎子¹, 池野 充¹, 安部信平¹, 中澤友幸², 新島新一³, 宮本雄策⁴, 廣瀬伸一⁵, 奥村彰久⁶, 清水俊明¹
 順天堂大学医学部小児科¹, 順天堂浦安病院小児科², 順天堂練馬病院小児科³, 聖マリアンナ医科大学小児科⁴, 福岡大学小児科⁵, 愛知医科大学小児科⁶
- P-245 発達退行を示し, ACTH 療法が有効であった STXBPI 変異の 1 例**
 ○武下草生子¹, 本井宏尚¹, 渡辺好宏¹, 藤原 祐¹, 才津浩智²
 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター¹, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学²
- P-246 持続性部分てんかんに対しステロイドが有効であった SSADH 欠損症の一例**
 ○石渡久子¹, 鹿島田彩子¹, 高橋孝治¹, 黒神経彦², 下平雅之², 佐久間啓³, 村山 圭⁴, 中島光子⁵, 才津浩智⁵, 加藤光広⁶, 菅原祐之¹
 東京医科歯科大学医学部小児科¹, 川口市立医療センター小児科², 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野³, 千葉県こども病院代謝科⁴, 横浜市立大学大学院医学研究科遺伝学⁵, 山形大学医学部小児科⁶
- P-247 FOXG1 関連症候群の 2 例におけるてんかん発作と脳波についての検討**
 ○市川和志¹, 渡邊肇子¹, 佐藤睦美¹, 安西里恵¹, 露崎 悠¹, 井合瑞江¹, 山下純正¹, 後藤知英¹, 才津浩智²
 神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 横浜市立大学医学部遺伝学²
- P-248 KCNQ2 遺伝子の新規変異を認めた新生児けいれんの 1 例**
 ○富田理絵¹, 小西行彦¹, 原田こと葉¹, 神内 済², 小谷野薫¹, 西田智子³, 日下 隆¹, 井原由紀子⁴, 石井敦士⁴, 廣瀬伸一⁴, 山本真由美⁵, 伊藤 進¹
 香川大学医学部小児科¹, 香川大学総合周産期母子医療センター², 香川大学教育学部³, 福岡大学小児科⁴, 小豆島町立内海病院⁵
- P-249 QARS 遺伝子変異を認めた早期発症てんかん性脳症の兄弟例**
 ○井合瑞江¹, 小坂 仁², 小寺啓文³, 才津浩智³, 露崎 悠¹, 安西里恵¹, 市川和志¹, 佐藤睦美¹, 渡邊肇子¹, 山下純正¹, 松本直通³, 後藤知英¹
 神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 自治医科大学小児科学講座², 横浜市立大学医学部遺伝学³

P-250 Characteristics of epilepsy in Kabuki syndrome

(カブキ症候群のてんかんの特徴)

○Naoko Kurahashi¹, Shunsuke Ogaya¹, Ayako Umemura¹, Keitaro Yamada¹, Hirokazu Kurahashi^{1,4}, Toshiyuki Kumagai^{1,5}, Akiko Matsumoto¹, Motomasa Suzuki⁶, Kazuya Itomi⁶, Futoshi Yoshida², Miho Nakamura⁷, Seiji Mizuno³, Noriko Miyake⁸, Naomichi Matsumoto⁸, Koichi Maruyama¹

Department of Pediatric Neurology, Central Hospital, Aichi Human Service Center, Kasugai, Japan¹, Department of Internal Medicine, Central Hospital, Aichi Human Service Center, Kasugai, Japan², Department of Pediatrics, Central Hospital, Aichi Human Service Center, Kasugai, Japan³, Department of Pediatrics, Aichi Medical University, Nagakute, Japan⁴, College of Life and Health Sciences, Chubu University, Kasugai, Japan⁵, Department of Neurology, Aichi Children's Health and Medical Center, Japan⁶, Department of Functioning Science, Institute for Developmental Research, Aichi Human Service Center Aichi, Kasugai, Japan⁷, Department of Human Genetics, Yokohama City University Graduate School of Medicine, Yokohama, Japan⁸

17:40~18:10 一般演題 (ポスター) (S396)
てんかん 5

モデレーター 岡西 徹 (聖隷浜松病院小児神経科)

P-251 小児てんかんにおける迷走神経刺激療法の効果と有用性

○榎日出夫^{1,2}, 横田卓也^{1,2}, 岡西 徹^{1,2}, 藤本礼尚², 山本貴道²
聖隷浜松病院小児神経科¹, 聖隷浜松病院てんかんセンター²

P-252 発作時頭蓋内脳波の解釈が難しく複数回の頭蓋内脳波記録・焦点切除術を行った MRI 陰性の 1 小児例

○田村健太郎¹, 榊原崇文²

奈良県立医科大学医学部脳神経外科¹, 奈良県立医科大学医学部小児科²

P-253 15 歳未満の胚芽異形成性神経上皮腫瘍 (DNT) 例の発達予後因子の検討

○吉富晋作, 大星大観, 渡辺陽和, 荒谷菜海, 東本和紀, 那須裕郷, 山口解冬, 大谷英之, 池田浩子, 重松秀夫, 松田一己, 今井克美, 高橋幸利, 井上有史

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科

P-254 てんかん焦点同定における発作時 easy Z-score Imaging System (eZIS) の有効性

○馬場信平¹, 須貝研司¹, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 池谷直樹², 開道貴信², 金子 裕², 高橋章夫², 大槻泰介², 佐々木征行¹

国立精神神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科²

P-255 てんかん発作型別の SISCOM 解析と MRI 病変との一致度

○久保田一生, 須貝研司, 竹下絵里, 本橋裕子, 石山昭彦, 齋藤貴志, 小牧宏文, 中川栄二, 佐々木征行

国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科

P-256 睡眠時持続性棘徐波を示すてんかんにおける、脳磁図による推定てんかん焦点と認知機能の関連について

○眞柄慎一¹, 川島英志¹, 小林 悠¹, 赤坂紀幸¹, 遠山 潤¹, 白水洋史²

国立病院機構西新潟中央病院小児科¹, 国立病院機構西新潟中央病院脳神経外科²

P-257 一般病院における小児から成人への移行期のてんかん診療の現状

○神田祥子, 眞下秀明, 高橋 寛

青梅市立総合病院小児科

P-258 けいれんをもつ児への対応と支援一保育園・幼稚園、小学校へのアンケート調査から一

○緒方怜奈, 安永由紀恵, 渡辺恭子

国立病院機構小倉医療センター小児科

P-259 Sudden unexpected death in epilepsy (SUDEP) in childhood : report of two cases

(小児期に発症した sudden unexpected death in epilepsy (SUDEP) の 2 例)

○Shinichiro Morichi¹, Yoshiaki Okuma², Mika Takeshita¹, Natsumi Morishita¹, Yu Ishida¹, Shingo Oana¹, Gaku Yamanaka¹, Takeji Matsushita², Hisashi Kawashima¹

Department of Pediatrics, Tokyo Medical University, Tokyo, Japan¹, Department of Pediatrics, National Center for Global Health and Medicine, Tokyo, Japan²

P-260 抗てんかん剤の催奇形性に関する国際的調査 (EURAP) の日本における現状報告

○大谷英之¹, 田中正樹², 笹川陸男^{3,7}, 溝渕雅広⁴, 福島克之⁵, 加藤昌明⁶, 井上有史¹
 国立病院機構静岡てんかん神経医療センター¹, 田中神経クリニック², 国立病院機構西新潟中央病院てんかんセンター³, 中村記念病院⁴, 福島神経クリニック⁵, むさしの国分寺クリニック⁶, とよさと病院⁷

18:10~18:40 一般演題 (ポスター) (S399)
てんかん 6

モデレーター 最上友紀子 (大阪府立母子保健医療センター小児神経内科)

P-261 ケトン食療法により脳波改善を認めた非ケトosis型高グリシン血症の一例

○島崎真希子³, 小松祐美子¹, 宮田世羽¹, 松岡雄一郎¹, 中野瑛子^{1,2}, 池上弓子^{1,2}, 中村由紀子³, 岡 明⁴, 楊 國昌¹

杏林大学医学部小児科¹, 稲城市立病院小児科², 東京通信病院³, 東京大学医学部小児科⁴

P-262 難治てんかん発作の群発型重積に対してケトン食療法が著効した進行性大脳白質障害の 3 例

○横山淳史, 熊田知浩, 日衛嶋郁子, 森未央子, 柴田 実, 林 安里, 野崎章仁, 舞鶴賀奈子, 藤井達哉

滋賀県立小児保健医療センター小児科

P-263 当科におけるレベチラセタム, ラモトリギンの臨床効果の検討

○澤浦法子¹, 村松一洋¹, 緒方朋実¹, 本島敏乃^{1,2}, 富田桂子¹, 牧岡西紀¹, 迫 恭子¹, 井田久仁子¹, 小林美帆¹, 荒川浩一¹

群馬大学大学院医学系研究科小児科¹, 本島総合病院小児科²

P-264 Has the sequela of status epilepticus been exacerbated by the continuous benzodiazepine injection? (けいれん重積後のベンゾジアゼピン系薬剤の持続投与は後遺症を増悪させるか?)

○Keisuke Nakajima^{1,2}, Haruo Okado¹, Shinobu Hirai¹

Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Tokyo, Japan¹, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan²

P-265 頭部外傷後の早期てんかん発作重積にホスフェニトインが有効であった乳児例

○星野陽子¹, 高山留美子¹, 福村 忍^{1,2}, 渡邊年秀¹

北海道立子ども総合医療・療育センター神経内科¹, 札幌医科大学小児科²

P-266 小児難治性てんかんに対する臭化カリウム使用症例の検討

○児玉一男¹, 小俣 卓¹, 飯田由紀子¹, 渡辺 淑¹, 牟田香織¹, 田邊雄三²

千葉県こども病院神経科¹, そがこどもクリニック²

P-267 ACTH 療法の甲状腺機能に与える影響についての検討

○安部信平¹, 五十嵐鮎子¹, 池野 充¹, 中澤友幸², 新島新一³, 清水俊明¹, 奥村彰久⁴

順天堂大学医学部小児科¹, 順天堂大学浦安病院小児科², 順天堂大学練馬病院小児科³, 愛知医科大学医学部小児科⁴

P-268 思春期以降の女性に対するバルプロ酸からの抗てんかん薬変更に関する検討

○宮本 健¹, 福田冬季子²

浜松医療センター小児科¹, 浜松医科大学小児科²

P-269 バルプロ酸内服開始後に続発性無月経を認めた 4 症例

○北見欣一¹, 三山佐保子², 後藤正博³, 長谷川行洋³

東京都立小児総合医療センター総合診療科¹, 東京都立小児総合医療センター神経内科², 東京都立小児総合医療センター内分泌・代謝科³

P-270 カルバマゼピン内服開始直後に血小板減少を来した 2 例

○井上健司, 藤原由美, 永井盛博, 松岡 舟, 桐野友子, 遠藤彰一

独立行政法人国立病院機構四国こどもととなの医療センター小児科

第 2 日目 ポスター会場 5

17:10~17:40 一般演題 (ポスター) (S403)

筋・末梢神経 2

モデレーター 安元佐和 (福岡大学医学部医学教育推進講座)

P-271 多職種連携により包括的サポートを継続した脊髄性筋萎縮症 1 型の一例

○渡辺美緒¹, 森山剣光¹, 椎原 隆¹, 臼田由美子²群馬県立小児医療センター神経内科¹, 群馬県立小児医療センターリハビリテーション課²

P-272 特徴的な CT 所見を認めた Calpainopathy の 10 歳女児例

○馬場悠生¹, 渡邊健二¹, 米衛ちひろ², 井之上寿美¹, 丸山慎介³, 佐野のぞみ², 四俣一幸¹鹿児島市立病院小児科¹, 国立病院機構南九州病院小児科², 鹿児島大学病院小児科³

P-273 SEPN1 新規変異を認めたマルチミニコア病の女児例

○宮内彰彦¹, 宮武聡子², 奥水江里子², 小島華林¹, 門田行史¹, 西野一三³, 松本直通², 小坂 仁¹, 山形崇倫¹自治医科大学小児科¹, 横浜国立大学大学院医学研究科遺伝学², 2) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所³

P-274 若年性皮膚筋炎の下肢骨格筋 MRI 画像についての検討

○澁谷郁彦¹, 石山昭彦¹, 小牧宏文¹, 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 斎藤貴志¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 西野一三², 佐々木征行¹国立精神・神経医療研究センター小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター疾病第一部²

P-275 ICU-acquired weakness と考えた 3 症例の検討

○荒井洋実¹, 清水直樹², 三山佐保子¹東京都立小児総合医療センター神経内科¹, 東京都立小児総合医療センター集中治療科²

P-276 継時的に移動する脊髄炎症性病変の一例

○久保田弘樹, 矢野珠巨, 高橋 勉

秋田大学大学院医学系研究科小児科

P-277 ステロイドパルス・ガンマグロブリン大量併用療法を行った上腕神経叢炎の一例

○樋口 司

長野県立こども病院総合小児科

P-278 自己免疫性自律神経節障害の 1 小児例

○横田卓也¹, 岡西 徹¹, 樋口 理², 中根俊成², 榎日出夫¹聖隷浜松病院小児神経科¹, 国立病院機構長崎川棚医療センター臨床研究部²

P-279 再発性の経過を辿った特発性と思われた外眼筋麻痺の 2 例

○二階堂弘輝, 川村健太郎, 福村 忍, 館 延忠

札幌医科大学医学部小児科

P-280 Phosphoribosyl pyrophosphate synthetase 1 (PRPS1) 遺伝子異常を認めたシャルコー・マリー・トゥース病 (CMTX5) の 1 例

○榎原崇文¹, 澤井康子², 星田 徹³, 嶋 緑倫¹奈良県立医科大学小児科¹, 国立病院機構奈良医療センター小児神経科², 国立病院機構奈良医療センター脳神経外科³

17:40~18:10 一般演題 (ポスター) (S406)

不随意運動・頭痛・自律神経

モデレーター 斎藤義朗 (鳥取大学医学部脳神経小児科)

P-281 脳性麻痺としてフォローされていたドーパ反応性ジストニアの 1 例

○菊地正広¹, 平木彰佳¹, 新宅治夫²日立総合病院小児科¹, 大阪市立大学大学院発達小児医学²

P-282 自己抗体の関与が考えられた非典型経過の postpump chorea の症例

○松倉 幹¹, 緒方怜奈¹, 中村涼子¹, 原口康平¹, チョンピンフィー¹, 佐久間啓², 吉良龍太郎¹福岡市立こども病院小児神経科¹, 東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野²

P-283 小児頭痛診療における頭部 ASL の有用性についての検討

○北島 翼^{1,2}, 里 龍晴¹, 西口奈菜子¹, 渡邊聖子¹, 渡邊嘉章¹, 伊達木澄人¹, 井手口怜子³, 森川 実³, 森内浩幸³

長崎大学病院小児科¹, 長崎県病院企業団², 長崎大学病院放射線科³

P-284 前庭機能評価に vestibular evoked myogenic potentials が有用であった多発性硬化症の一例

○大栗聖由¹, 杉原 進¹, 玉崎章子¹, 宮本直樹², 福田千佐子², 前垣義弘¹

鳥取大学医学部脳神経小児科¹, 鳥取大学医学部保健学科病態検査学講座²

P-285 腹痛嘔吐症状が持続する自己免疫性自律神経節障害の 12 歳女児例

○岡崎哲也¹, 西村洋子¹, 上田理誉¹, 杉原 進¹, 大野光洋¹, 成田 綾¹, 玉崎章子¹, 斎藤義朗¹, 前垣義弘¹, 中根俊成², 樋口 理²

鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科¹, 国立病院機構長崎川棚医療センター／西九州脳神経センター臨床研究部²

P-286 朝起き不良を示す起立性調節障害例に対する高照度光療法の有効性

○犬塚 幹

佐世保中央病院小児科

P-287 Fever-associated confusional arousal の男児例

○鶴澤礼実¹, 森島直美¹, 中村紀子¹, 林 仁美¹, 小川 厚¹, 山口祐司²

福岡大学筑紫病院小児科¹, 福岡浦添クリニック²

第 3 日目 第 1 会場

9:00～11:00 シンポジウム 9 (S148)

脳性麻痺の病態と治療—update—

座長 萩野谷和裕 (宮城県拓桃医療療育センター小児科)
丸山幸一 (愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科)

- 1) 脳性麻痺神経症候学
横地健治 (聖隷三方原病院小児神経科)
- 2) 運動制御の神経生理学
高草木薫 (旭川医大医学部脳機能医工学研究センター)
- 3) 脳性麻痺の病態別治療とエビデンス
荒井 洋 (森之宮病院小児神経科)
- 4) 脳性麻痺の整形外科的治療とエビデンス
柴田 徹 (森之宮病院小児整形外科)

11:00～12:00 教育講演 3 (S122)

神経回路機能の発達再編

座長 水口 雅 (東京大学医学部発達医科学)
講演 鍋倉淳一 (自然科学研究機構生理学研究所, 総合研究大学院大学)

12:00～12:10 閉会式

第 3 日目 第 2 会場

9:00～10:00 特別企画 2 (S160)

末梢神経障害の臨床と電気生理: GBS/CIDP を中心に

座長 熊田聡子 (東京都立神経病院神経小児科)
講演 桑原 聡 (千葉大学医学部神経内科)

10:00～12:00 企画シンポジウム (S154)

皆で学ぼう難病・小児慢性特定疾病の新制度

座長 林 雅晴 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生)
小倉加恵子 (社会医療法人大道会森之宮病院小児神経科)

- 1) 難病法成立に伴う, 指定難病 (医療費助成対象疾病) の見直し等について
前田彰久 (厚生労働省健康局疾病対策課)
- 2) 法改正後の小児慢性特定疾病治療研究事業について
小倉加恵子 (社会医療法人大道会森之宮病院小児神経科)
- 3) 新しい小児慢性特定疾病制度の課題と期待
小林信秋 (認定 NPO 法人難病のこども支援全国ネットワーク)

第 3 日目 第 3 会場

7:50～8:50 リフレッシュセミナー 3 (S157)

気づきにくい・気づかれにくい子どもたちへの対応 ～知的発達が境界域を示す場合～

座長 石崎朝世 (公益社団法人発達協会王子クリニック)
講演 小野次朗 (和歌山大学教育学部特別支援教育学教室)

9:00~10:00 一般演題 (口演) (S294)

発達障害 5

座長 杉江陽子 (浜松医科大学小児科)
林 隆 (医療法人テレサ会西川医院発達診療部)

O-215 発達障害児における身長と内分泌疾患

○小林康子¹, 島村三重子^{2,3}, 小野寺久美子¹, 佐々木まさえ¹, 定行俊彰⁴, 山口佳子⁵, 大村 清¹
独立行政法人国立病院機構仙台西多賀病院小児科¹, 独立行政法人国立病院機構仙台西多賀病院精神科², 名取市保健センター³, ゆりが丘小学校⁴, みどり台小児科⁵

O-216 脳室周囲白質軟化症 (PVL) 児の発達の特徴について

○池田憲二¹, 小沢 浩², 大瀧 潮¹, 高橋佳代子¹, 上石晶子¹, 有本 潔¹, 木実谷哲史¹
島田療育センター小児科¹, 島田療育センターはちおうじ²

O-217 乳児期の発達に関する small for gestational age の公衆衛生的影響 ～「21 世紀出生児縦断調査」より～

○竹内章人¹, 兵頭勇紀², 土屋弘樹²
国立病院機構岡山医療センター新生児科¹, 国立病院機構岡山医療センター小児科²

O-218 二分脊椎症児の目と手の協応および視覚情報処理能力の検討

ービジョンアセスメント WAVES を用いてー

○奥村智人¹, 三浦朋子², 川崎聡大³, 中西 誠⁴, 島川修一⁵, 若宮英司⁶, 玉井 浩⁵
大阪医科大学 LD センター¹, パームこどもクリニック², 富山大学人間発達科学部³, 関西大学大学院心理学研究科⁴, 大阪医科大学小児科⁵, 藍野大学医療保健学部基盤教育センター⁶

O-219 極低出生体重児の修正 1 歳半時の M-CHAT の検討

○平原恵子^{1,2}, 松尾宗明³, 高柳俊光²
佐賀県医療センター好生館小児科¹, 国立病院機構佐賀病院小児科², 佐賀大学医学部付属病院小児科³

O-220 発達遅滞と大脳白質病変を伴うミトコンドリア A8296G 変異による高度難聴の一例

○田原麻由^{1,2}, 日暮憲道¹, 飯島正紀¹, 平野大志¹, 小林博司¹, 浜野晋一郎², 井田博幸¹
東京慈恵会医科大学小児科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科²

10:00~11:00 一般演題 (口演) (S296)

てんかん 9

座長 沖永剛志 (ベルランド総合病院小児科)
奥村彰久 (愛知医科大学医学部小児科)

O-221 乳児期の発作性症状に対する長時間ビデオ脳波検査の有用性についての検討

○伊藤 進, 小国弘量, 西川愛子, 永田 智
東京女子医科大学医学部小児科

O-222 乳幼児期発症の側頭葉てんかんの特徴

○本田涼子¹, 馬場啓至², 戸田啓介², 小野智恵², 田中茂樹¹, 安 忠輝¹
国立病院機構長崎医療センター小児科¹, 国立病院機構長崎医療センター脳神経外科²

O-223 当院における乳児期発症てんかんの発作・発達予後の検討

○五十嵐鮎子¹, 安部信平¹, 池野 充¹, 新島新一², 中澤友幸³, 清水俊明¹
順天堂大学小児科¹, 順天堂練馬病院小児科², 順天堂浦安病院小児科³

O-224 PRRT2 遺伝子変異を認めた benign familial infantile epilepsy の 2 例

○座波清誉¹, 松本 浩¹, 田村義輝¹, 中村康子², 石井敦士³, 廣瀬伸一³
防衛医科大学校小児科¹, 自衛隊舞鶴病院², 福岡大学医学部小児科³

O-225 Repetitive sleep starts を呈した 4 例の臨床脳波学的検討

○牧 祐輝¹, 城所博之¹, 山本啓之², 奥村彰久³, 坂口陽子¹, 伊藤祐史¹, 小川千香子¹, 根来民子¹, 渡邊一功¹, 夏目 淳¹
名古屋大学大学院医学系研究科小児科学¹, 愛知県青い鳥医療福祉センター小児科², 愛知医科大学小児科³

O-226 小児交互性麻痺の男児に出現した睡眠中の異常運動の検討

○木村貞美¹, 利川寛実¹, 木水友一¹, 池田 妙¹, 最上友紀子¹, 柳原恵子¹, 石井敦士², 広瀬伸一², 鈴木保宏¹
大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科¹, 福岡大学小児科²

11:00~12:00 一般演題 (口演) (S298)

脳炎・脳症 6

座長 高梨潤一 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

藤井克則 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

- O-227 複雑型熱性けいれんの予後不良例抽出には Non-Epileptic Twilight State with Convulsive Manifestations の認識が重要である

○福山哲広¹, 武居裕子¹, 奥野慈雨¹, 樋口 司², 笛木 昇³, 平林伸一¹長野県立こども病院神経小児科¹, 長野県立こども病院総合小児科², 長野県立こども病院リハビリテーション科³

- O-228 急性脳症後向きコホート研究 劇症型急性脳症を予測する発症後 6 時間以内の血液検査

○田中 司¹, 西山将広², 藤田杏子¹, 丸山あずさ¹, 永瀬裕朗¹兵庫県立こども病院脳神経内科¹, 神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科²

- O-229 当院における 2006 年~2014 年における急性脳症臨床像・画像所見の検討

○平井 希, 高梨潤一, 原田聡子, 林 北見

東京女子医科大学八千代医療センター小児科

- O-230 Adenosine receptor signaling negatively regulates interleukin-1beta production from murine microglia (アデノシンレセプターシグナルはマウスのミクログリアにおける IL- β 産生を負に制御する)

○Tomonori Suzuki^{1,2}, Hiroshi Sakuma¹, Masaharu Hayashi¹Department of Brain Development and Neural Regeneration, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Tokyo, Japan¹, Department of Pediatrics, Tokyo Medical Dental University, Tokyo, Japan²

- O-231 Upregulation of cerebrospinal fluid macrophage migration inhibitory factor in AERRPS (難治頻回部分発作重積型急性脳炎における髄液中マクロファージ遊走阻止因子の検討)

○Tomoko Mizuno^{1,2}, Hiroshi Sakuma², Tomonori Suzuki^{2,3}, Masaharu Hayashi²Department of Pediatrics, Musashimurayama Hospital, Tokyo, Japan¹, Department of Brain Development and Neural Regeneration, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Tokyo, Japan², Department of Pediatrics and Developmental Biology, Tokyo Medical and Dental University Graduate School of Medical and Dental Sciences, Tokyo, Japan³

- O-232 急性脳症を来した症例における基礎疾患の検討

○平山良道¹, 前垣義弘²那覇市立病院小児科¹, 鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科²

第 3 日目 第 4 会場

9:00~9:50 一般演題 (English Session) (S214)

English Session 6

座長 小林勝弘 (岡山大学病院小児神経科)

佐久間啓 (東京都医学総合研究所脳発達・神経再生研究分野)

- E-030 Cytokine genes and risk of acute encephalopathy with status epilepticus

○Makiko Saitoh¹, Sain Kou¹, Ai Hoshino¹, Kenjiro Kikuchi², Gaku Yamanaka³, Masaya Kubota⁴,Jun-ichi Takanashi⁵, Tomohide Goto⁶, Masashi Mizuguchi¹Department of Developmental Medical Sciences, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo¹, Division of Neurology, Saitama Children's Medical Center, Saitama, Japan², Department of Pediatrics, Tokyo Medical University, Tokyo, Japan³, Division of Neurology, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan⁴, Department of Pediatrics, Tokyo Women's Medical University, Yachiyo Medical Center, Yachio, Japan⁵, Department of Neurology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan⁶

- E-031 Immunological studies of blood from patients with CNS-symptom after human papillomavirus vaccination

○Yukitoshi Takahashi¹, Takashi Matsudaira¹, Hitoshi Nakano¹, Hirosato Nasu¹, Hitoshi Ikeda¹,Kentaro Nakaoka¹, Yushi Inoue¹, Rumiko Takayama², Masayasu Ohta³National Epilepsy Center, Shizuoka Institute of Epilepsy and Neurological Disorder, Shizuoka, Japan¹, Department of Pediatrics, Hokkaido medical Center for Child Health and Rehabilitation, Sapporo, Japan², Department of Pediatrics, JA Toride General Medical Center, Toride, Japan³

E-032 Interleukin-34 facilitates commitment of hematopoietic cells to micloglia-like cells

○Hiroshi Sakuma¹, Tomonori Suzuki¹, Masaharu Hayashi¹, Daisuke Noto², Reiko Saika²,
Takashi Yamamura², Sachiko Miyake^{2,3}

Department of Brain Development and Neural Regeneration, Tokyo Metropolitan Institute of Medical Science, Tokyo, Japan¹, Department of Immunology, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan², Department of Immunology, Juntendo University Graduate School of Medicine, Tokyo, Japan³

E-033 Delayed maturation of the preterm brain at term

○Chikako Ogawa¹, Hiroyuki Kidokoro¹, Yu Okai¹, Yoko Sakaguchi¹, Yuji Ito¹, Tamiko Negoro¹,
Kazuyoshi Watanabe¹, Masahiro Hayakawa², Jun Natsume¹

Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan¹, Division of Neonatology, Center for Maternal-Neonatal Care Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan²

E-034 A storm of fast (40-150 Hz) oscillations during hypsarrhythmia in West syndrome

○Katsuhiro Kobayashi, Tomoyuki Akiyama, Makio Oka, Fumika Endoh, Harumi Yoshinaga

Department of Child Neurology, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry, and Pharmaceutical Sciences and Okayama University Hospital, Okayama, Japan

9:50~11:00 一般演題 (English Session) (S216)

English Session 7

座長 大坪 宏 (トロント小児病院)
加藤光広 (山形大学医学部小児科)

E-035 An update of phenotype of infantile epilepsy with a PRRT2 mutation

○Hirokazu Kurahashi¹, Akihisa Okumura¹, Ayuko Igarashi², Shinpei Abe², Michihiko Takasu¹,
Katsuhiro Kobayashi³, Iori Ohmori⁴, Mamoru Ouchida⁵, Shinichi Hirose⁶, Atsushi Ishii⁶,
Satoru Takahashi⁷, Tomonari Awaya⁸, Toshiyuki Yamamoto⁹

Department of Pediatrics, Aichi Medical University, Nagakute, Japan¹, Department of Pediatrics, Juntendo University Faculty of Medicine, Tokyo, Japan², Department of Child Neurology, Okayama University Hospital, Okayama, Japan³, Ethics Committee, Graduate School and Faculty of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan⁴, Department of Molecular Genetics, Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University, Okayama, Japan⁵, Department of Pediatrics, Fukuoka University School of Medicine, Fukuoka, Japan⁶, Department of Pediatrics, Asahikawa Medical University, Asahikawa, Japan⁷, Department of Pediatrics, Kyoto University Graduate School of Medicine, Kyoto, Japan⁸, Tokyo Womens Medical University Institute for Integrated Medical Sciences, Tokyo, Japan⁹

E-036 SSEP N20 and developmental outcome after hemispherotomy in Ohtahara syndrome with hemimegalencephaly

○Kenji Sugai¹, Ryoko Honda¹, Takashi Saito¹, Yuko Motohasi-Shinozaki¹, Eri Takeshita¹,
Hirofumi Komaki¹, Eiji Nakagawa¹, Masayuki Sasaki¹, Akio Takahashi², Takanobu Kaido², Yuu Kaneko²,
Taisuke Otsuki²

Department of Child Neurology, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan¹, Department of Neurosurgery, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan²

E-037 Focal epilepsy in children with periventricular leukomalacia

○Michihiko Takasu¹, Akihisa Okumura¹, Hirokazu Kurahashi¹, Tetsuo Kubota², Toru Kato³

Department of Pediatrics, Aichi Medical University, Aichi, Japan¹, Department of Pediatrics, Anjo Kosei Hospital, Aichi, Japan², Department of Pediatrics, Okazaki City Hospital, Aichi, Japan³

E-038 Diagnostic performance and utility of the Child Behavior Checklist DSM-oriented scales in epilepsy

○Mayu Fujikawa¹, Jones Jana E.², Yosuke Kakisaka¹, Nobukazu Nakasato¹

Tohoku University Graduate School of Medicine, Department of Epileptology¹, University of Wisconsin School of Medicine and Public Health, Department of Neurology²

E-039 An encephalopathy with Dravet syndrome which may be caused by use of thiopental with stiripentol

○Atsuro Daida, Mina Yokoyama, Masaaki Ogiwara

St. Luke's International Hospital, Tokyo, Japan

E-040 Eye symptom and epileptic spasm in West syndrome

○Yosuke Kakisaka¹, Naomi Hino-Fukuyo², Mitsugu Uematsu², Mayu Fujikawa¹, Masaki Iwasaki³,
Nobukazu Nakasato¹
Department of Epileptology, Tohoku University, Sendai, Japan¹, Department of Pediatrics, Tohoku
University, Sendai, Japan², Department of Neurosurgery, Tohoku University, Sendai, Japan³

E-041 A case of glossopharyngeal neuralgia with recurrent bradycardia attacks

○Shiro Ozasa, Hirofumi Kosuge, Keiko Nomura, Shigemi Kimura, Fumio Endo
Department of Paediatrics, University of Kumamoto, Kumamoto, Japan

11:00~12:00 一般演題 (English Session) (S218)

English Session 8

座長 小林正久 (東京慈恵会医科大学小児科)

濱崎考史 (大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学)

E-042 High prevalence of the mutation R326Q in 30 children with β -ureidopropionase deficiency in East Asia

○Yoko Nakajima¹, Judith Meijer², Chunhua Zhang³, Yoriko Watanabe⁴, Tomoko Lee⁵, Hiroshi Mitsubuchi⁶,
Kaoru Eto⁷, Tomiko Kuhara⁸, Tetsuya Ito¹, André B. P. van Kuilenburg²
Fujita Health University, Department of Pediatrics, Toyoake, Japan¹, Academic Medical Center, Laboratory
Genetic Metabolic Diseases, Noord-Holland, Netherlands², Research and Development, MILS
International³, Kurume University School of Medicine, Department of Pediatrics, Fukuoka, Japan⁴, Hyogo
College of Medicine, Department of Pediatrics, Hyogo, Japan⁵, Kumamoto University, Department of
Neonatology, Kumamoto, Japan⁶, Tokyo Women's Medical University, Department of Pediatrics, Tokyo,
Japan⁷, Japan Clinical Metabolomics Institute, Kahoku, Japan⁸

E-043 One female case with AADC deficiency

○Karin Kojima¹, Hitoshi Osaka¹, Chihiro Ohba³, Rie Anzai², Tomohide Goto², Ayumi Matsumoto¹,
Sachie Nakamura¹, Akihiko Miyauchi¹, Hiroto Saito³, Naomichi Matsumoto³, Takanori Yamagata¹
Department of Pediatrics, Jichi Medical University, Shimotsuke-shi, Tochigi, Japan¹, Kanagawa Children's
Medical Center, Yokohama, Kanagawa, Japan², Department of Human Genetics, Yokohama City University
Graduate School of Medicine, Yokohama, Kanagawa, Japan³

E-044 The first Japanese case of Leigh encephalopathy without cardiomyopathy due to mutations in GTPBP3

○Fuyu Miyake¹, Takahito Wada^{1,5}, Mizue Iai¹, Sumimasa Yamashita¹, Hitoshi Oaska¹, Tomohide Goto¹,
Noriko Aida², Kei Murayama³, Akira Otake⁴
Division of Neurology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan¹, Division of Radiology,
Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama, Japan², Department of Metabolism, Chiba Children's
Hospital, Chiba, Japan³, Department of Pediatrics, School of Medicine, Saitama Medical University, Iruma,
Japan⁴, Department of Medical Ethics and Medical Genetics : Kyoto Graduate School of Medicine, Kyoto
University, Kyoto, Japan⁵

E-045 Novel mutation of PLA2G6 gene in homozygote twins with INAD (infantile neuroaxonal dystrophy)

○Kyoko Hoshino¹, Genkichi Izumi¹, Kishin Koh², Yoshihisa Takiyama²
The Department of Pediatrics, Minami Wakayama Medical Center, Wakayama, Japan¹, Department of
Neurology, University of Yamanashi, Yamanashi, Japan²

E-046 The first case of Japanese limb-girdle muscular dystrophy 2I with a novel FKRP mutation

○Hiroyuki Awano¹, Masahiro Nishiyama¹, Tomoko Lee², Mariko Yagi³, Yasuhiro Takeshima²,
Kanao Goto^{4,5}, Satomi Mitsunashi^{4,5}, Ichizo Nishino^{4,5}, Masafumi Matsuo¹, Kazumoto Iijima¹
Department of Pediatrics, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan¹, Department of
Pediatrics, Hyogo College of Medicine, Nishinomiya, Japan², Nikoniko House Medical and Welfare Center,
Kobe, Japan³, Department of Neuromuscular Research, National Institute of Neuroscience, National Center
of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan⁴, Department of Clinical Development, Translational Medical
Center, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan⁵

E-047 演題取り下げ

13:00~17:00 第 10 回小児重症筋無力症研究会

第 3 日目 第 5 会場

8:00~10:00 第 7 回小児免疫性脳炎研究会

10:00~11:00 一般演題 (口演) (S300)
画像・形態座長 大場 洋 (帝京大学医学部放射線科)
早川克己 (岩手県立釜石病院)

- O-233 注意欠如・多動性障害 (AD/HD) における頭部 1H-MRS 所見 一左小脳半球について—
○伊藤弘道¹, 森 健治², 原田雅史³, 東田好広¹, 森 達夫¹, 郷司 彩¹, 宮崎雅仁¹, 香美祥二¹
徳島大学医学部小児科¹, 徳島大学医学部保健学科², 徳島大学医学部放射線科学³
- O-234 Silent MRI in pediatric patients, radiological evaluation; comparison with conventional MRI
(静音化 MRI により髄鞘化の評価: 通常のスピエコー法による撮像法との比較)
○Yoshiyuki Watanabe¹, Chisato Matsuo¹, Shin Nabatame², Sayaka Nakano², Noriyuki Tomiyama¹
Department of Radiology, Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan¹, Department of Pediatrics Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka, Japan²
- O-235 Development of the human oculomotor nuclear complex: a computerized 3D reconstruction study
(ヒト動眼神経核複合体の発達: コンピューター 3 次元再構築学的検討)
○Katsuyuki Yamaguchi
Department of Pathology, Dokkyo University School of Medicine, Tochigi, Japan, Department of Pediatrics, Southern Tohoku General Hospital, Sendai, Japan
- O-236 ¹²³I-IMP SPECT による局所脳血流からみた脳の発達
○平田佑子¹, 浜野晋一郎^{1,3}, 大場温子¹, 熊谷勇治¹, 菊池健二郎^{1,2}, 田中 学³, 小一原玲子³, 南谷幹之¹
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 埼玉県立小児医療センター保健発達部³
- O-237 Diffusion tensor imaging and hippocampal volumetry in Dravet syndrome
(Dravet 症候群における拡散テンソル画像解析と海馬体積測定)
○Jun Natsume, Chikako Ogawa, Hiroyuki Yamamoto, Yuji Ito, Tomoya Takeuchi, Setsuri Yokoi, Yoko Sakaguchi, Yoshiteru Azuma, Naoko Ishihara, Hiroyuki Kidokoro, Kiyokuni Miura, Tamiko Negoro, Kazuyoshi Watanabe
Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan
- O-238 早産児の拡散テンソルカトースス画像
○池野 充¹, 奥村彰久², 五十嵐鮎子¹, 安部信平¹, 新島新一³, 清水俊明¹
順天堂大学医学部小児科¹, 愛知医科大学小児科², 順天堂大学医学部附属練馬病院小児科³

11:00~12:00 一般演題 (口演) (S302)
睡眠, 自律神経, 他座長 神山 潤 (東京ベイ・浦安市川医療センター)
玉井 浩 (大阪医科大学小児科学教室)

- O-239 Sturge-Weber 症候群の卒中様発作の臨床像と頭部画像の検討
○木水友一, 利川寛実, 木村貞美, 池田 妙, 最上友紀子, 柳原恵子, 鈴木保宏
大阪府立母子保健総合医療センター
- O-240 急性散在性脳脊髄炎に画像所見が類似した中枢神経原発性悪性リンパ腫の 1 例
○森下むつみ¹, 浜野晋一郎^{1,2}, 大場温子¹, 熊谷勇治¹, 平田佑子¹, 田中 学¹, 荒川ゆうき³, 康 勝好³
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 埼玉県立小児医療センター保健発達部², 埼玉県立小児医療センター血液腫瘍科³
- O-241 先天性中枢性低換気症候群 (CCHS) の思春期男児に対する呼吸管理の 1 例
○藤岡智仁, 日野ひとみ
公立学校共済組合四国中央病院小児科

- O-242 同級生に同時に発症した起立性調節障害が原因と考えられた失神発作の 2 例
○渥美香奈, 長谷川節子, 宮田理英
東京北医療センター小児科
- O-243 周期性嘔吐症候群の予防療法に valproate を使用した症例の予後について
○疋田敏之¹, 荻田佳織¹, 天方かおり¹, 金子衣野¹, 仲本なつ恵^{1,2}, 児玉浩子¹
帝京大学医学部小児科¹, 目白大学保健医療学部²
- O-244 睡眠関連喉頭痙攣 (sleep-related laryngospasm) の 3 例
○松澤重行¹, 山崎早苗², 中野さやか², 青天目信², 大蘭恵一², 谷池雅子^{1,2}
大阪大学連合小児発達学研究科¹, 大阪大学小児科²

第 3 日目 第 6 会場

7:50~8:50 特別企画 3 (S161)

先天性 GPI 欠損症: てんかん・知的障害を主症状とする新しい疾患

座長 藤井達哉 (滋賀県立小児保健医療センター)

講演 村上良子 (大阪大学微生物病研究所免疫不全疾患研究分野, 大阪大学免疫学フロンティア研究センター糖鎖免疫学)

9:00~10:00 一般演題 (口演) (S304)

筋 3

座長 石川幸辰 (国立病院機構八雲病院小児科)

木村重美 (熊本大学大学院小児科学分野)

O-245 Duchenne 型筋ジストロフィーのエクソンスキッピング誘導治療法の開発
—トランスレーショナルリサーチのモデルとして—○松尾雅文^{1,2}神戸学院大学総合リハビリテーション学部¹, 神戸大学名誉教授²

O-246 デュシェンヌ型筋ジストロフィーを対象とした NS-065/NCNP-01 の全身投与によるエクソンスキッピング, 第 I 相, First-in-Human 試験

○小牧宏文^{1,2}, 永田哲也⁴, 齋藤 崇⁴, 竹下絵里¹, 立森久照⁵, 清水玲子³, 太幡真紀², 玉浦明美², 福田昂一³, 鈴木麻衣子³, 中村治雅^{2,3}, 佐々木征行¹, 武田伸一^{3,4}国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究推進部², 国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター臨床研究支援部³, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所遺伝子疾患治療研究部⁴, 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神保健計画研究部⁵O-247 Trends with steroid therapy for Duchenne muscular dystrophy in Japan
(日本におけるデュシェンヌ型筋ジストロフィーに対するステロイド治療の動向)○Fumi Takeuchi¹, Hirofumi Komaki^{2,3}, Harumasa Nakamura^{1,3}, Naohiro Yonemoto⁴, Kousuke Kashiwabara^{5,6}, En Kimura¹, Shin'Ichi Takeda^{1,7}Department of Clinical Research Support, Translational Medical Center, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan¹, Department of Child Neurology, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan², Department of Clinical Research Promotion, National Center Hospital, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan³, Department of Neuropsychopharmacology, National Institute of Mental Health, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan⁴, Department of Epidemiology, Translational Medical Center, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan⁵, Department of Biostatistics, School of Public Health, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo⁶, Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo, Japan⁷

O-248 Duchenne 型筋ジストロフィーの尿中プロスタグランジン代謝物の検討

○竹下絵里¹, 小牧宏文^{1,2}, 津野良子², 立森久照³, 三好和久⁴, 山宮育郎⁴, 本橋裕子¹, 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究推進部², 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神保健計画研究部³, 大鵬薬品工業株式会社⁴

O-249 ジストロフィン全欠損のデュシェンヌ型筋ジストロフィーの兄弟例

○木村重美, 小篠史郎, 野村恵子, 小菅浩史
熊本大学大学院生命科学研究部小児科

O-250 青年期に腎機能の悪化を認めた Duchenne 型筋ジストロフィー

○元木崇裕¹, 小牧宏文¹, 森まどか², 大矢 寧², 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 石山昭彦¹, 齋藤貴志¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 村田美穂²
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院神経内科²

10:00~11:00 一般演題 (口演) (S306)
筋 4

座長 竹下絵里 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
石川悠加 (国立病院機構八雲病院小児科)

O-251 Three cases of Becker muscular dystrophy without muscle symptoms

(高 CK 血症の精査で見つかった筋症状のないベッカー型筋ジストロフィーの 3 例)

○Hiroto Akaike, Mina Kono, Eisuke Kondo, Atsushi Kato
The Department of Pediatrics, Kawasaki Medical School, Kurashiki, Japan

O-252 DMD/BMD における ADHD 傾向評価法の予備的検討

○新垣ほのか¹, 榎本聖香¹, 井村 修¹, 藤野陽生¹, 松村 剛², 齊藤利雄², 藤村晴俊²
大阪大学大学院人間科学研究科¹, 国立病院機構刀根山病院神経内科・小児神経内科²

O-253 Duchenne/Becker 型筋ジストロフィーおよび皮膚筋炎における血清 ALT/AST 比の検討

○李 知子¹, 下村英毅¹, 栗野宏之², 八木麻理子³, 飯島一誠², 松尾雅文⁴, 竹島泰弘¹
兵庫医科大学小児科¹, 神戸大学大学院医学研究科小児科², にこにこハウス医療福祉センター小児科³, 神戸学院大学総合リハビリテーション学部⁴

O-254 小児神経筋疾患患児における受診契機と診断までの経緯及び期間についての検討

○宮本雄策^{1,2}, 山本寿子^{1,2}, 生駒雅昭^{1,2}, 小牧宏文³, 山本 仁²
川崎市立多摩病院小児科¹, 聖マリアンナ医科大学小児科², 国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科³

O-255 成人期に診断された Ullrich 型筋ジストロフィーの一例

○西村洋子¹, 松岡 舟², 松村わたる³, 西野一三⁴, 齋藤義朗¹, 前垣義弘¹
鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科¹, 四国こどもとおとなの医療センター小児神経内科², 鳥取県立厚生病院小児科³, 国立精神神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部⁴

O-256 Ullrich 型先天性筋ジストロフィーの進行性呼吸機能障害に対する外科的側弯矯正の効果の検討

○小橋孝介¹, 石山昭彦¹, 米川貴博², 竹下絵里¹, 本橋裕子¹, 齋藤貴志¹, 中川栄二¹, 小牧宏文¹, 須貝研司¹, 埜中征哉², 西野一三², 齋藤 亘³, 高相晶士³, 佐々木征行¹
国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科¹, 国立精神・神経医療研究センター疾病研究第 1 部², 北里大学医学部整形外科³

11:00~12:00 教育講演 4 (S123)

Duchenne 型筋ジストロフィーに対する新たな治療法の開発

座長 齋藤加代子 (東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)
講演 竹島泰弘 (兵庫医科大学小児科)

13:00~16:00 市民公開講座 (S197)

医療的ケアを受けながら地域で生きる子どもを支えるには

座長 船戸正久 (大阪発達総合療育センター)
高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科地域保健学講座)

Opening Remarks: どうして在宅高度医療児が増加したか?

船戸正久 (大阪発達総合療育センター)

1) 地域かかりつけ医の活動と課題

春本常雄 (東大阪生協病院小児科)

2) 小児訪問看護の現状と訪問看護の一事例

下釜聡子 (石井記念愛染園訪問看護ステーション, 大阪府訪問看護ステーション協会)

3) 学校における医療的ケアの現状と今後の課題

丹羽 登 (文部科学省初等中等教育局特別支援教育課)

4) 障害者医療にかかわる医療者の育成の課題

三浦清邦 (名古屋大学大学院医学系研究科障害児 (者) 医療学寄附講座)

5) 親の立場から望むこと

竹本由子 (児童発達支援放課後等デイサービスはつかぜ)

Closing Remarks : 会を終えるにあたって

高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科地域保健学講座)

第 3 日目 第 7 会場

9:00~11:00 シンポジウム 10 (S151)

代謝疾患の新規治療—神経症状をターゲットにした治療法

座長 大野耕策 (独立行政法人労働者健康福祉機構山陰労災病院)

酒井規夫 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

1) ニーマンピック病 C 型の新規治療法

松尾宗明¹, 石塚洋一², 持永早希子³, 前田美由紀³, 和田幸樹⁴, 有馬英俊², 入江徹美²(佐賀大学医学部小児科¹, 熊本大学大学院生命科学研究部², 佐賀大学医学部薬剤部³, 日本食品化工研究所⁴)

2) ゴーシェ病に対するシャペロン療法の開発

成田 綾¹, 前垣義弘¹, 鈴木義之³, 大野耕策^{1,2}(鳥取大学医学部脳神経小児科¹, 山陰労災病院², 東京都臨床医学総合研究所³)

3) 髄注による酵素補充療法の開発

酒井規夫 (大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)

4) MELAS に対する L-アルギニン療法

古賀靖敏 (久留米大学医学部小児科)

11:00~12:00 一般演題 (口演) (S308)

結節性硬化症

座長 小林 悟 (名古屋市立西部医療センター小児科)

泉 達郎 (国立病院機構七尾病院)

O-257 Beckwith Wiedemann 症候群を合併した結節性硬化症の 1 例

○木下美沙子¹, 菊池健二郎², 浜野晋一郎²東京慈恵会医科大学附属病院小児科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科²

O-258 結節性硬化症における多臓器フォローアップの実態

○吉永治美¹, 遠藤文香², 柴田 敬², 井上拓志², 小林勝弘²岡山大学大学院医歯薬学総合研究科発達神経病態学¹, 岡山大学病院小児神経科²

O-259 Efficacy of everolimus in a TSC patient with rapidly growing subependymal giant cell astrocytoma

(急速に拡大した上衣下巨細胞性星細胞腫に対してエベロリムスが有効であった結節性硬化症の 1 例)

○Naoko Ishihara^{1,2}, Jun Natsume², Masazumi Fujii³, Tamiko Negoro², Kazuyoshi Watanabe²,Seiji Kojima²Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan¹, Nagoya UniversityGraduate School of Medicine, Nagoya, Japan², Department of Neurosurgery, Nagoya University GraduateSchool of Medicine, Nagoya, Japan³

O-260 結節性硬化症を基礎疾患とする難治性てんかんに対して Vigabatrin 投与を行った 17 例の検討

○鈴木 智, 佐藤寛記, 佐藤優子, 植松有里佳, 中山東城, 久保田由紀, 福與なおみ, 小林朋子,

植松 貢, 呉 繁夫

東北大学病院小児科

O-261 ビガバトリンおよびケトン食療法が有効であった結節性硬化症に合併した infantile spasms の 2 例

○中井理恵, 熊倉 啓, 秦 大資

田附興風会北野病院小児科

O-262 PI3K-AKT-mTOR シグナル伝達系の遺伝子変異を認める巨脳症の臨床像

○原田敦子¹, 金村米博², 宮 冬樹³, 才津浩智⁴, 山中 巧¹, 埜中正博⁵, 西山健一⁶, 岡本伸彦⁷,
宇都宮英綱⁸, 加藤光広⁹, 斎藤伸治¹⁰, 角田達彦³, 藤井幸彦⁶, 松本直通⁴, 山崎麻美¹
愛仁会高槻病院小児脳神経外科¹, 大阪医療センター臨床研究センター再生医療研究室², 理化学研
究所統合生命医科学研究センター医科学数理研究グループ³, 横浜市立大学医学部遺伝学⁴, 関西医
科大学脳神経外科⁵, 新潟大学脳研究所脳神経外科学分野⁶, 大阪府立母子保健総合医療センター遺
伝診療科⁷, 国際福祉大学大学院放射線情報科学分野⁸, 山形大学医学部小児科⁹, 名古屋市立大学
大学院医学研究科新生児・小児医学分野¹⁰